

目 次

目 次	1
I 2021（令和3）年度の主な活動	3
*2021（令和3）年度入館者一覧	4
II 資料の収集・利用	5
II-1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II-2 資料の利用	5
1) 貸 与	5
2) その他	6
III 展示活動	7
III-1 総合展示	7
1)〈京の歴史〉ゾーン	7
2)〈京のまつり〉ゾーン	8
3)〈京の至宝と文化〉ゾーン	13
4)3階展示室	23
5)ぶんぱく京都講座	27
III-2 特別展示	29
*2021（令和3）年度特別展一覧	35
III-3 映 画	36
1)常設上映	36
2)特別企画・共催事業	37
3)映像ギャラリー常設展示	40
III-4 京都学・歴彩館における展示	41
IV 調査研究活動	43
IV-1 学芸員の活動	43
1) 研 究	43
2) 出講・委嘱	43
3) 業 績	44
V 普及活動	46
V-1 出版物	46
1)研究紀要『朱雀』	46
2)年報	46
3)展覧会図録	46
V-2 音楽会	47
V-3 京都アート・クラフトマーケット	47
V-4 学習普及外部連携室	48
1) ボランティア	48
2)「ぶんぱく子ども教室」事業	48
3) 団体見学案内	48
V-5 博物館実習	49

V-6	資料・情報公開	49
1)	資料閲覧室	49
2)	ホームページによる広報とコンテンツの提供	49
V-7	外部連携活動	51
1)	他館との連携	51
2)	京都府内の学校との連携事業	51
3)	地域との連携	52
V-8	京都文化博物館友の会	53
1)	会 員	53
2)	事業概要	54
V-9	文化財保護基金室	54
1)	貸付け事業	54
2)	文化財保護に関する巡回よろず相談	54
3)	文化財保護の啓発普及	54
V-10	「福寿園・お茶の文化賞」の創設	54
VI	ギャラリー事業	55
VI-1	5・6階展示室	55
1)	美術・工芸作家の利用	55
2)	京都文化財団展示室運営委員会	56
3)	生涯学習の発表期間の利用	56
4)	一般の利用	58
VI-2	別館ホール	58
VII	管理・運営	60
VII-1	組織と職員	60
1)	組 織	60
2)	京都文化財団	60
3)	京都文化博物館	61
VII-2	施 設	62
1)	本館関係	62
2)	別館関係	62
VII-3	館内店舗	65
1)	ろうじ店舗一覧	65
2)	別館店舗一覧	65
3)	博和会・ろうじ店舗行事	65
VIII	新型コロナウイルス感染症予防対策	66
VIII-1	新型コロナウイルス感染症予防対策による 休止等の対応	66
VIII-2	新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン (第2次版)	67
IX	2021(令和3)年度のあゆみ	68

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2021(令和3)年度の 主な活動

I 概要

2021年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況とその拡大予防措置と終始向き合うなかでの博物館活動となった。京都府では2021年初めの1月14日から2月28日の緊急事態宣言の発出に始まり、4月25日から6月20日、8月20日から9月30日と計3回、またまん延防止等重点措置は、4月12日から4月24日、6月21日から7月11日、8月2日から8月19日、さらに年が改まった2022年1月27日から3月21日に発出されているが、同じ措置でありながらもその内容は状況に応じて異なっていたため、一般来館者、館内スタッフおよび関係者の安全を確保することを最優先としながらも、コロナ禍の中で、安全かつ効率的にどのような活動が可能か、活動のクオリティをどのように確保していくかなどの検討を日々行う必要があった。休館等については、4月25日から5月31日を休館、4月13日から24日、6月1日から10月31日の両期間を20時閉館の時間短縮措置をとり、総合展示は8月20日から9月30日の間は休止した。

2021年度の特別展としては、大型の歴史展「よみがえる承久の乱」が開催からわずか17日間で中止を余儀なくされた。続く「花ひらく町衆文化―近世京都のすがた」「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」「フィンレイソン展」「Kyoto Art for Tomorrow 2022」「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」は、各実行委員会への配慮もあって当初の予定通り開催することができた。総合展示では、東京都板橋区立美術館との連携にて開催が実現した大規模企画展「さまよえる絵筆―東京・京都 戦時下の前衛画家たち」や2階展示室での「祇園祭展」「陽明文庫の名宝11」「池大雅」「輝く京都の四季」「画家・井澤元一と京都1」「雛人形名品展」「近代文化人ネットワーク―太田喜二郎の周辺―」「工芸、ここが素敵！」は、予定通り開催することができたが、2021年3月から開催していた「伝える―災害の記憶展」や「京の端午の節句と尚武」は4月25日以降、休館のため中止となり、「丸紅所蔵小袖名品展」は開始日を6月1日に繰り下げた実施となった。「戦後京都の「色」はアメリカにあった!」「京の盆踊り」は、博物館単独の企画であったため、京都府の自粛要請に応じるとして残念ながら8月19日で中止となった。

映画・フィルムシアターにおいては、収容人数の制限、座席間隔の確保等により三密を回避し、基本対策を徹底するとともに、時間短縮に応じて、夜の映画上映時間を土、日、祝と同じ時間帯に繰り上げた。所蔵作品の上映では、「東映創立70周年記念」の特集企画を秋に、また京都文化プロジェクト事業として『無法松の一生』の4K復元を行うことができた。コロナ禍の厳しい状況から、外部との連携事業は開催を後ろ倒しとし、12月から1月の間に「文化庁障害者による文化芸術活動推進事業コネク」や「ぴあフィルムフェスティバルin 京都」「EUフィルムデーズin 京都」、映画分野の次世代の育成を目的とする「京都フィルムメーカーズラボ」などの主要な事業を開催した。実施に際しては、遠方から来るラボ参加者への抗原検査やオンラインコミュニケーションツール（スラック）の利用等によりワークショップやオンライン上映、チケットの発券のオンライン化などにも取り組んだ。

5階、6階の貸展示室および別館ホールの利用については、前年度よりは回復したものの、コロナ前の半分にも及ばなかった。いつ状況が変化するかわからない中で、大規模なイベントや展覧会などを予定することは難しく、前年同様に多くの作家、アーティストが活動の場を失うことになったといえる。

コロナ感染拡大予防措置は、展覧会以外のろうじ店舗などのテナント事業にも大きな打撃を与えた。20時までの時短や飲食時の様々な自粛要請に合わせ18時に閉店する店が多くなり、夜間営業が成り立たなくなったことや来館者数の減少等から、この機に退去するに至ったところも出た。

ボランティア活動については、活動日を各自の居住自治体の対応に即したものとし安全対策を優先させた。活動領域も制限せざるをえず、来館者への解説を一時中断し、スタッフへの研修は、講義、ギャラリートークをネット配信に変更し、随時対応していった。

博物館実習は、コロナ禍においても博物館を支える次世代の育成に寄与する必要があるとの観点から、前年同様に

人数を半減させ三密を回避し、基本予防対策を徹底させつつ実施した。

最後に、先がなかなか見通せないコロナ禍での博物館活動は様々な困難に見舞われ、多くの課題を突きつけられることになったが、その反面、先を見据える一つの機会に繋がったところもあった。そのひとつが、オンラインの活用である。当館ではコロナ前からオンラインの活用やデジタルアーカイブ事業などに取り組んできてはいたが、これまで対面を中心に行っていた展覧会の準備や各種イベント事業、博物館の様々な活動をなんとか維持できたのは、オンラインの活用があってこそであった。開催半ばで中止となってしまった特別展「よみがえる承久の乱」は、その後少しでも展覧会を多くの人に見ていただくため、ニコニコ動画でのオンライン配信を試み、総合展示においても最後まで開催することのできなかった「戦後京都の「色」はアメリカにあった!」「京の盆踊り」では、展覧会紹介をはじめギャラリートークやシンポジウムをオンラインで配信した。また、地域との連携事業などについても三密を避けて実施するため、オンラインを活用しての会議やイベントの開催を続けた。

今回様々な形でオンライン活用を試みる機会となったことは、少なからず我々にとって得がたい機会となったこと、また社会的にもオンライン活用の受け皿が整ってきたように感じられるところに、博物館活動の新たな可能性を見いだすこともできるだろう。

2021(令和3)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				ろうじ 店舗	総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計		
2021.4	686	1,096	1,782	4,225	1,838	6,063	4,911	2,934	7,845	4,246	1,788	5,284	11,318	5,347	24,510
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	848	1,645	2,493	1,141	680	1,821	1,989	2,325	4,314	610	827	3,008	4,445	4,756	13,515
7	1,860	1,983	3,843	1,879	1,108	2,987	3,739	3,091	6,830	4,768	1,250	5,310	11,328	6,848	25,006
8	1,035	940	1,975	1,916	1,215	3,131	2,951	2,155	5,106	3,276	268	2,395	5,939	5,001	16,046
9	0	0	0	4,793	2,151	6,944	4,793	2,151	6,944	1,383	1,197	2,643	5,223	5,430	17,597
10	1,180	1,776	2,956	7,146	1,488	8,634	8,326	3,264	11,590	6,470	2,568	9,717	18,755	7,551	37,896
11	1,161	2,721	3,882	8,298	1,514	9,812	9,459	4,235	13,694	1,534	3,499	6,107	11,140	8,637	33,471
12	897	1,565	2,462	8,002	1,441	9,443	8,899	3,006	11,905	3,697	1,061	20,078	24,836	7,285	44,026
2022.1	1,257	3,262	4,519	13,204	3,215	16,419	14,461	6,477	20,938	1,425	2,995	4,850	9,270	3,746	33,954
2	1,499	2,302	3,801	7,061	1,180	8,241	8,560	3,482	12,042	1,559	2,881	14,867	19,307	2,897	34,246
3	1,324	1,408	2,732	13,737	2,877	16,614	15,061	4,285	19,346	2,120	2,285	59,319	63,724	6,697	89,767
年度計	11,747	18,698	30,445	71,402	18,707	90,109	83,149	37,405	120,554	31,088	20,619	133,578	185,285	64,195	370,034
1日平均 (総240日) (特223日)	49	78	127	320	84	404	346	156	502						

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2021年4月4日(日)～24日(土)フィルムシアターのみ休室、4月25日(日)～5月31日(月)まで全館臨時休館。また、8月20日(金)～9月30日(木)まで総合展(フィルムシアター含む)のみ休室。

Ⅱ 資料の収集・利用

Ⅱ 概要

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立京都学・歴史館（旧京都府立総合資料館）所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料（博物館資料）をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を京都学・歴史館（旧総合資料館）から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館および京都学・歴史館で行うとともに、収集、利用等についても、その業務を当館で行っている。

なお、2021年度末での管理資料は55,276点、寄託資料が382点、一時保管資料が49点であった。

Ⅱ - 1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分野	資料名	点数
洋画	太田喜二郎《少女》ほか	9
日本画	近藤千尋《醍醐春雪》ほか	2
陶芸	竹中浩《色絵椿之角盒》	1
日本画	西久松吉雄《丹波路》ほか	4
日本画	中町力《あまのはしだて》ほか（「こころの京都百選」絵画シリーズ）【保管替】	100
		小計 116点

2) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館資料	歴史資料	95件1384点	美術工芸	227件230点	考古	19件 510点					341件 2124点
管理資料	日本画	8件 26点	陶 器	1件 89点	民 俗	6件 260点	武 具	2件 5点	染 織	3件 3点	20件 383点

Ⅱ - 2 資料の利用

1) 貸 与

【館蔵資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考 古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市教育委員会	常設展
考 古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	吹田市教育委員会	常設展
考 古	平安京左京三条三坊十一町出土大甕	2	備前市教育委員会	備前市埋蔵文化財管理センター常設展
考 古	旧日本銀行京都支店金庫棟外壁赤れんが	2	舞鶴市立赤れんが博物館	常設展

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
日本画	野々内良樹「緑映」	1	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため
日本画	歌川豊春「見立女三宮図」ほか計3点	3	大津市歴史博物館	展覧会「大津のどうぶつ博物館」に出品のため

歴史	双六「欧訪大飛行記念飛行遊戯」	1			
陶芸	五代清水六兵衛「大礼磁唐草文花瓶」 ほか計2点	2	京都府立京都学・歴史館		展覧会「丹後から山城まで博物館大集合！大正の京都」に出品のため
日本画	土農力「あまのはしだて」ほか計6点	6	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課		府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	土佐光貞「定家詠十二ヶ月花鳥図屏風」 ほか計4点	4	和泉市久保惣記念美術館		特別展「土佐派と住吉派 其の二」に出品のため
陶芸	色絵金彩唐人図三足香炉	1	福井県陶芸館		展覧会「ECHIZEN BRAND 新しいやきものへの挑戦」展に出品のため
日本画	幸野樸嶺「群魚図」	1	秋田市立千秋美術館		展覧会「絵になる自然～生きとし生けるものへの賛歌～」展に出品のため
日本画	中村文子「峰山のこんびらさん」ほか計6点	6	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課		府民ギャラリー事業二役室展示のため
風俗	「女諸礼集」ほか計2点	2	そごう美術館		展覧会「寿ぎのきもの ジャパニーズ・ウェディングー日本の婚礼衣装ー」に出品のため
日本画	木島櫻谷「鷹図」ほか計4点	4	福田美術館		展覧会「木島櫻谷展」に出品のため
日本画	谷口香嶠「養老孝子図」ほか計9点	9	笠岡市立竹喬美術館		展覧会「歴史を旅する 谷口香嶠」展に出品のため
日本画	池大雅「柳下童子図屏風」ほか計3点	3	名古屋市博物館		展覧会「大雅と蕪村」に出品のため
日本画	大森正哉「黄金遙想」ほか計6点	6	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課		府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	畠中光享「引き上げの港」ほか計7点	7	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課		府民ギャラリー事業二役室展示のため
日本画	田島周吾「赤い布がある家」	1	八幡市立松花堂美術館		展覧会「田島周吾 日本画の世界」に出品のため
日本画	曲光男「錦秋（瑠璃溪鳴瀑）」ほか計1点	2	南丹市立文化博物館		展覧会「るり溪と南丹の名所」に出品のため
寄託資料	「紅綸子地橘冊子文様打掛」ほか計3点	3	そごう美術館		展覧会「寿ぎのきもの ジャパニーズ・ウェディングー日本の婚礼衣装ー」に出品のため
					合計 17件 62点

2) その他

【館蔵資料・管理資料担当】

特別撮影・利用・特別観覧

館蔵資料：撮影・利用 51件 89点 特別観覧 7件 121点／管理資料：撮影・利用 32件 67点 特別観覧 10件 55点

寄託資料一時持ち出し・貸与

	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館蔵資料	絵画	上村松園「夕暮」	1	京都市京セラ美術館	展覧会
	絵画	「丹波国福知山洪水被害之図」ほか	5	南丹市日吉町郷土資料館	展覧会
管理資料	民俗	大船鉦神輿体及び神事祭事用品及び装飾品	31	公益財団法人四条町大船鉦保存会	祭礼
	民俗	祇園会鯉山飾毛綴（見送）ほか	8	公益財団法人鯉山保存会	祭礼
	民俗	附同鯉山飾毛綴縁廻水引（前）	2	公益財団法人鯉山保存会	修理

Ⅲ 展示活動

Ⅲ 概要

京都文化博物館は、昭和63年の開館以来、京都の歴史や美術・工芸、文化を紹介する施設としての役割を担ってきたが、平成23年にこれまでの固定的な常設展を一新し、四季折々に「ほんまもん（京都の至宝やゆかりの名品）で体感する」を基本コンセプトに、名称を「総合展示」と改めるとともに、国宝・重要文化財を含む多様な展示にフレキシブルに対応できる展示室を整備した。京都市内で唯一、京の通史を紹介する〈京の歴史〉ゾーンを核とし、ここでは語り尽くせないテーマを様々な角度から取り上げ「ほんまもん」で紹介する企画展示ゾーン〈京の至宝と文化〉〈京のまつり〉から構成されている。館蔵資料、管理資料、寄託資料をはじめ、他の美術館や博物館、寺社などの貴重で多彩な名品の数々で、展示内容や規模によって3階展示室も柔軟に利用しながら京都文化を紹介している。永い歴史に育まれた京都文化を語るには総体的な展示スペース不足の問題があるが、規模は大きくなくとも年間14～15に及ぶ質の高い企画展を展開しており、多様で重層的な京都文化の様々な側面を幅広く来館者に楽しんでもらっている。

Ⅲ - 1 総合展示

1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として脱皮を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの

政治的・文化史的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成される。狭小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。

【〈京の歴史〉ゾーン 展示資料】

コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵
イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	〈* *〉
絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
	3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
	4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
	5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
	6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
デジタル資料 近代都市京都の誕生	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立京都学・歴史館
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立京都学・歴史館
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立京都学・歴史館
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立京都学・歴史館
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	〈* *〉
	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局
	15	古写真 疏水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局
	16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局
	17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立京都学・歴史館
	18	古写真 ウイーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館
	19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立京都学・歴史館
	20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立京都学・歴史館
	21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館

デジタル資料	近代都市京都の誕生	22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立京都学・歴史館
		23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社社史資料センター
		24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	<*>
		25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター
実物資料	京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はぎとり標本	1点	<*>
	平安京の造営	27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	<*>
		28	鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	<*>
		29	緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	<*>
	平安貴族のくらしと文化	30	池亭記(複製資料)	1巻	<*>
		31	土器 雲林院跡出土	37点	<*>
		32	緑釉陶器耳皿 雲林院跡出土	1点	<*>
		33	中国製青磁碗 雲林院跡出土	1点	<*>
	中世都市市民の生活	34	中国製白磁碗 雲林院跡出土	1点	<*>
		35	常滑大甕 平安京左京八条三坊十五町跡出土	1点	<*>
		36	備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	<*>
		37	中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	<*>
		38	埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	<*>
		39	鑄造関連遺物(刀装具、仏具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<*>
		40	中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	<*>
	近世町人のなりわい	41	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	<*>
		42	京童	1冊	<*>
		43	都名所図会	1冊	<*>
		44	つぼつぼ	9点	<*>
45		でんぼ	1組	個人	
46		伏見人形 布袋	1点	<*>	
47		伏見人形 饅頭喰い	2点	<*>	
48		鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	<*>	
49		柄鏡	1点	<*>	

※所蔵欄 <*>印の資料は京都府立京都学・歴史館(旧総合資料館)蔵(当館管理)、<*>印の資料は当館蔵

2)〈京のまつり〉ゾーン

① 京の端午の節句と尚武

会 期：2021年4月10日(土)～5月30日(日)

*緊急事態宣言発出のため

4月10日(土)～4月24日(土)

概 要： 毎年5月5日は「こどもの日」として親しまれ、男の子の健やかな成長を願って五月人形が飾られ、粽や柏餅を食べる習慣が広く根付いているが、端午の節句には様々な願いが込められてきた。

端午の節句に菖蒲の葉を屋根に葺いたり、風呂の湯船に浮かべて入浴したりする習慣は、邪気を祓うまじないとして、京都では今も時折行われている。またこの日に上賀茂神

社で行われるくらべうま競馬は、平安時代からの五穀豊穡祈願の伝統を受け継いでいる。そのほかに長寿を願って飾られる葉玉など、端午の節句には人びとの多彩な祈願が寄せられてきた。

今回の展示では、勇壮な節句飾りのほか、葉玉や菖蒲兜など邪気を祓う祈りが込められた品々、そして端午の節句を題材とした絵画資料など、端午の節句にまつわる習俗や文化を京都に伝わるものを中心に紹介した。

主 催：京都府、京都文化博物館

出品資料数：18件

担当者：橋本 章

出品資料一覧

番号	資料・作品名	作者等	員数	時代
1	「五節句図」より「端午 印地打ち」	鶴澤探山	1幅	享保9年(1724)
2	「葉玉と女官」	月岡雪鼎	1幅	江戸時代中期
3	「菖蒲に蓬図」		1幅	江戸時代
4	「檜兜図」	村瀬双石	1幅	江戸時代後期
5	「飾甲冑図」	伝・田中訥言	1幅	江戸時代後期
6	「加藤清正像」	紀広成	1幅	江戸時代後期
7	「端午飾図」	人見淇堂	1幅	江戸末～明治時代
8	「賀茂競馬図」(大橋家コレクション)	猪飼嘯谷	1幅	大正12年(1923)
9	『日本歳時記』巻4より「端午飾図」	貝原好古	1冊	貞享5年(1688)
10	『諸国図会年中行事大成』巻5より「賀茂競馬図」「市井菖蒲図」	挿絵・速水恒章	2冊	文化3年(1806)
11	『貞丈雑記』より「葉玉図」	伊勢貞丈	1冊	弘化3年(1846)
12	五月人形(秀吉と従者)		一式	文政6年(1823)
13	大将人形(八幡太郎と従者)		一式	文政9年(1826)
14	五月人形(神功皇后と武内宿禰)		一式	江戸時代後期
15	菖蒲兜		1台	平成元年(1989)
16	葉玉「真」		1点	平成8年(1996)
17	葉玉「行」		1点	平成11年(1999)
18	葉玉「草」		1点	平成11年(1999)

* 出品資料は全て京都府の所蔵品です(京都府立京都市・歴彩館蔵/京都文化博物館管理)

② 祇園祭展

会期:2021年6月5日(土)～8月1日(日)

概要: 祇園祭の山鉦巡行は、京都の夏を彩る風物詩として長く親しまれてきた。祇園祭の源泉は、遠く千年以上前の平安時代初期にさかのぼり、都の安寧を脅かす疫神の退散を願った祭儀に由来するとされるが、それから幾多の年月を経ていく中で、祭礼には様々な変化がもたらされ、今からおよそ700年前には山や鉦の姿が祇園祭に登場するようになった。祇園祭の行列をにぎやかな踊りや音曲で囃し美しい装飾が施された山や鉦が往来する様相は、

沿道に繰り出す観衆を大いに熱狂させた。その担い手となったのは、後に町衆と総称される都の経済を支えた商工業者たちであった。彼らの情熱は祇園祭の山鉦巡行をより盛大なものへと成長させてゆき、現在の祭礼の姿へと連なるいしずえを作り上げていった。この展覧会では、日本を代表する都市祭礼である京都祇園祭について、懸装品や飾金具などの関連資料を展示して紹介した。

出品資料数: 13件

担当者: 橋本章

出品資料一覧

番号	資料名	年代	員数	所蔵者
1	八幡山見送「唐子遊図」	文化2年(1805)	1枚	個人蔵
2	孟宗山見送「白綴地墨画孟宗竹藪林図」竹内栖鳳画	昭和15年(1940)	1枚	孟宗山保存会
3	月鉦鉦頭 銅製鍍金月形	文化8年(1811)	1点	公益財団法人月鉦保存会
4	月鉦角飾金具 桜花文様鍍金	文政2年(1819)	8点	公益財団法人月鉦保存会
5	重要文化財 黒韋威肩白胴丸 大袖喉輪付	室町時代	1領	公益財団法人浄妙山保存会
6	洛中洛外図屏風(松居家本)	江戸時代後期	六曲一双	個人蔵
7	『祇園御霊会細記』	宝暦7年(1757)刊	2冊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
8	『山鉦由来記』	宝暦7年(1757)刊	4冊	京都府蔵(京都文化博物館管理)

9	『都名所図会』巻2より「祇園会」	安永9年(1780)刊	1冊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
10	『諸国図会年中行事大成』巻6より「祇園会宵山飾図」	文化3年(1806)刊	1冊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
11	月鉾模型	昭和時代	1台	京都府蔵(京都文化博物館管理)
12	長刀鉾模型	昭和時代	1台	京都文化博物館
13	月鉾模型	明治時代	1台	京都文化博物館

③ 京の盆踊り

会 期：2021年8月7日(土)～9月26日(日)

※緊急事態宣言発出のため

8月7日(土)～8月19日(木)

概 要： 盆踊りは、日本の夏を彩る催事として広く親しまれてきた。盆踊りの成立は、室町時代中頃、応仁・文明の乱がおさまった後に京都で流行した風流踊がその契機となったという。風流踊はお盆以外の様々な機会でも踊られたが、当時の盃蘭盆では、念仏を唱える際にこれを笛や太鼓や鉦を鳴らして囃す芸能が育ちつつあり、それがこの風流踊と結びついて、次第に盆踊りの文化が育成されていったと考えられている。

盆踊りには、成立当初から流行を追い求める傾向があり、その時々の人々の好みに応じ

て様々な趣向や音曲が取り入れられ、自在にその姿を変えていった。その一方で古くなった芸能は廃れたが、京都にはかつて流行した盆踊りの形態が一部で今も大切に伝え残されている。

この展覧会では、京都の伝統的な盆踊りの様相を、これを記録した江戸時代の書物や絵画資料などによって示し、日本の文化として馴染深い盆踊りについて、その変化の過程やそれぞれの芸能の面白さを紹介した。

出品資料数：23件

その他：展示記録映像「京の盆踊り」(6分30秒)の制作

担当者：橋本 章

出品資料一覧

番号	資料名	員数	時代	所蔵者
1	紀徳直「洛北三祭礼図」	3幅	江戸後期～明治時代	京都府蔵(京都文化博物館管理)
2	西村楠亭「盆踊」	1幅	江戸時代後期	京都府蔵(京都文化博物館管理)
3	伝・狩野晴川「美人盆踊」	2幅	江戸時代後期	京都府蔵(京都文化博物館管理)
4	上田公長「盆踊り」	1幅	江戸時代後期	京都府蔵(京都文化博物館管理)
5	『絵本都草紙』上巻	1冊	延享3年(1746)刊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
6	『拾遺都名所図会』巻1	1冊	天明7年(1787)刊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
7	『都すずめ案内者』上巻	1冊	正徳5年(1715)刊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
8	『都名所事』	1冊	正徳4年(1714)刊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
9	『京童跡追』巻2	1冊	寛文7年(1667)刊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
10	『骨董集』上編上	1冊	天保7年(1836)刊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
11	『一代男画譜』	1冊	大正7年(1918)刊	京都府蔵(京都文化博物館管理)
12	胴長太鼓(台付)	1台		京都府蔵(京都文化博物館管理)
13	白川女装束	一式	昭和30年代	京都府蔵(京都文化博物館管理)
14	差柄団扇	1枚	近代	京都府蔵(京都文化博物館管理)
15	朝日亭配り団扇	1枚	近代	京都府蔵(京都文化博物館管理)
16	花笠(久多花笠踊)	3点	昭和時代	京都府蔵(京都文化博物館管理)
17	『寶永花洛細見圖』巻4・巻7	2冊	江戸時代前期	京都府立京都学・歴史館蔵
18	「盆踊り停止の通達」(平和家文書)	1枚	明治13年(1880)	京都府立京都学・歴史館蔵
19	「口述」(三条衣棚町文書)	1枚	江戸時代後期	京都府立京都学・歴史館蔵
20	上林役所廻文(宮本守三家文書)	1枚	江戸時代後期	京都府立京都学・歴史館蔵
21	「修学院盆踊」(矢野家写真資料)	1点	大正～昭和初期	「京の記憶アーカイブ」より
22	「松ヶ崎題目踊」(矢野家写真資料)	1点	大正～昭和初期	「京の記憶アーカイブ」より
23	「八瀬赦免地踊」(黒川翠山撮影写真資料)	1点	大正～昭和初期	「京の記憶アーカイブ」より

④ 輝く京都の四季

会 期：2021年10月2日(土)～11月28日(日)
 概 要：染織文化が高度に発達した京都では、鮮やかな色彩にあふれる京都の四季を、作家たちがそれぞれの感性と技術であらわしてきた。本展示では、京都府収蔵品の染織作品から、森口華弘、伊砂久二雄、三浦景生、来野月乙、井隼慶人といった作家たちが、無数にある名

勝の美しさのみならず、何気ない風景に香る季節の空気、滋味豊かで愛らしい野菜など、京都の風景や文物をテーマに制作した作品を紹介した。

出品資料数：12件
 担当者：林 智子

出品資料一覧

No.	資料名	作者	制作年
1	山ぐにの春	稲垣 稔次郎	1954
2	つちしょうがとたまねぎ	三浦 景生	1963
3	薫秋	森口 華弘	1970
4	早春	森口 華弘	1973
5	はぼたん譜	三浦 景生	1974
6	木挽と西瓜のひととき	来野 月乙	1987
7	花菖蒲畑の虹	三浦 景生	1988
8	古都有情(京都)パートI	伊砂 久二雄	1994
9	れんこんとかりふらわー	三浦 景生	1995
10	宇治上神社	井隼 慶人	1997
11	千年椿III	寺石 正作	1998
12	慈雨	井隼 慶人	2012

* 出品作は全て京都府蔵(京都文化博物館管理)

⑤ 画家・井澤元一と京都 I

会 期：2021年12月4日(土)～2022年2月6日(日)
 概 要：京都をモチーフに描き続けた画家・井澤元一(1909-1998)の、初期から晩年までの絵画作品と関連資料を展示した。「京都人は、京都の風物を描くのに、なぜか抵抗を感じる」と述べた井澤の描く京都は、特定の時間や空間を超え、文化を紡ぐ人々の熱気や伝承が育む

力を伝える。知られざる画家の軌跡を辿ると同時に、井澤が描いた京都の祭礼も合わせて紹介した。

主 催：京都府、京都文化博物館
 協 力：ギャラリー宮脇
 出品資料数：22件(その他、関連資料多数)
 担当者：清水智世

出品資料一覧

No.	制作者	資料名	制作年	技法	所蔵
1	井澤 元一	広隆寺牛祭	1986	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
2	井澤 元一	画室	1934	油彩・キャンバス	ギャラリー宮脇
3	井澤 元一	公園の性格	1942	油彩・キャンバス	個人
4	井澤 元一	人	1949	油彩・キャンバス	個人
5	井澤 元一	鉢	1957	油彩・キャンバス	ギャラリー宮脇
6	井澤 元一	祇園会の夜(「古都点描」より)	1979	水彩・紙	個人
7	井澤 元一	祇園祭鉦巡行	1989	油彩・キャンバス	ギャラリー宮脇
8	井澤 元一	広隆寺 太秦牛祭	1980	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)

9	井澤 元一	牛祭の鬼面(「古都点描」より)	1979	水彩・紙	個人
10-13	—	太秦広隆寺牛祭の面(4面)	—	着彩・紙	京都府(京都文化博物館管理)
14	井澤 元一	京都三大馬祭(上賀茂神社・競べ馬、下鴨神社・流鏑馬神事、藤森神社・駈ケ馬)	1981	油彩・キャンパス	京都府(京都文化博物館管理)
15	井澤 元一	やすらい祭り	1983	油彩・キャンパス	ギャラリー宮脇
16	井澤 元一	奇祭やすらい祭り(「古都点描」より)	1979	水彩・紙	個人
17	井澤 元一	三十三間堂 南大門	1975	油彩・キャンパス	京都府(京都文化博物館管理)
18	井澤 元一	三十三間堂南大門(「古都点描」より)	1979	水彩・紙	個人
19	井澤 元一	旧日本銀行京都支店	1984	油彩・キャンパス	個人
20	井澤 元一	旧中京郵便局(「古都点描」より)	1979	水彩・紙	個人
21	井澤 元一	京都国立博物館西門(「古都点描」より)	1979	水彩・紙	個人
22	井澤 元一	同志社キャンパス(「古都点描」より)	1979	水彩・紙	個人
資料	井澤 元一	作品ノート(11冊)	—	—	井澤猛

*その他、関連資料

⑥ 雛人形名品展

会 期：2022年2月12日(土)～4月3日(日)
 概 要：京都府には、江戸時代からの様々な人形とその関連資料が収蔵されており、例年、上巳の節句(桃の節句)にあわせた展示を行っている。本年は、京都府コレクションから選りすぐった雛人形の優品とあわせ、江戸時代後期

あまがつ ほうこ
 の天児・這子や大正時代の御殿雛、江戸時代の女性の小袖などを紹介した。

出品資料数：17件

担当者：林 智子

出品資料一覧

No.	資料名	時代	作者
1	天児	江戸時代後期	
2	這子	江戸時代後期	
3	雛人形 立雛	江戸時代後期	
4	雛人形 立雛	江戸時代後期	
5	雛人形 元禄雛	江戸時代中期	
6	雛人形 享保雛	江戸時代中期	
7	雛人形 有職雛	江戸時代後期	
8	雛人形 古今雛	江戸時代後期	
9	雛人形 古今雛	江戸時代後期	
10	雛人形 古今雛	江戸時代後期	
11	雛人形 御殿雛	大正時代	
12	おぼこ雛	大正時代	
13	衣裳人形 鶏合わせ	江戸時代後期	
14	立雛	昭和45年(1970)	岡本 正太郎
15	御立雛	昭和52年(1977)	中田 世津
16	井筒文様小袖	江戸時代後期	
17	桜花幔幕文様小袖	江戸時代後期	

*出品作は全て京都府蔵(京都文化博物館管理)

3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

① 伝える－災害の記憶展 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料

会 期：2021年3月20日(土)～5月16日(日)
 ※緊急事態宣言発出のため
 3月20日(土)～4月24日(土)

概 要：あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料は大正後期から戦前期にかけ、同和火災海上保険の廣瀬鉞太郎氏が収集した1400点あまりの資料群である。18世紀から20世紀に日本全国で発生した各種災害に関する多様な資料を含む。これまでは社内を中心に限定的な公開にとどまっていたが、京都古地震研究会の協力を得て資料を再整理した。東日本大震災から10年の節目にはじめて大規模な公開を行い、さらにウェブサイト「みんなで翻刻」を通じて災害資料としてひろく活用されるようになった。

出品資料数：145件（その他資料1点）

担当者：有賀 茜



「伝える－災害の記憶展」チラシ

出品資料一覧

No.	作者	タイトル	制作年	素材
1		新板京絵図	天明8年	木版墨摺
2		京洛中大焼節届の次第	天明8年	紙本墨書
3		天明八年京都大火図	天明8年	紙本墨書淡彩
4	中尾方治	天明八戊申年正月晦日京都大火二付諸事聞書	天明8年	紙本墨書
5		花紅葉都噺 上・中・下	天明8年	
6		弘化四年丹後地方上り山一件	弘化4年	木版墨摺
7		京都出火略図	嘉永7年	木版合羽摺
8		京都所々図絵	嘉永7年	木版墨摺
9		京都大火之図	嘉永7年	木版合羽摺
10		大坂南船場大火	嘉永5年	木版合羽摺
11		嘉永七年大和外二か国大地震	嘉永7年	木版墨摺
12		諸国珍事末代記録鑑	嘉永7年	木版墨摺
13		嘉永七寅年大地震記	嘉永7年	木版墨摺
14		早飛脚廻りにてくわしき所本しらべ大地震	嘉永7年	木版墨摺
15		本しらべ大坂大地震大破略記	嘉永7年	木版墨摺
16		本しらべ大阪地震の次第初編	嘉永7年	木版墨摺
17		嘉永七年寅十一月諸国大地震大津波并出火	嘉永7年	木版墨摺
18		嘉永七年寅十一月大坂大地震大津浪	嘉永7年	木版墨摺
19		嘉永七年寅十一月大坂大地震大津浪	嘉永7年	木版墨摺
20		京都出火略図	安政5年	木版合羽摺
21		平安大火末代噺	元治元年	木版多色刷
22		京都大火之略図	元治元年	銅版多色刷
23		京都大火本しらべ	元治元年	木版合羽摺
24		京都近世大火略図	元治元年	錦絵
25		京都大阪近世大火略図	江戸時代～明治時代	木版合羽摺

26		京都大火記事	元治元年か	木版墨摺
27		本しらべ京都大火の説後編	元治元年	木版合羽摺
28		京都大火大功記十段目抜文句	元治2年	木版合羽摺
29		洛中大火夢物語	元治元年	
30		京大坂伏見大地震	文政13年	木版墨摺
31		慶応二年京坂地方大風雨之図	慶応2年	木版手彩色
32		慶応四戊辰年大洪水細見図	慶応4年	木版錦絵
33		大坂・堺・伏見火災絵図	慶応4年	錦絵
34		本しらべ城州伏見大火の図	慶応4年	木版合羽摺
35		大阪・伏見出火の図	慶応4年	木版合羽摺
36		大坂南堀江出火記事	享保9年	紙本墨書
37		大坂大火騒動絵図	天保8年	木版合羽摺
38		米高直二付大阪市中にほどこし名録後編	天保8年	木版墨摺
39		大阪大火之図	文久3年か	木版合羽摺
40		大坂大火場所附	文久3年か	木版墨摺
41		大阪今昔三度の大火	文久3年	木版合羽摺
42		大阪今昔四度の大火	明治42年	活版
43		大阪大火画報 第十六号	明治42年	
44		嘉永年間より米相場直段并年代記書抜大新版	慶応4年か	錦絵、二枚続
45		嘉永三年江戸落雷の図	嘉永3年	木版墨摺
46	葛飾為直	[落雷骨接泥鏝療治]	嘉永3年	錦絵、一部墨書
47	村山正隆	震雷考説 全	安政3年	
48		家苦ばらい／ほうぼうへ逃状の事	安政年間か	木版墨摺
49	山本松谷	明暦大火の図	明治32年	石版
50	山本松谷	明暦大火回向院供養の図	明治32年	石版
51		るいせう道しるべ上・中・下	文化8年	木版墨摺
52		守礼 大矢山日行寺	江戸時代 19世紀	木版墨摺
53		焼死大法会図	安政2年か	錦絵、二枚続
54	歌川芳綱	江戸地震施餓鬼の図	安政2年	錦絵
55	仮名垣魯文筆 歌川国芳ら画	安政見聞誌 上・中・下	安政2年	
56		地しんの辨	安政2年	錦絵
57		安政二卯年十月二日夜地震大花場所一覽図	安政2年	木版合羽摺
58		安政二卯十月二日地震焼場所附	安政2年	木版合羽摺
59		安政二卯十月二日大地震附類焼場所	安政2年	木版合羽摺
60		関東大地震并出火	安政2年	木版墨摺
61		安政二年大地震の絵	安政2年	錦絵
62		大地震記事	安政2年	木版墨摺
63		関東類焼大地震	安政2年	錦絵
64		安政二年十月二日夜亥刻大地震焼失市中騒動図	安政2年	錦絵、三枚続
65	歌川貞秀	四ツ目ヨリ天神川通り堤上ニテ江戸ノ方ヲ見ル図	安政2年	錦絵、二枚続
66		安政二乙卯年大震大火の図	安政2年	錦絵
67		泪如来の損像	安政2年か	木版墨摺
68		大坂下りなまづのかるわざ	安政2年	木版墨摺
69		じしん百万遍	安政2年か	錦絵
70		地震百万遍	安政2年か	錦絵
71		大合戦図	安政2年か	錦絵、三枚続
72		地震吉凶之弁	安政2年か	錦絵、三枚続
73		鯨筆を震	安政2年か	錦絵
74		鯨と職人たち／鯨大尽の遊び	安政2年か	錦絵
75		鯨に金銀を吐かされる持丸	安政2年か	錦絵

76		ほね抜どぞう／なまつおなんぎ大家場焼	安政2年か	錦絵二枚続のうち一枚
77		糸んまの子のわけ	安政2年か	錦絵
78		なまつの力ばなし／なまつの夫婦やきもちばなし	安政2年か	錦絵
79		浮世辻うらなひ	安政2年か	錦絵
80		即席鯨はなし	安政2年か	錦絵
81		地震よけのお守り札	安政2年か	錦絵
82		鯨を押える鹿島大明神	安政2年か	錦絵
83		神馬と鯨	安政2年か	錦絵
84		鯨を蹴散らす伊勢神宮神馬	安政2年か	錦絵
85		打身骨抜即席御りやう治	安政2年か	錦絵
86		新板東海道地震双六	安政2年か	木版墨摺
87		大嵐水入場所明細書之写	安政3年	木版墨摺
88		江戸十里四方大嵐出水焼失場所附	安政3年	木版墨摺
89		呉服橋外桶町河岸つむじ風の図	安政5年	錦絵、二枚続
90		肥前国島原の図	寛政4年か	紙本著色
91	金井俊行	島原半島の図	明治時代 19世紀	紙本淡彩
92	金井俊行	前山破裂当時の図	明治時代 19世紀	紙本淡彩
93	金井俊行	島原市街傍近現景	明治時代 19世紀	紙本淡彩
94		弘化丁未春三月廿四日信州大地震山瀬川塞湛水之図	弘化4年	木版合羽摺
95		弘化丁未夏四月十三日信州犀川崩激六郡漂蕩之図	弘化4年	木版合羽摺
96		弘化丁未信濃国大地震之図	弘化4年	木版合羽摺
97		信州大地震届書写し	弘化4年	紙本墨書
98	歌川国輝	かわりけん	弘化4年	錦絵
99		弘化四年信州地方大地震	弘化4年	木版墨摺
100		江戸鯨と信州鯨	弘化4年	錦絵、二枚続
101		安芸国大水図	嘉永3年か	木版墨摺
102		忘れまい沼津見立	天保10年	木版墨摺
103		甲州身延山大地震	嘉永6年	木版墨摺
104		越後の国大地震	文政11年か	木版墨摺
105		北越震動誌	安政5年か	木版墨摺
106		十箇国大地震の図	嘉永7年	木版墨摺
107		伊勢伊賀志摩近江尾張美濃大地震の図	嘉永7年	木版墨摺
108	豊原国輝	濃尾大地震後図	明治24年	錦絵、三枚続
109	梅堂小国政	濃尾大地震図	明治24年	錦絵、三枚続
110	安江文五郎	岐阜県下大地震災之統計略表	明治24年	木版墨摺
111	小国政	岐阜県愛知県大地震実況	明治24年	錦絵、三枚続
112	寺崎廣業	尾濃大地震	明治24年	石版多色刷
113		丹波国福知山洪水被害の図	明治29年	石版
114		京都市民被害者に諸物品を送るの図／大津近傍洪水被害惨状の図	明治29年	石版
115	山本松谷	両親愛子の最後を見送るの図ほか三図	明治30年	石版
116	三代目長谷川貞信	三陸海嘯絵報	明治29年	木版多色刷
117	小国政	岩手県青森県宮城県大海嘯画報	明治29年	錦絵、三枚続
118	小国政	明治丙申三陸大海嘯之実況	明治29年	錦絵、四枚続
119	山本松谷	越喜来の小学校教員御真影を捧げ出すの図／篝火の為に命を拾ひ得たるの図釜石町	明治29年	石版
120	宮武外骨	震災画報 全	大正13年	
121		各地災害図会	明治32年	
122		社会史研究 第十巻第四号 日本震災史	大正12年	
123		風俗画報 第三十六号 震災記聞前号の続	明治24年	
124	北村探僊	孝婦姑を救はんとして還て非命に終る図／危急に臨み親友に記念を託す図	明治24年	石版
125	山本松谷	大名の奥方立退の図	明治32年	石版多色刷
126	山本松谷	弘化三年正月本郷丸山大火の時越前屋鳥を放つの図	明治32年	石版多色刷

127	〔隆彦繪〕	焼跡見舞図	明治32年	石版多色刷
128		安政二年十月江戸大地震之節火災一覧の図	明治32年	石版多色刷
129	小林清親	火災の図	大正12年	絹本着色
130		帝都大震災絵ハガキ	大正12年	
131		厩橋々畔の夕景／本所天神橋通り写真	明治43年	
132		罹災者の各種風俗	明治43年	
133		吾妻橋サッポロ麦酒会社附近ほか七図絵ハガキ	明治43年	
134		痘瘡治療法	江戸時代 19世紀	錦絵
135	仮名垣魯文	安政午秋頃痢流行記	安政5年	木版墨摺
136		はしか毒いみ心得冊	文久2年	木版墨摺
137		疫癘速かに治する妙薬法	文化12年	木版墨摺
138		流行暴瀉病療治方	安政5年	木版墨摺
139		流行暴瀉病療治の御触書の写	安政5年	木版墨摺
140		大日本数量附暴病御救人別之写	安政5年	木版墨摺
141		厄除わらふ門 初編・二編	文久2年	木版墨摺
142		当時流行病療養妙伝	安政年間か	木版墨摺
143		流行癩疹やくばらい	江戸時代 18世紀	木版墨摺
144		しんばんない物づくし	文久2年	木版墨摺
145		癩疹養生法	江戸時代 18世紀	木版墨摺

所蔵は全てあいおいニッセイ同和損害保険株式会社

② 丸紅所蔵小袖名品展

会 期：2021年5月22日(土)～7月18日(日)

※緊急事態宣言発出のため

6月1日(火)～7月18日(日)

概 要：総合商社の丸紅は、呉服太物商として始まった長い歴史を持ち、世界各地で事業を展開しているが、すぐれた美術品を所蔵していることでも有名である。丸紅所蔵品のうち染織品は、丸紅商店の時代に、京都支店が呉服のための意匠研究を目的として収集したもので、

1929年の能装束の購入にはじまる。本展では、2011年より京都府に寄託をうけていた丸紅株式会社所蔵の能装束や小袖、裂を紹介した。なお寄託されていた資料は2022年3月をもって同社に返還され、2021年秋に開設された丸紅ギャラリーで公開されている。

出品資料数：37件

担当者：林 智子

出品資料一覧

No.	作者	製作年	展示期間
1	亀甲文様摺箔	江戸時代前期	前期
2	段替に観世水扇文様縫箔	江戸時代後期	後期
3	石畳に梅折枝松皮菱文様縫箔	江戸時代中期	前期
4	菊花折枝文様唐織	江戸時代中期	後期
5	段替桜菊霞文様唐織	江戸時代後期	前期
6	段替扇面四季草花文様厚板	江戸時代後期	後期
7	檜扇桐に若松文様長絹	江戸時代後期	前期
8	藤籠に胡蝶文様長絹	明治時代	後期
9	鱗形に浪丸文様狩衣	江戸時代後期	前期
10	寿に若松丸文様狩衣	江戸時代後期	後期
11	中啓	江戸時代後期	通期
12	蔓帯	江戸時代後期	通期

13	腰帯	江戸時代後期	通期
14	梅樹文様小袖	江戸時代中期	前期
15	岩に松藤文様小袖	江戸時代中期	前期
16	鳥取に柳文様小袖裂	桃山時代	後期
17	菊雉図友禅染掛幅	江戸時代後期	前期
18	春秋海浜風景図友禅染双幅	江戸時代後期	後期
19	復元小袖および工程見本(鳥取に柳文様小袖)	平成10年(1998)	後期
20	御簾に梅文様小袖	江戸時代後期	前期
21	春野文様小袖	江戸時代中期～後期	後期
22	春秋草花に雉子文様小袖	江戸時代中期	前期
23	唐山水文様小袖	江戸時代後期	後期
24	御所解文様打掛	江戸時代後期	前期
25	菊牡丹花束に斜立涌文様小袖	江戸時代後期	後期
26	桜菊折枝蝶文様小袖	江戸時代後期	前期
27	楼閣雲取草花文様帷子	江戸時代後期	通期
28	柳梅御簾文様単衣	江戸時代後期	後期
29	御簾唐子遊文様振袖	江戸時代後期	前期
30	尾花に立雛文様振袖	江戸時代後期	後期
31	松竹梅鶴亀文様振袖	江戸時代後期	前期
32	松皮菱麻の葉鶴丸と梅樹文様振袖	江戸時代後期	後期
33	松竹梅地紙散し文様振袖	江戸時代後期	前期
34	反物に松文様振袖	江戸時代後期	後期
35	檜葉重ね団扇立浪文様小袖裂	桃山時代	前期
36	段に夕顔と蒲文様小袖裂	桃山時代	後期
37	小袖裂 宝尽文様ほか	江戸時代	通期

※出品作は全て丸紅株式会社所蔵、京都府寄託(京都文化博物館管理)

③ 戦後京都の「色」はアメリカにあった！ カラー写真が描く〈オキュパイド・ジャパン〉とその後

会 期：2021年7月24日(土)～9月20日(月・祝)

※緊急事態宣言発出のため

7月24日(土)～8月19日(木)

概 要：本展覧会では、京都の占領期、1945年から52年の京都の姿をカラーで残した貴重な写真を当時の資料とともに紹介した。これらの写真群は進駐軍をはじめとするアメリカ人がコダクロームなどのカラースライドフィルム(リバーサルフィルム)で撮影したもので、これまでに知られてきた終戦直後のモノクロ写真の京都とは異なり、豊かな色彩が残されている。

また、本展は京都〈カラー写真〉研究会との調査・研究・企画協力のもと開催した。

主 催：京都府、京都文化博物館

企 画：京都〈カラー写真〉研究会

後 援：京都新聞

協 力：立命館大学アート・リサーチセンター、立命館大学歴史都市防災研究所

助 成：芸術文化振興基金、JSPS 科研費 JP21H00557 (代表：京都大学 貴志俊彦)、JSPS 科研費 JP18K11999 (代表：早稲田大学 佐藤洋一)

出品資料数：8件(その他資料多数)

担当者：植田憲司

出品資料一覧

資料番号	資料名		撮影者	撮影年代(年代)	技法	写真データおよびリバーサルフィルムの所蔵
1	ジョン・W・ホール関係写真	John W. Hall Photographs	ジョン・W・ホール	1945-56年頃	インクジェット・プリント(デジタルデータはリバーサルフィルムからのスキニングによる)	衣川太一コレクション Taichi Kinugawa Collection

2	リチャード・ジョン・ニューハード家関係写真	Richard John Newhard Photographs	リチャード・ジョン・ニューハード	1945-56年頃	インクジェット・プリント (デジタルデータはリバーサルフィルムからのスキャンによる)	衣川太一コレクション Taichi Kinugawa Collection
3	ディミトリー・ボリア関係写真	Dimitry Boria Photograph Collection	ディミトリー・ボリア	1945-56年頃	インクジェット・プリント (デジタルデータはリバーサルフィルムからのスキャンによる)	マッカーサー記念館 MacArthur Memorial
4	ロナルド・L・ヴィンゴ関係写真	Ronald L. Vingoe Photographs	ロナルド・L・ヴィンゴ	1946年頃	インクジェット・プリント (デジタルデータはリバーサルフィルムからのスキャンによる)	マッカーサー記念館 MacArthur Memorial
5	レノックス・アンド・キャサリン・ティアニー関係写真	Lennox and Catherine Tierney Photograph Collection	レノックス・ティアニー	1945-56年頃	インクジェット・プリント (デジタルデータはリバーサルフィルムからのスキャンによる)	ユタ大学J・ウィラード・マリオット図書館 J. Willard Marriott Library / University of Utah
6	リチャード・ヒロミチ・コサキ関係資料	Richard Hiromichi Kosaki Photograph Collection	リチャード・ヒロミチ・コサキ	1945-56年頃	インクジェット・プリント (デジタルデータはリバーサルフィルムからのスキャンによる)	JICA横浜 海外移住資料館 Japanese Overseas Migration Museum
7	ジェラルド・ワーナー関係写真	Gerald Warner Photograph Collection	Gerald Warner	1945-56年頃	インクジェット・プリント (デジタルデータはリバーサルフィルムからのスキャンによる)	ラファイエット大学スキルマンライブラリー Lafayette College Skillman Library
8	衣川太一コレクション	Taichi Kinugawa Collection	N.A.	1945-56年頃	インクジェット・プリント (デジタルデータはリバーサルフィルムからのスキャンによる)	衣川太一コレクション Taichi Kinugawa Collection

* 展示する写真は、ポジフィルムをスキャナーでデジタル化し、色彩補正、ゴミ修正を施したのちインクジェットプリンターで出力した。
* ジョン・W・ホール関係写真とリチャード・J・ニューハード家関係写真の一部は、衣川太一コレクションである。

参考資料一覧

	資料名	年代	
9	フィルムカメラキャノン11B	1949-52年	個人蔵
10	コダック コダスライドプロジェクト モデル1A	1947-51年頃	個人蔵
11	スライドケースとコダクロームスライド	1950年代	個人蔵
12	コダック コダクローム (リバーサル・フィルム)	1950年頃	個人蔵
13	京都市明細図	1951年頃	京都府立京都学・歴彩館
14	連合軍接收設置工事関係書C地区	1947年頃	京都府立京都学・歴彩館
15	進駐軍向けお土産用スプーン	1945-52年頃	個人蔵
16	進駐軍向けの観光用パンフレット	1950年頃	個人蔵

④ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝11 近衛家とまつり

会 期：2021年9月25日(土)～11月21日(日)
 前期展示＝9月25日(土)～10月24日(日)
 後期展示＝10月26日(火)～11月21日(日)
 ※緊急事態宣言発出のため
 10月1日(金)～11月21日(日)

概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。本展では、「近衛家とまつり」をテーマに、国宝『御

堂関白記』をはじめとする歴代当主の古記録に書き留められた祭礼の記録や、賀茂祭の盛儀を描く「賀茂祭絵巻」などを通して、公家社会を取り巻く雅やかな祭礼や行事の世界を紹介した。

協 力：公益財団法人陽明文庫
 出品資料数：22件
 担当者：佐藤稜介

出品資料一覧

No.	指定	資料名	筆者等	制作年代	員数	展示期間
1	国宝	御堂関白記 自筆本 寛弘七年上巻	藤原道長筆	平安時代 寛弘7年(1010)	1巻	前期
2	国宝	御堂関白記 古写本 寛弘七年巻		平安時代 11-12世紀	1巻	前期

3	国宝	御堂関白記 自筆本 寛仁二年上巻	藤原道長筆	平安時代 寛仁2年(1018)	1巻	後期
4	国宝	御堂関白記 古写本 寛仁二年巻		平安時代 11-12世紀	1巻	後期
5		賀茂祭絵巻	詞書：近衛家熙筆 絵：渡辺始興画	江戸時代 18世紀	1巻	通期
6	重要文化財	春日鹿曼荼羅		鎌倉時代 13世紀	1幅	前期
7		春日鹿曼荼羅(模本)		昭和時代 20世紀	1幅	後期
8		藤原鎌足像		室町時代 15-16世紀	1幅	通期
9	重要美術品	柿本人麻呂像	後水尾天皇賛 聖護院道晃法親王画	江戸時代 17世紀	1幅	通期
10		柿本人麻呂像	近衛信尹画賛	安土桃山-江戸時代 16-17世紀	1幅	通期
11		渡唐天神像	近衛信尹画賛	安土桃山-江戸時代 16-17世紀	1幅	通期
12		七夕花扇使図	原在明画	江戸時代 19世紀	1巻	通期
13		七夕花扇図	原在明画	江戸時代 19世紀	1幅	通期
14		七夕花扇関連文書		江戸時代 18世紀	2通	通期
15	重要文化財	岡屋関白記 建長二年夏記		鎌倉時代 14世紀	1巻	前期
16	重要文化財	岡屋関白記 寛元四年春夏記		鎌倉時代 14世紀	1巻	後期
17	重要文化財	深心院関白記 文永二年記	近衛基平筆	鎌倉時代 文永2年(1265)	1巻	前期
18	重要文化財	後深心院関白記 永和四年春夏記	近衛道嗣筆	南北朝時代 永和4年(1378)	1巻	後期
19	重要文化財	後法成寺関白記 永正三年記	近衛尚通筆	室町時代 永正3年(1506)	1冊	前期
20	重要文化財	後法成寺関白記 享祿四年記	近衛尚通筆	室町時代 享祿4年(1531)	1冊	後期
21	重要文化財	後愚昧記 貞治六年記	三条公忠筆	南北朝時代 貞治6年(1367)	1巻	前期
22	重要文化財	吉黄記 康元二年記	吉田経俊筆	鎌倉時代 康元2年(1257)	1巻	後期

※所蔵は全て公益財団法人陽明文庫。

⑤ 池大雅 書の世界

会 期：2021年9月25日(土)～11月21日(日)

※緊急事態宣言発出のため

10月1日(金)～11月21日(日)

概 要：池大雅美術館コレクションを中心に、江戸時代の文人画家・池大雅の書を公開した。会場内のキャプション設置に加え、書は分かりにくく感じられる方に向けて「おてもとガイ

ド」を用意した。作品のかたちに注目しつつ、内容を家で確認できたこと好評をいただいた。また京都府が下書きを所蔵する看板の実物が大阪歴史博物館に所蔵されているという情報を得て、パネル展示を行うことができた。

出品資料数：21件

担当者：有賀 茜

出品資料一覧

No.	前期	後期	作者	タイトル	製作年	素材	所蔵
1	○	○	池大雅	金山		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
2	○	○	池大雅	唐詩細楷扇面		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
3	○	○	泉堂元昶	泉堂之偈		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
4	○	○	池大雅	獨楽園記	享保19年	紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
5	○	○	池大雅	考工記図解	延享2年	紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
6	○	○	韓天寿	司馬温公獨楽園記		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)
7	○	○	池大雅	杜甫「秋興」		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
8	○	○	池大雅	杜甫「江亭」		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
9	○	○	池大雅	鮑溶「上巳日寄樊瓘、樊宗憲、兼呈上浙東孟中丞簡」		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
10	○	○	池大雅	親芋図		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
11	○	○	池大雅	葡萄図		紙本墨画	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション

12	○	○	池大雅	糸びす図		紙本墨画淡彩	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
13	○	○	池大雅	巫峡山水図		紙本淡彩	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
14	○	○	池大雅	天産奇葩画卷	寛延2年	紙本墨画	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
15	○	○	池大雅	唐詩帖		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
16	○	○	池大雅	陶淵明「帰去来辞」		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
17	○	○	池大雅	木製看板「御婚礼土器」		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
18	○	○	池大雅	看板「家方」(下書)		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
19	○	○	池大雅	書簡 口上	安永4年	紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
20	○	○	池大雅	与葛子琴詩	宝暦12年	紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション
21	○	○	池大雅	書簡 庄右エ門宛		紙本墨書	京都府蔵(京都文化博物館管理)池大雅美術館コレクション

⑥ 近代文化人ネットワークー太田喜二郎の周辺ー

会 期：2021年11月27日(土)～2022年1月23日(日)

概 要：太田喜二郎は近代京都の洋画壇の重鎮で、点描風の明るい作品で知られる。当館では2016年から約5年にわたって膨大な太田喜二郎資料の調査を進めていて、本展ではその成果を紹介した。2021年2月に太田邸が国の登録有形文化財(建築物)に登録されるなど、太田の遺した資料群は、洋画家の美術資料という以上に、建築界や文化資源学をはじめ多方

面にわたる分野で評価を高めつつある。これらの資料は太田のライフヒストリーを物語ることはもとより、近代の京阪神地域の社会を動かしてきた文化人の交流ネットワークを浮かび上がらせることになる。

協 力：京都大学人文科学研究所みやこの学術資源研究・活用プロジェクト

出品資料数：70件

担当者：植田彩芳子、村野正景

出品資料一覧

No.	資料名	作者	制作年	所蔵
1	署名貼付帖	太田喜二郎	大正～昭和時代	個人蔵
2	太田喜二郎中学時代肖像写真		1902年	個人蔵
3	「中等教育毛筆画帖」清書集	太田喜二郎	1897～1898年	個人蔵
4	植物スケッチ	太田喜二郎	1899年頃	個人蔵
5	太田喜二郎宛矢野倫真年賀状	矢野倫真	1918年	個人蔵
6	第十回卒業生氏名併将来ノ目的	京都府第一中学校	1902年	個人蔵
7	あかね 京一中洛北高校同窓会誌 記念号	京一中洛北高校同窓会	1970年	個人蔵
8	直筆原稿「三十年前の昔のことなど(岩村透先生の追憶)」	太田喜二郎	1933年	個人蔵
9	巴里之美術學生	岩村透	1903年	個人蔵
10	西洋美術史要	岩村透	1905年	個人蔵
11	1903年度東京美術学校入学西洋画同窓生集合写真(1904年4月、木炭画教室にて撮影)		1904年	個人蔵
12	スケッチブック	太田喜二郎	1903年、1906年	個人蔵
13	黒田清輝先生遺作展覧会目録		1924年	個人蔵
14	留学中の太田喜二郎の名刺			個人蔵
15	Vie et Lumiere(『生と光』)第7回展覧会目録		1911年	個人蔵
16	太田喜二郎の肖像	ヴィクトール・ド・ビュット	1909年	京都府(京都文化博物館管理)
17	欧州絵行脚	三宅克己		個人蔵
18	スケッチブック(名画模写)	太田喜二郎	1912～13年	個人蔵
19	滞欧期習作	児島虎次郎	1909～12年	個人蔵
20	窓辺の婦人像	太田喜二郎	1911～12年	京都府(京都文化博物館管理)
21	少女	太田喜二郎	1911～12年	京都府(京都文化博物館管理)

22	河岸	太田喜二郎	1908～13年	京都府(京都文化博物館管理)
23	地藏盆	太田喜二郎	1921年	京都府(京都文化博物館管理)
24	田の虫送る火	太田喜二郎	1922年	京都府(京都文化博物館管理)
25	新緑の山	太田喜二郎	1929年	京都府(京都文化博物館管理)
26	窓際	太田喜二郎	1930年	京都府(京都文化博物館管理)
27	貴船の秋	太田喜二郎	1934年	京都府(京都文化博物館管理)
28	太田喜二郎宛濱田耕作葉書	濱田耕作	1920年7月21日付	個人蔵
29	濱田先生追悼録	京都帝国大学文学部考古学教室	1939年	個人蔵
30	東洋史論叢	羽田博士還暦記念会編	1950年	個人蔵
31	太田喜二郎宛東方文化学院京都研究所狩野直喜書簡	狩野直喜	1931年4月14日付	個人蔵
32	太田喜二郎宛新村出書簡	新村出	1925年9月13日付	個人蔵
33	新村出記念講演会写真		1936年12月	個人蔵
34	ふまぬ影	清野謙次著、装丁:太田喜二郎	1937年	個人蔵
35	風土記等習作	太田喜二郎	1935年頃	個人蔵
36	記紀万葉唐詩論語風土記 作図目録	太田喜二郎	1933年～41年	個人蔵
37	孝経	太田喜二郎・濱田耕作ほか合作	1934年	個人蔵
38	藤浪先生葬送記	詞書:清野謙次、画:太田喜二郎	1934年	京都大学医学部病態生物医学講座
39	藤浪先生追悼録	清野謙次編	1935年	個人蔵
40	太田喜二郎宛土田麦僊書簡	土田麦僊	1933年1月11日付	個人蔵
41	武田博士之横顔	武田博士還暦記念事業会	1932年	個人蔵
42	武田博士還暦記念展覧会目録		1932年	個人蔵
43	武田博士還暦祝賀会目録		1932年	個人蔵
44	太田喜二郎遺作展趣意書		1952年	個人蔵
45	考古学教室関係者会合写真		1948年	個人蔵
46	太田喜二郎宛上野精一書簡	上野精一	1942年5月17日付	個人蔵
47	太田喜二郎作品展覧会目録		1917年	個人蔵
48	川村多實二洋画集	川村多實二	1943年	個人蔵
49	第1回爾歩展昭和11年スクラップブック	太田喜二郎	1936年	個人蔵
50	第1回爾歩展写真貼付ノート	太田喜二郎		個人蔵
51	爾歩会・華畝会案内状・招待状ハガキ			個人蔵
52	紫野洋画研究所入所申込書	太田喜二郎	1946年	個人蔵
53	紫野洋画研究所関係スクラップブック	太田喜二郎		個人蔵
54	紀元2600年奉祝展第二部委員会関係資料	太田喜二郎	1940年	個人蔵
55	大礼記念京都美術館関係資料	太田喜二郎	1939年	個人蔵
56	美術館評議員会関係資料	太田喜二郎	1942年	個人蔵
57	京都市主催美術展関係資料	太田喜二郎	1944年	個人蔵
58	京都洋画家連盟関係資料	太田喜二郎	1940～43年頃	個人蔵
59	黄海海戦を描きて	太田喜二郎	1929年	個人蔵
60	続 黄海海戦を描きて	太田喜二郎	1932～34年	個人蔵
61	黄海海戦図関係スケッチブック	太田喜二郎	1930年頃	個人蔵
62	黄海海戦図発送前一覧を願ふ芳名		1934年7月15日	個人蔵
63	日清戦争黄海々戦壁画資料一、二	太田喜二郎	1926～28年頃	個人蔵
64	徳雲	徳雲会	1929年～1936年	個人蔵
65	秋月左都夫直筆原稿「徳雲」に寄せられたるもの	秋月左都夫		個人蔵
66	貴志弥右衛門「教養としての茶道」抜刷	貴志弥右衛門	1929年	個人蔵
67	奈良の葉	徳雲会	1936年	個人蔵
68	京都府風致委員囑託状		1933・34年	個人蔵
69	大阪毎日新聞切抜記事		1930年	個人蔵
70	東山風致復舊計画座談会	大阪営林局	1935年	個人蔵

⑦ 工芸、ここが素敵！

会 期：2022年1月29日(土)～3月27日(日)

概 要：「工芸」は明治時代に西洋の美術の価値観が入ってきた時に生まれた言葉で、従来からあるものをいくつかの変遷を経ながら「工芸」という枠に囲ってきた。芸術や生活、産業、デザインなどと複雑に絡みながら構築されてきた概念で、人によって「工芸」と聞いて思い浮かべるものは驚くほど多様である。本展では、第1部で、日本ならではの工芸の特質や魅力を京都府所蔵品で紹介し、第2部では、

次代を担っている作家たちが、「工芸」の概念や時代とどのように対峙し、新しい表現に挑戦しているのかを紹介する。従来イメージされる工芸の枠を超え、アートの表現の中にも工芸的な魅力が見出せる作品など、1、2部を通じて「工芸、ここが素敵！」を深掘りする。

出品資料数：60件

担当者：洲鎌佐智子

出品資料一覧

第1部

作家名	作品名	制作年
五代清水六兵衛	紅魚馬上盃	1932年
幹山 伝七	染付草花模様小水差	1880年
三代清風与平	染付紅茶茶碗	1880年
竹内 碧外	中啓形硯箱	1955年頃
竹中 浩	白磁面取大壺	2003年
七代錦光山宗兵衛	色絵母子図三足香炉	明治時代中期
錦雲軒稲葉七宝	孔雀文七宝簞笥	制作年不明
清水 卯一	蓬萊掛分扁壺 雪月花	1997年
象彦(八代西村彦兵衛)	春秋蒔絵文庫	大正時代頃
木村 盛伸	茄子釉大鉢	2003年
村山 明	櫛拭漆渦線盛器	1992年
江里佐代子	截金彩色屏風 萬象放輝	1981年
大林 蘇乃	青衣少女	1963年
岸田 竹史	思い出の風景	1989年
近藤 悠三	山噴煙染付花瓶	1964年
細見 華岳	有紋薄物着物 陽苑	1989年
水内 杏平	蔓艸文蒔絵堆朱手箱	1985年
鈴木 雅也	透胎 華の函	1991年
石田 征希	蓋物 飛鳥の春	2004年
山田 光	塔	1964年
藤平 伸	五緯連望	1984年
佐野 猛夫	夜の森	1969年
川上 力三	黒陶 門	1999年
小泉 武寛	なぎさ	1994年

※出品作品は全て京都府蔵(京都文化博物館管理)

第2部

作家名	作品名	制作年
石塚 源太	石の素形 #1	2015年
石塚 源太	石の素形 #4	2016年
石塚 源太	つやのふるまい #8	2016年
石塚 源太	無題(金箔)	2017年
石塚 源太	無題(感触の表裏)	2020年

石塚 源太	無題(縫合)	2021年
大石早矢香	ハヤサスラヒメー慈悲ー	2017年
大石早矢香	ひすい注器	2020年
大石早矢香	ひすい器	2021年
大石早矢香	うさ器	2021年
大石早矢香	秘めリンゴー桃ー	2021年
大石早矢香	桃ーmomoー	2021年
大石早矢香	モノノアワレ盃	2021年
大石早矢香	Rocky	2021年
中村 譲司	覆黒銀彩急須、覆黒銀彩急須台	2020年
中村 譲司	覆黒銀彩急須、覆黒銀彩急須台	2020年
中村 譲司	覆黒散赤平鉢	2020年
中村 譲司	覆黒銀雨彩花器	2021年
中村 譲司	覆黒銀雨彩碗	2021年
野田 朗子	The Everlasting Time	2009年
野田 朗子	Take your time	2012年
野田 朗子	一葉知秋	2014年
野田 朗子	Light and Shadow	2020年
野田 朗子	陰陽ー満月	2016年
野田 朗子	陰陽ー新月	2016年
野田 朗子	月の音	2018年
野田 朗子	蓮と生きるー華の時	2018年
野田 朗子	胡蝶の夢	2018年
野田 朗子	胡蝶の夢	2019年
野田 朗子	蓮の一片	2019年
野田 朗子	蓮と生きるー葉の時	2021年
野田 朗子	蓮と生きるー実の時	2021年
宮田 彩加	Signalーskull001ー	2015年
宮田 彩加	Signalーskull002ー	2015年
宮田 彩加	VISION	2016年
宮田 彩加	この視点×智齒曼荼羅	2018年

※出品作品は全て個人蔵

4) 3階展示室

① さまよえる絵筆ー東京・京都 戦時下の前衛画家たち

会 期：2021年6月5日(土)～7月25日(日)
 会 場：3階展示室
 主 催：京都府、京都文化博物館
 協 力：板橋区立美術館、みすず書房
 助 成：公益財団法人ポーラ美術振興財団、芸術文化
 振興基金助成事業
 担当者：清水智世
 入場者：総入場者：14,349人（1日平均326人）

【概 要】

日中戦争から太平洋戦争へと突き進む状況下において、日本の前衛画家たちは徐々に表現の自由を奪われていく。本展では、戦時下という困難な状況下で「新しい絵画」の可能性を模索し続けた東京と京都の前衛画家の作品を、当時の資料とともにご紹介した。未公開作品を含め、これまで限定的な公開にとどまっていた作品約110点と資料を展示紹介することで、戦時下の前衛画家たちがたどった多様な軌跡と作品の可能性を探った。

【出品作品数】97点（その他、関連資料多数）

【関連行事】

講演「転換期の東京の前衛画家たち」
 日時：7月10日（土）10時半～12時
 場所：3階フィルムシアター
 講師：弘中智子氏（板橋区立美術館 学芸員）

展覧会関連映画上映

映画：『疏水 流れに沿って』（能勢克男、1934年、14分）その他
 日時：2021年7月10日（土）13時半～、17時～（2回上映）
 会場：3階フィルムシアター



「さまよえる絵筆—東京・京都 戦時下の前衛画家たち」
 ちらし

出品資料一覧

No.	作家	作品名	制作年(和暦)	技法	所蔵
1 西洋古典絵画への関心					
1	福沢一郎	二重像	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
2	小川原脩	ヴィナス	1939(昭和14)年	油彩・キャンバス	板橋区立美術館
3	吉井忠	1505年フィレンツェ・マルテリ街Leonardの画室にて	1942(昭和17)年	インク・墨・紙	個人
4	吉井忠	薄田つま子	1941(昭和16)年	インク・紙	個人
5	吉井忠	薄田つま子	1941(昭和16)年	インク・紙	個人
2 新人画会とそれぞれのリアリズム					
6	松本竣介	顔(自画像)	1940(昭和15)年	油彩・板	個人
7	松本竣介	りんご	1944(昭和19)年	油彩・板	株式会社 小野画廊
8	松本竣介	三人	1942(昭和17)年頃	鉛筆・紙	個人
9	松本竣介	顔	1942-43(昭和17-18)年頃	鉛筆・コンテ・紙	個人
10	松本竣介	婦人像	1943(昭和18)年頃	木炭・紙	個人
11	麻生三郎	とり	1940(昭和15)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
12	麻生三郎	女	1944(昭和19)年	油彩・板	板橋区立美術館
13	麻生三郎	一子像	1944(昭和19)年	油彩・キャンバス	板橋区立美術館
14	霽光	蓮と太陽	1938-39(昭和13-14)年頃	墨・紙	個人
15	霽光	静物(雉)	1941(昭和16)年	油彩・キャンバス	東京都現代美術館
16	霽光	鳥	1941(昭和16)年頃	墨・紙	個人
17	寺田政明	芽	1938(昭和13)年	油彩・キャンバス	板橋区立美術館
18	寺田政明	かぼちゃと山	1943(昭和18)年頃	油彩・キャンバス	板橋区立美術館
3 古代芸術への憧憬					
19	難波田龍起	ヴィナスと少年	1936(昭和11)年	油彩・キャンバス	板橋区立美術館
20	難波田龍起	ニンフの踊り	1936(昭和11)年	油彩・キャンバス	板橋区立美術館

21	難波田龍起	春	1939(昭和14)年	油彩・板	板橋区立美術館
22	難波田龍起	古代の人	1940(昭和15)年	油彩・キャンバス	板橋区立美術館
23	難波田龍起	ヒュプノス	1935(昭和10)年	鉛筆・水彩・紙	板橋区立美術館
24	難波田龍起	ミロのヴィナス	—	鉛筆・紙	板橋区立美術館
25	難波田龍起	マウソロス霊廟のフリーズ	—	鉛筆・水彩・紙	板橋区立美術館
26	難波田龍起	テセウス	—	鉛筆・コンテ・紙	板橋区立美術館
27	難波田龍起	釈迦三尊	1943(昭和18)年	油彩・板	個人
28	難波田龍起	薬師如来	1943(昭和18)年	油彩・板	個人
29	難波田龍起	阿修羅像	—	鉛筆・コンテ・紙	個人
30	難波田龍起	法隆寺夢殿救世観音像	—	コンテ・紙	個人
31	難波田龍起	法華寺十一面観音	—	鉛筆・コンテ・紙	個人
32	難波田龍起	薬師寺東院堂聖観世音菩薩像	—	鉛筆・コンテ・紙	個人
33	難波田龍起	法隆寺大宝蔵院百済観音像	—	鉛筆・コンテ・紙	板橋区立美術館
34	難波田龍起	健駄羅佛像	—	鉛筆・コンテ・紙	板橋区立美術館
35	難波田龍起	埴輪	—	インク・水彩・紙	板橋区立美術館
36	難波田龍起	埴輪	—	鉛筆・水彩・紙	個人
37	難波田龍起	埴輪	—	鉛筆・紙	個人
38	難波田龍起	埴輪	—	鉛筆・紙	個人
39	小野里利信 (オノサト・トシノブ)	はにわの人	1939(昭和14)年	油彩・板	東京都現代美術館
40	小野里利信 (オノサト・トシノブ)	一ツの朱の丸(朱の丸)	1939-40(昭和14-15)年	油彩・板	東京都現代美術館
41	長谷川三郎	都制	1937(昭和12)年	毛糸・綿・小豆・ ガラス・厚紙	学校法人甲南学園 長谷川 三郎記念ギャラリー
42	長谷川三郎	新聞コラージュ	1937(昭和12)年	コラージュ(紙・新聞紙)・ インク・淡彩・紙	学校法人甲南学園 長谷川 三郎記念ギャラリー
4 京都の「伝統」と「前衛」					
43	集団制作「浦島物語」				
	吉加江清(京司)	浦島亀を救ふ(憧憬)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	小石原勉	亀の迎へ(誘惑)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	北脇昇	海上へ(好奇)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	原田潤	海底を(愛慕)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	安田謙	龍宮見ゆ(歓喜)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	今井憲一	龍宮に着く(讃嘆)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	松崎政雄(八笑亭)	乙姫に会ふ(恋着)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	井上(村上)稔	龍宮の生活：A(親和)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	田村一二	龍宮の生活：B(惑溺)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	三水公平	龍宮の生活：C(虚無)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	小栗美二	龍宮の生活：D(厭飽)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	小牧源太郎	郷愁を訴ふ(倦怠)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	杉山昌文	玉手筈に誓ふ(執着)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
	島津俊一(冬樹)	玉手筈は遂に開かれた(批判的現実)	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
44	松崎政雄(八笑亭)	フィンガーペイント	—	ガッシュ・紙	星野画廊
45	北脇昇	秋の驚異	1937(昭和12)年頃	油彩・キャンバス	京都国立近代美術館
46	北脇昇	変生像(観相学シリーズ)	1938(昭和13)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
47	小牧源太郎	生誕譜No.1	1938(昭和13)年	油彩・キャンバス	板橋区立美術館
48	小牧源太郎	作品	1939(昭和14)年	油彩・キャンバス	京都国立近代美術館
49	小牧源太郎	フェチッシュな風景	1939(昭和14)年	油彩・キャンバス	ギャラリー宮脇
50	北脇昇	非相称の相称構造(窓)	1939(昭和14)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
51	北脇昇	廣誠院庭園	—	鉛筆・パステル・紙	個人
52	北脇昇	京都 植物園	1932(昭和7)年	油彩・キャンバス	廣誠院
53	北脇昇	植物園	—	水彩・パステル・紙	廣誠院

54	北脇昇	洛西ならびが丘の秋	1936(昭和11)年	油彩・板	廣誠院
55	北脇昇	コンポジションA *後期	—	インク・鉛筆・紙	東京国立近代美術館
56	北脇昇	竜安寺石庭測図 *前期	1939(昭和14)年頃	墨・インク・鉛筆・色鉛筆・紙	東京国立近代美術館
57	北脇昇	竜安寺石庭ベクトル構造	1941(昭和16)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
58	北脇昇	文化類型学図式	1940(昭和15)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
59	北脇昇	周易解理図(泰否)	1941(昭和16)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
60	小牧源太郎	アムレットNo. 3	1940(昭和15)年	油彩・キャンバス	京都国立近代美術館
61	小牧源太郎	鳥紋図形	1941(昭和16)年	油彩・キャンバス	京丹後市教育委員会
62	小牧源太郎	道祖神	1950(昭和25)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
63	小牧源太郎	《形象石》習作	1941(昭和16)年	鉛筆・紙	伊丹市立美術館
64	共同制作「鴨川風土記序説」				
	北脇昇	鴨川風土記序説(平安京変遷図)	1942(昭和17)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
	小牧源太郎	鴨川風土記序説(藤原時代)	1942(昭和17)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
	吉加江清	鴨川風土記序説(足利時代)	1942(昭和17)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
	原田潤	鴨川風土記序説(桃山時代)	1942(昭和17)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
	小石原勉	鴨川風土記序説(徳川時代)	1942(昭和17)年	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
65	小牧源太郎	如来	1941(昭和16)年	油彩・キャンバス	個人
66	小牧源太郎	《壁画(十一面観音像)》習作	1943(昭和18)年	鉛筆・紙	伊丹市立美術館
67	小牧源太郎	壁画(十一面観音像)	1943(昭和18)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
68	小牧源太郎	仏頭	1943(昭和18)年	油彩・キャンバス	ギャルリー宮脇
69	小牧源太郎	弥勒石	1944(昭和19)年	油彩・キャンバス	京丹後市教育委員会
70	小牧源太郎	如意輪と梟	1944(昭和19)年	油彩・キャンバス	京丹後市教育委員会
71	小栗美二	雨あがる 各務原近郷にて	1935(昭和10)年	油彩・板	星野画廊
72	小栗美二	貝	—	油彩・キャンバス	星野画廊
73	今井憲一	翅と静物	1937(昭和12)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
74	今井憲一	造花と風車	1939(昭和14)年	油彩・キャンバス	京都国立近代美術館
75	今井憲一	湿地帯	1940(昭和15)年	油彩・キャンバス	京都市美術館
76	須田国太郎	戸外の静物	1941(昭和16)年	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)
77	北脇昇	飽なき探究 逞しき実践	1944(昭和19)年	紙本墨画淡彩	廣誠院
78	小牧源太郎	木の葉仏	1945(昭和20)年	油彩・キャンバス	京都府(京都文化博物館管理)

5 「地方」の発見

—	吉井忠	『東北記(1)馬市一岩手ヨリ青森へ』 『東北記(3)秋を行く一齊川の春』	1941-44(昭和16-19)年	鉛筆・ペン・原稿用紙	昭和のくらし博物館
—	吉井忠	南会津山村報告記	1942(昭和17)年	鉛筆・ペン・紙	個人
79	吉井忠	山村の形態	1941(昭和16)年	鉛筆・紙	個人
80	吉井忠	木地師の山小屋	1942(昭和17)年	インク・紙	昭和のくらし博物館
81	吉井忠	杓子・籠の製作過程	1942(昭和17)年	インク・紙	昭和のくらし博物館
82	吉井忠	道具	1942(昭和17)年	インク・紙	昭和のくらし博物館
83	吉井忠	佐々木カヨ 金沢村ニテ	1942(昭和17)年11月23日	鉛筆・紙	個人
84	吉井忠	福島信夫山	1943(昭和18)年2月14日	鉛筆・紙	個人
85	吉井忠	ソバを蒔くうね(スキフミ)	1943(昭和18)年	鉛筆・紙	個人
86	吉井忠	スキフミ	1943(昭和18)年	鉛筆・紙	個人
87	吉井忠	鋤踏み	1943(昭和18)年	油彩・キャンバス	個人
88	吉井忠	《毛馬内風景》のためのスケッチ	1943(昭和18)年	鉛筆・紙	個人
89	吉井忠	秋田曲田部落	1943(昭和18)年	鉛筆・紙	個人
90	吉井忠	曲田福音会堂	1943(昭和18)年	鉛筆・紙	個人
91	吉井忠	青森県三戸郡階上村 桑原一郎氏宅	1943(昭和18)年10月10日	鉛筆・紙	個人
92	吉井忠	青森県階上村	1943(昭和18)年10月11日	鉛筆・紙	個人
93	吉井忠	花巻豊里町 宮沢政次郎氏宅	1943(昭和18)年10月12日	鉛筆・紙	個人
94	吉井忠	豊浦町 佐藤弥助氏宅	1944(昭和19)年	鉛筆・紙	個人
95	吉井忠	齊川村	1944(昭和19)年	鉛筆・紙	昭和のくらし博物館

96	吉井忠	安達ヶ原	1944(昭和19)年9月5日	鉛筆・紙	個人
97	福沢一郎	浸蝕『秩父山塊』より	—	コンテ・紙	個人

関連資料

No.	作家	資料名	発行年、制作年	発行	所蔵
		日伊文化研究 2号、12号	1941(昭和16)年 1943(昭和18)年	日伊協会	個人
		美術文化 1～6号	1939-1941(昭和14-16)年	美術文化協会	板橋区立美術館
		第2回美術文化小品展目録	1941(昭和16)年	美術文化協会	板橋区立美術館
		美術文化 第3回展集	1942(昭和17)年	美術文化協会	板橋区立美術館
		美術文化 4回展集	1943(昭和18)年	美術文化協会	板橋区立美術館
		雑記帳	1936-37(昭和11-12)年	総合工房	個人
	鬨光	スケッチブック	1943(昭和18)年頃		個人
		第1回新人画会展(案内はがき)	1943(昭和18)年		板橋区立美術館
		第2回新人画会展(案内はがき)	1943(昭和18)年		板橋区立美術館
		美・批評	1931-1934(昭和6-9)年		個人
		世界文化	1935-1936(昭和10-11)年		京都生活協同組合
		土曜日	1936-37(昭和11-12)年		同志社大学人文科学研究所
		学生評論	1937(昭和12)年		個人
		京大俳句	1935-1939(昭和10-14)年		個人
		同志社派	1932-1936(昭和7-11)年		個人
	小牧源太郎	絵画諸論	1939(昭和14)年～		伊丹市立美術館
	小牧源太郎	史迹・美術資料ノート 第1～17部	1941-1946(昭和16-21)年		伊丹市立美術館
	小牧源太郎	スクラップブック	1937-1947(昭和12-22)年		伊丹市立美術館
	能勢克男	スクラップブック	1933-1934(昭和8-9)年 1937-1938(昭和12-13)年		同志社大学人文科学研究所
	須田国太郎	原稿(朝日新聞社京都支局宛て)	1943(昭和18)年		個人
	東北生活美術研究会	第1回東北生活美術研究会展(案内はがき)	1943(昭和18)年		個人
	東北生活美術研究会	第1回東北生活美術研究会展目録	1943(昭和18)年		個人
	福沢一郎	秩父山塊	1944(昭和19)年		個人

関連映像

	能勢克男	京都 1935.	1935(昭和10)年	発行：六花出版(DVD)	
	能勢克男	「土曜日」が一周年を迎えた。	1937(昭和12)年	発行：六花出版(DVD)	

5) ぶんぱく京都講座

①「戦後京都の『色』はアメリカにあった！」

日 時：2021年9月4日(土) 13時半～15時

講 師：植田憲司、橋本 章

※オンラインで実施

② 池大雅美術館コレクションのあゆみ

日 時：2021年10月31日(日) 13時半～15時

講 師：有賀 茜

参加人数：9名

概 要：現在京都府が所蔵する池大雅美術館コレクションは、もともと佐々木米行氏が収集し、初代館長をつとめた池大雅美術館の所蔵作品

であった。

これらが2代目館長の佐々木もと子氏より京都府に寄贈され、現在も多くの研究者に注目される場所である。本講座ではコレクション形成の過程と内容の特徴について、ギャラリートークを交えつつ紹介した。

③ 太田喜二郎をめぐる近代文化人ネットワーク

日 時：2021年12月5日(日) 13時半～15時

講 師：植田彩芳子・村野正景

参加人数：12名

概 要：太田喜二郎はその生涯に豊かな交友関係を育んだ。その表れともいえるのが、署名貼付帖だ。太田は、知人・友人らから手紙を受け取ると、その封筒に記されていた差出人の署名

部分を切り抜き、ひとつひとつ貼り付けた。

その数、のべ153名におよぶ。本講座では、この署名貼付帖を丁寧に読み解き、美術家や考古学者、建築家、作家、政治家などとの交友のあり様、すなわち太田喜二郎周辺の近代文化人のネットワークを紹介した。

Ⅲ - 2 特別展示

①「よみがえる承久の乱－後鳥羽上皇VS鎌倉北条氏－」

会 期：2021年4月6日(火)～5月23日(日)

〔43日／48日〕

前期展示：4月6日(火)～4月25日(日)

後期展示：4月27日(火)～5月23日(日)

※緊急事態宣言発出のため

4月6日(火)～4月24日(土)

開室時間：10時～18時まで

*金曜日は19時半まで(入室は30分前まで)

休館日：月曜日

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1,500円(1,300円)／大高生1,100円

(900円)／中小生500円(300円)

* ()内は前売券、および20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、読売新聞社、NHK
京都放送局

協 力：海士町、後鳥羽院顕彰事業実行委員会

後 援：公益社団法人京都府観光連盟、公益社団法人
京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

担当者：長村祥知、有賀 茜

入場者：6,063人(1日平均357人)

【概 要】

12世紀における院政の展開、1180年代の内乱、そして東国での鎌倉幕府の樹立を経て、13世紀初頭には後鳥羽上皇が列島を統べる体制が成立した。後鳥羽上皇は、勅撰集『新古今和歌集』に結実する和歌をはじめとして、多芸多能の帝王であった。

しかし承久3年(1221)、前代未聞の事件「承久の乱」が起こった。後鳥羽上皇が北条氏率いる鎌倉御家人に合戦で敗れ、隠岐に流されたのである。

この承久の乱を機に、鎌倉幕府の優位のもとで公家と武家が並存する時代となったが、やがてその体制にも終止符が打たれ、南北朝の内乱が展開することとなる。

本展覧会では、近年進展著しい当該期の最新の研究成果を踏まえて、皇族・貴族・武士・僧侶など、この時代の人々の息吹を伝える古文書・肖像画・刀剣・仏画や、この時代を描いた絵画類から、日本史上の重要事件に迫った。

特に注目すべきこととして、約80年ぶりに再発見された、承久の乱の経緯を描く現存唯一の絵巻「承久記絵

巻」を、全巻公開した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

序 院政の成立と武士

・保元・平治合戦図屏風 仁和寺

・国宝 覚禅抄 大威徳法 称名寺(神奈川県立金沢文庫管理)

1 多能の帝王、後鳥羽院

・後鳥羽天皇像 勝林院

・国宝 熊野懐紙「深山紅葉・海辺冬月」後鳥羽天皇宸翰 陽明文庫

2 朝廷と貴族社会

・重要文化財 明月記 建久十年春巻 京都国立博物館

・大臣御影 下巻 陽明文庫

3 鎌倉幕府と北条氏

・神奈川県指定重要文化財 源頼朝袖判下文 神奈川県立歴史博物館

・神奈川県指定重要文化財 戌神像(旧辻薬師堂十二神将のうち) 鎌倉国宝館

4 承久の乱

・承久記絵巻 巻第三 個人蔵

・承久記絵巻 巻第四 個人蔵

・承久記絵巻 巻第五 個人蔵

5 乱後の隠岐・京・鎌倉

・重要文化財 無常講式 仁和寺

・阿弥陀三尊像 峯定寺

結 承久の記憶



「よみがえる承久の乱
－後鳥羽上皇VS鎌倉北条氏－」ちらし

- ・山内家文書 甲二巻 個人蔵（山口県文書館）
- ・七言絶句 承久殉難懐古之詠 京都府（京都文化博物館管理）

【出品作品数】

124点

【関連行事】

①講演会「後鳥羽天皇と御番鍛冶」

日 時：2021年4月17日（土）10時半～12時
 講 師：末兼俊彦氏（京都国立博物館 主任研究員）
 参加費：無料（ただし本展覧会入場券が必要）

参加者：63名

②夜間特別鑑賞会

日 時：2021年4月17日（土）17時半～20時
 講 師：長村祥知（当館学芸員）
 参加費：2,000円（本展覧会入場券を含む）
 参加者：89名

③講演会「『承久記絵巻』を読む」

日 時：2021年4月24日（土）10時半～12時
 講 師：長村祥知（当館学芸員）
 参加費：無料（ただし本展覧会入場券が必要）
 参加者：64名

②「京都文化プロジェクト 誓願寺門前図屏風 修理完了記念 花ひらく町衆文化 —近世京都のすがた—

会 期：2021年6月5日（土）～7月25日（日）
 [44日／51日]

開室時間：10時～18時まで

*金曜日は19時半まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館）

会 場：4階展示室

入場料：一般・大高生 1000円（800円）、中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館

担当者：西山 剛、村野正景、有賀 茜

入場者：4,808人（1日平均109人）

【概 要】

京都文化博物館が所蔵する岩佐又兵衛筆「誓願寺門前図屏風」は又兵衛が描いた国宝「洛中洛外図屏風」と共に都市風俗画の重要作例として認識されている。当館では、2015年から当該作品の解体修理を行い、2020年度末に無事に完成を迎えた。

本展はこの機会をとらえ、新たに修理が加えられた「誓願寺門前図屏風」とその関連資料を展示し、当該作品の新たな魅力に迫るものであった。

またあわせて、この屏風が描かれた江戸時代の京都に焦点をあて、近世都市京都がいかに表象され、また都市に息づく人々はどのように文化を紡いできたのか、絵画、考古、古文書など豊富な資料で展観した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

プロローグ 近世都市・京都のかたち

山城国絵図屏風（京都府蔵 [京都文化博物館管理]）

第1章 表象された近世都市

洛外名所図屏風 北川本（個人）

誓願寺門前図屏風（京都文化博物館蔵）

第2章 都市での生活

加藤清正書状（京都府蔵 [京都文化博物館管理]）

鴨川納涼図屏風（京都府蔵 [京都文化博物館管理]）

宗門人別改帳（三条御倉町文書・個人）

小堀遠州書状

（後藤勘兵衛家文書・京都府蔵 [京都文化博物館管理]）

後藤正三郎邸跡（現在・新風館）京都市考古資料館蔵

第3章 被災と復興

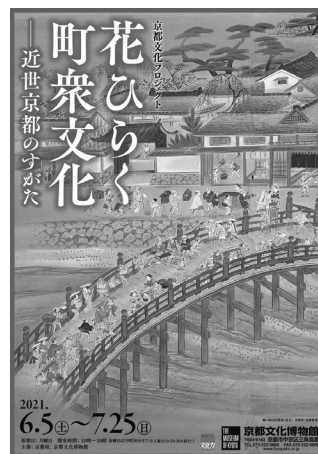
蛤御門の変の焼瓦 曇華院跡出土（京都文化博物館蔵）

蛤御門の変で罹災した磁器 下京区小田原町・東鋸

屋町出土

（京都文化博物館蔵）

エピローグ 明治への道



「京都文化プロジェクト 誓願寺門前図屏風 修理完了記念 花ひらく町衆文化 —近世京都のすがた—」ちらし

【出品作品数】

40点

【関連行事】

①シンポジウム「誓願寺門前図屏風の新たな魅力—修理から何が見えてきたか」

日 時：2021年7月17日（土）10時半～12時

講 師：岡岩太郎氏（株式会社岡墨光堂 代表取締役）

「誓願寺門前図屏風を修理して」

講 師：筒井忠仁氏（京都大学文学部 准教授）

「みえてきた誓願寺門前図屏風の風景」

参加費：無料（ただし、本展覧会入場券が必要）

参加者：56名

②京・笑いの会協賛 落語会「笑いと町衆文化」

日 時：2021年7月11日（日）、7月17日（土）、7月18日（日）各日14時～

出演者：笑福亭円笑、桂 三風、桂 春若、桂 小文枝ほか

参加費：1,500円

参加者：105名、74名、133名

③「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」

会 期：2021年8月7日（土）～9月26日（日）

〔44日／51日〕

開室時間：10時～18時まで

*金曜日は19時半まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館）

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1400円（1200円） 大高生1100円

（900円） 中小生500円（300円）

*〇内は前売券／20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞、

BSフジ、ライブエグザム

特別協力：京料理 濱登久

協 力：日南町美術館

オフィシャルロジスティクスパートナー：

TERRADA ART ASSITS 株式会社

後 援：（公社）京都府観光連盟、（公社）京都市観光

協会、KBS京都、エフエム京都

担当者：植田彩芳子

入場者：10,075人（1日平均229人）

また、秋聲は旅を多くした画家でもあった。青年期よりしばしば中国に渡り、1920（大正9）年からは西洋美術を学ぶため欧州を巡る。また、1926年には北米を訪問し、日本美術の紹介に尽力した。1931（昭和6）年の満州事変勃発以降は従軍画家としてたびたび戦地に派遣され、戦争画を多く描くようになる。そのうちの一枚《國之楯》は、軍に受け取りを拒否され、長く作家の手許に保管されていたが、戦後、秋聲自身の手で改作され、現在は代表作として知られている。

本展は、秋聲の初期から晩年にいたる作品約110点、および資料から、その画業の全貌を紹介する初めての大規模な回顧展となった。個人コレクションを中心に、新たに発見された戦争画など初公開の作品を多数含め、秋聲の清新で叙情的な画業を幅広く紹介した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

1. はじまり—京都での修業時代

小早川秋聲《山中鹿之助三日月を拝する之図》

明治35年頃 日野町（鳥取県）

【概 要】

小早川秋聲（1885年～1974年）は、大正期から昭和期にかけて京都を中心に活躍した日本画家である。

鳥取県日野町にある光徳寺の長男として生まれた秋聲は、母親の里である神戸の九鬼子爵邸内で育ち、九歳のときに東本願寺の衆徒として僧籍に入った。その後、京都の日本画家・谷口香嶠に入門し、1909（明治42）年には京都市立絵画専門学校（現在の京都市立芸術大学）に入学したが、まもなく退学して中国へ渡り、東洋美術を研究した。香嶠没後は、京都画壇の巨匠・山元春挙に師事し、画技を磨いた秋聲は、文展、帝展などを中心に入選を重ねて名をあげた。



「小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌」ちらし

小早川秋聲《楠公父子》明治末期～大正初期
個人蔵

2. 旅する画家—異文化との出会い

小早川秋聲《絲綢之路屏風》大正期 鳥取県立博物館

小早川秋聲《未来》大正15年 個人蔵

小早川秋聲《愷陣》昭和5年 個人蔵

3. 従軍画家として—《國之楯》へと至る道

小早川秋聲《護国》昭和9年 個人蔵

小早川秋聲《战友》昭和10年代 個人蔵

小早川秋聲《虫の音》昭和13年 個人蔵

小早川秋聲《國之楯》昭和19年 京都霊山護国神社（日南町美術館寄託）

4. 戦後を生きる—静寂の日々

小早川秋聲《慈光普護》昭和29年 個人蔵

小早川秋聲《天下和順》昭和31年 鳥取県立博物館

【出品作品数】

112点、資料10件

【関連行事】

・講演会「《國之楯》へと至る道 小早川秋聲の画業」

日 時：8月28日（土）10時半～12時

講 師：植田彩芳子（京都文化博物館学芸員）

オンラインでの開催

参加者：37名

参加費：無料（事前申込者に限る）

・漫画冊子「小早川秋聲」（河野沙也子作、4頁）を会場にて無料配布

④「創業200周年記念フィンレイソン展—フィンランドの暮らしに愛され続けたテキスタイル—」

会 期：2021年10月9日（土）～

2022年1月10日（月・祝）〔75日／94日〕

開室時間：10時～18時

*金曜日は19時半まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館）

年末年始

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般／1500円（1300円）大高生／1100円（900円）中小生／500円（300円）

主 催：京都府、京都文化博物館、MBSテレビ

後 援：フィンランド大使館、（公社）京都府観光連盟、（公社）京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

特別協力：フィンレイソン社

協 力：タンペレ歴史博物館・フォルツサ博物館、ア
ンドフィーカ、フェリシモ

企画制作：東映

担当者：畑 智子

入場者：33,731人（1日平均450人）

【概 要】

フィンレイソンとは、北歐フィンランドにおいて1820年に創業したテキスタイルの会社であり、この社名をブランドとして寝装具や、室内を彩る多彩なテキスタイルを製作し、フィンランドの家庭に愛用されてきた。2020年に創業200年を迎えたのを記念し、その

歴史を振り返る展覧会。

フィンレイソン社は1820年、ロシア統治下のフィンランドで英国スコットランド出身のジェームス・フィンレイソンが、フィンランド第二の都市タンペレで紡績工場を設立したのが始まり。綿・ウール糸の紡績と織物製造で大工場を作ったが、工場エリア内には学校、病院、図書館、教会をつくるなど巨大なコミュニティを形成。1860年にはフィンランド初の女性雇用の場を作り社会的にも大きく貢献する。その後1950年代から工場内にスタジオをつくり自社のデザイナーによるオリジナルのテキスタイルを生み出していった。

展示室では時代ごとに変遷するデザインを展望するとともに現在まで人気の各デザイナーのデザイン原画



「フィンレイソン展」ちらし

とテキスタイルをあわせ、日本人になじみの深いムーミンの初期デザインも展示。小国ながら先進的な社会福祉国家における豊かな生活スタイルを感じる機会を提供した。

【展覧会の構成】

第1部 地域社会を支えたタンペレ紡績工場

第2部 フォルツァデザインアトリエの設立とデザイナーたちの活躍

【出品作品数】

約250点

【関連行事】

①講演会「フィンランドのシンプルな暮らしとテキスタイルデザイン」

日時：2021年10月16日（土）10時半～12時

講師：今泉 幸子（アンドフィーカ代表取締役）

会場：京都文化博物館の予定だったがオンライン講演に変更

料金：無料（申し込み必要）

参加者：323人

②音楽会「フィンランドが生んだ名曲コンサート」

日時：2021年11月3日（水・祝）11時半～、14時～

出演者：ヤンネ館野（バイオリン）、木下真希（バイオリン）、中田美穂（ビオラ）、佐藤響（チェロ）

会場：京都文化博物館別館ホール

料金：無料（ただし本展覧会入場券が必要）

参加者：144人

③クリスマスリース・ワークショップ

—北欧イメージのリースをつくる

日時：2021年11月28日（日）11時～、14時～

講師：suuka 秋田和美

参加費：3800円（材料費、本展入場券含む）

参加者：40人

④特別上映会「かもめ食堂」

日時：2021年12月11日（土）13時半～、17時～

場所：京都文化博物館3階フィルムシアター

参加費：2000円（本展入場券含む）

参加者：155人

⑤折り紙ワークショップ

日時：2021年10月10日（日）、23日（土）10時半～

場所：京都文化博物館3階やすらぎコーナー

参加費：無料（ただし当日の入場者に限る）

参加者：200人

⑤「Kyoto Art for Tomorrow 2022 —京都府新鋭選抜展—」

会期：2022年1月22日（土）～2月6日（日）

〔14日／16日〕

開室時間：10時～18時まで

*金曜日は19時半まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日

会場：3階展示室

入場料：一般500円（400円）／大高生400円（320円）

高校生以下無料

*（ ）内は20名以上の団体料金

主催：京都府、京都文化博物館

後援：京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都日本画家協会、京都工芸美術作家協会、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

担当者：有賀 茜

入場者：17,448人（1日平均1,246人）

【概要】

本展は、京都を中心に活動する新進若手作家を紹介し、その創造的な作品を京都から積極的に発信しようとする企画である。また別館ホールでは京都で学び、国際的に活躍する美術家、人長果月氏による特別出品「planktos」を紹介した。

【出品作家】

石田 翔太、石橋 志郎、井上 舞、江川 恵、大槻 拓矢、岡本 秀、片山 達貴、勝木 有香、川瀬 理央、貴志 在介、熊野 陽平、黒川 岳、高 資婷、幸山 ひかり、阪本 結、嶋 春香、白井 聡子、須崎 喜也、千本 木 晴、大東 真也、高畑 紗依、武田 めぐみ、谷川 美音、谷平 博、天牛 美矢子、富永 明日香、中平 美紗子、新平 誠洙、西村 有未、野口 結貴、長谷川 由貴、檜皮 一彦、藤井 俊治、札本 彩子、本田 莉子、松谷 博子、松本 さやか、松本 央、水谷 昌人、森山 佐紀、山岡 明日香、山下 茜里（五十音順、敬称略）

【特別出品作家】

人長果月

- 2015年 琳派400年記念新鋭選抜展～琳派の伝統から、RIMPAの創造へ～最優秀賞受賞
- 2015年 京都市芸術新人賞受賞
- 2015年 神戸ビエンナーレ2015入賞作家招待作品展（神戸/東遊園地）
- 2016年 消滅の夢展（メキシコ/ベラクルス州立大学美術造形研究所ギャラリーフェルナンド）
- 2017年 再生の庭（上海/藝倉美術館）
- 2018年 Art Meets Winter（京都/京都新聞社ビル、タイム堂）
- 2020年 KYOTO STEAM－世界文化交流祭－アート×サイエンス IN 京都市動物園 アートで感じる？チンパンジーの気持ち（京都市動物園）
- 2022年 京都府文化賞奨励賞受賞

【出品作品数】

42点、特別出品作1点



「Kyoto Art for Tomorrow 2022
—京都府新鋭選抜展—」
ちらし

【関連行事】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、特別出品作家および出品作家によるギャラリートークは行わず、授賞式・プレス向け内覧会のみ実施した。また特別出品作家による対談をオンラインで公開した。

授賞式、プレス内覧会

日 時：2022年1月21日（金） 17時～

場 所：本館3階展示室内

⑥「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」

会 期：2022年2月26日（土）～4月10日（日）
〔38日／44日〕

開室時間：10時～18時まで

*金曜日は19時半まで（入室は30分前まで）

休館日：月曜日（ただし祝日は開館、翌日休館）

会 場：4階・3階展示室

入場料：一般1400円（1200円）大高生1100円（900円）中小生500円（300円）

（ ）内は前売・20名以上の団体料金

主 催：京都府、京都文化博物館、関西テレビ放送

協 賛：野崎印刷紙業

企画協力：名古屋市博物館

後 援：（公社）京都府観光連盟、（公社）京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都

担当者：有賀 茜

入場者：26,155名（1日平均688名）

【概 要】

旺盛な好奇心と柔軟な発想、豊かな表現力を武器として浮世絵のさらなる活性化につなげた歌川国芳

（1797～1861）。本展では国芳の武者絵を中心としながら、月岡芳年（1839～1892）ら弟子たちの作品にもスポットを当てた。そして幕末から明治にかけて、国芳の個性がどのように継承、変化していったのかを、尾崎久弥（1890～1972）、高木繁（1881～1946）のコレクションなど名古屋市博物館が所蔵する浮世絵によってたどる展示であった。人々の嗜好に合わせ最後まで新しい画題と表現に挑み続けた、国芳を領袖とする「芳ファミリー」の活躍について総数150点の作品から紹介した。展示作品には、芳年が兄弟子の落合芳幾（1833～1904）と手がけた《英名二十八衆句》など残虐な描写のものが含まれていたが、エスケープルートの確保など新たな展示方法に挑むこともできた。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第1章 ヒーローに挑む

- ・歌川国芳 大江山酒呑童子 名古屋市博物館蔵
高木繁コレクション
- ・歌川国芳 兎雷也と大蝦蟇 名古屋市博物館蔵
高木繁コレクション

- ・歌川国芳 宇治川合戦之図 名古屋市博物館蔵
高木繁コレクション

第2章 怪奇に挑む

- ・歌川国芳 相馬の古内裏 名古屋市博物館蔵
高木繁コレクション
- ・月岡芳年 英名二十八衆句 勝間源五兵衛 名古屋市博物館蔵
尾崎久弥コレクション
- ・落合芳幾 英名二十八衆句 げいしや美代吉 名古屋市博物館蔵
尾崎久弥コレクション

第3章 人物に挑む

- ・歌川国芳 文月の七夕 名古屋市博物館蔵
尾崎久弥コレクション
- ・月岡芳年 古今比女鑑 秋色 名古屋市博物館蔵
尾崎久弥コレクション
- ・歌川芳員 稲本屋内小稲 名古屋市博物館蔵
尾崎久弥コレクション

第4章 話題に挑む

- ・歌川国芳 浅草奥山生人形 名古屋市博物館蔵
尾崎久弥コレクション
- ・月岡芳年 月百姿 狐家月 名古屋市博物館蔵
尾崎久弥コレクション

終章「芳」ファミリー

- ・歌川芳艶 太平記焼山越之図 名古屋市博物館蔵
尾崎久弥コレクション
- ・歌川芳藤 端午の節句 名古屋市博物館蔵
尾崎久弥コレクション



「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」ちらし

【出品作品数】

150点

【関連行事】

①講演会「国芳と芳年の『怪』と『快』」

日 時：2022年3月5日（土）10時半～12時
講 師：神谷 浩氏（徳川美術館副館長兼学芸部長）
参加費：無料（ただし本展覧会入場券が必要）
参加者：68名

②ナイトミュージアム「布の集い」

日 時：2022年3月19日（土）18時～20時、3月22日（火）
13時～15時
講 師：有賀 茜（当館学芸員）
参加費：2,500円（本展入場券含む）
参加者：86名、96名

2021（令和3）年度特別展一覧

展覧会名	会 期	日数	入場者数	一日平均	形 態
よみがえる承久の乱 後鳥羽上皇VS鎌倉北条氏	2021年4月6日～5月23日 新型コロナウイルス感染症拡大のため4月25日から閉室	17/43日間	6,063	357	共催
京都文化プロジェクト 誓願寺門前図屏風修理完了記念 花ひらく町衆文化ー近世京都のすがた	2021年6月5日～7月25日	44	4,808	109	自主
小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌	2021年8月7日～9月26日	44	10,075	229	共催
フィンレイソン展 フィンランドの暮らしに愛され続けたテキスタイル	2021年10月9日～2022年1月10日	75	33,731	450	共催
Kyoto Art for Tomorrow 2022ー京都府新鋭選抜展ー	2022年1月22日～2月6日	14	17,448	1,246	委託
挑む浮世絵 国芳から芳年へ	2022年2月26日～4月10日	38	26,155	688	共催
計6件					

Ⅲ-3 映画

1) 常設上映

上映期間	テーマ	作品名	日数	回数	鑑賞者
2021.4.1~4.24	軽い喜劇、重い喜劇—コメディ映画の地平	汗／落第はしたけれど／人生のお荷物／気まぐれ冠者／花咲く港／自由学校[松竹版]／自由学校[大映版]／二等兵物語／競輪上人行状記／裸の大将／にあんちゃん	21	42	1,440
2021.6.1~6.16	【没後30年】今井正監督特集	キクとイサム／あれが港の灯だ／夜の鼓／にっぽんのお婆あちゃん／武士道残酷物語／越後つついし親不知／仇討	14	28	930
2021.6.17~7.4	EUフィルムデーズ2021 映画で旅するヨーロッパ	ことの成り行き／ナボリの隣人／ブニュエルと亀甲のラビリンス／パトリック／システム・クラッシャー 家に帰りたい／思春期 彼女たちの選択／ファイト・ガール／フェアプレー／ユニコーンを追え／ウィンター・ブラザーズ／ザ・ライフルマン／ゴリアテ／完全監視／ラスト・ディール 美術商と名前を失くした肖像／フロズン・アンプロシア／ヘラの天使／Cold War ある歌、2つの心／マロナの幻想的な物語り／ウルフウォーカー／コミックサンズ Comic Sans／スマグリング・ヘンドリクス／境界線／彼女たちの物語／ポルトガルの女／オーストリアからオーストラリアへ ふたりの自転車大冒険／もう一つのドリームチーム	16	33	1,700
2021.7.6~8.6	【没後30年】今井正監督特集 2	青い山脈／続・青い山脈／また逢う日まで／沼津兵学校／どこい生きてる／山びこ学校／ひめゆりの塔／にぎりえ／ここに泉あり／真昼の暗黒／米／純愛物語	24	48	1,635
2021.7.10	さまよえる絵筆展 関連映画上映	疏水 流れに沿って／煙突屋ペロー	1	2	73
2021.7.16,17,24	祇園祭記念特別上映	祇園祭	3	6	236
2021.8.7~8.19	映画にのこる日本の精神風土	一人息子／土／王将／東京物語／大阪の宿／夫婦善哉	11	22	719
2021.10.1~10.17	【東映創立70年記念】 東映京都撮影所初期作品特集	湖の琴／緋牡丹博徒 お竜参上／柳生一族の陰謀／笛吹童子 [三部作 第一部どくろの旗 第二部妖術の闘争 第三部満月城の凱歌]／暴れん坊街道／鳳城の花嫁／新吾十番勝負／関の弥太っぺ	13	26	881
2021.10.9~10.10	「輝く京都の四季」展記念上映 京都の染織工芸のわざ	京くみひも／金銀糸／繻と金彩／京鹿の子絞	2	4	29
2021.10.19~10.31	映画にのこる日本の精神風土 2	夫婦善哉／警察日記／裸の島／キューポラのある街／古都／けんかえれじい	12	24	735
2021.11.2~11.30	【東映創立70年記念】 東映京都撮影所初期作品特集 2	ひばり捕物帖 かんざし小判／一心太助 天下の一大事／風と女と旅鴉／宮本武蔵／宮本武蔵 般若坂の決斗／宮本武蔵 二刀流開眼／宮本武蔵 一乗寺の決斗／宮本武蔵 巖流島の決斗／妖刀物語 花の吉原百人斬り／大江戸の侠児／反逆児／家光と彦左と一心太助／源氏九郎颯爽記 秘剣揚羽の蝶／この首一万石	22	43	1,705
2021.11.14	京都大学人文科学研究所「近代京都と文化」 上映会	太夫さんより 女体は哀しく	1	2	169
2021.11.20	日本映画テレビ技術協会京都支部第5回 名作上映会&トークイベント	たそがれ清兵衛	1	1	115
2021.11.27~11.28	京都建築映像祭2021	軽蔑／Tokyo Ride／ミス・オン・シーン／中立性のフィールド／ヴァンダの部屋	2	4	93
2021.12.1~12.3	京まちなか映画祭 in 京都文化博物館	悪名／たそがれ酒場／しいのみ学園／893愚連隊／夢みるように眠りたい／我が人生最悪の時／二十世紀少年読本上映と作品推薦者、監督のトーク	3	7	275
2021.12.4~12.5	文化庁障害者による文化芸術活動推進事業 CONNECTアアニメ映画と一緒に楽しもう —ユニバーサル上映	どんぐりの家／聲の形	2	4	78
2021.12.7~12.26	ピュアな愛のかたち—純愛映画	御誂治郎吉格子／伊豆の踊子／お嬢さん乾杯／カルメン純情す／野菊の如き君なりき／五番町夕霧楼／忍ぶ川／素晴らしき日曜日／隣の八重ちゃん	17	34	1,212
2021.12.11	フィンレイソン展特別上映会「かもめ食堂」	かもめ食堂	1	2	162
2022.1.4~1.21	勅使河原宏監督特集	おとし穴／砂の女／他人の顔／流血の記録 砂川	8	16	397

2022.1.8~1.16	第43回 ぴあフィルムフェスティバル in 京都	36のシーン／ダイ・トゥモロー／裸足で鳴らしてみせろ／マリー・イズ・ハッピー／あの店長／フリーランス／ママ・アフリカ ミリアム・マケバ／ROUTINE／五里霧中／グッバイ！／Journey to the 母性の目覚め／県民投票／壁当て／ハッピー・オールド・フィルムズ1／ハッピー・オールド・フィルムズ2／BNK48：Girls Don't Cry／豚とふたりのコインランドリー／巨人の惑星／Parallax／猫と塩、または砂糖／サイクルレース／愛ちゃん物語♡／ライブイン茅ヶ崎／の・ようなもの／（ハル）／帰路／距ててて／苺のジャムとマーガリン／転回／夜の帳につつまれて／みなみとあした／ばちらぬん	8	21	685
2022.1.22~1.30	第13回 京都ヒストリカ国際映画祭	柳／オシュラガ 魂の地／すべての月の夜／水虎／女帝 春日局／インフェルノ／放蕩息子／華の乱／蒲田行進曲／戦場のエルナ／女渡世人 おたの申します／鬼龍院花子の生涯／小さな聖女／ひばり・チエミのおしどり千両傘／祇園祭／お染久松 そよ風日傘／おしどり鴛鴦／冷飯とおさんとちゃん／AGANAI 地下鉄サリン事件と私／Delicieux／るろうに剣心／るろうに剣心 京都大火編／るろうに剣心 伝説の最期編／るろうに剣心 最終章 The Final／るろうに剣心 最終章 The Beginning	8	25	1,199
2022.2.1~2.27	社会派サスペンス映画劇場	ペン偽らず 暴力の街／叛乱／黒い潮／真昼の暗黒／張込み／黒い画集 あるサラリーマンの証言／白と黒／誇り高き挑戦／帝銀事件 死刑囚／証人の椅子	19	37	1,246
2022.2.11~2.13	第24回 京都国際学生映画祭	Final Deathtination／難者／Migrants／Intermezzo／スケルツォ／The Balloon Catcher／魚の目／愛ちゃん物語♡／海底悲歌／La Source des Montagnes／FRONTIER／Sounds between the Crowns／ドーナツ・ホール／蘇哥搞戀錯／およげるネコ／One Elevator Apart／COLZA／獐猛／1+1=11／大童貞の大冒険／GOGOまりこ／マリコ三十騎／うつくしいひと、サバ？上映とインタビュー、アフタートーク	3	11	243
2022.2.16	文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト 2021年度合評上映会	少年と戦車／遠くへいきたいわ／LONG-TERM COFFEE BREAK／なつちゃんの家族上映とインタビュー	1	1	43
2022.2.19	京都デジタルリマスター人材育成事業 上映会	折鶴お千／京都府の茶業／続・京都府の茶業	1	2	50
2022.2.26	京都府×ケベック州(カナダ)友好提携5周年記念ケベック上映会	やすらぎの森／さよなら、退屈なレオニー	1	2	168
2022.3.1~3.31	銀幕に舞い踊る一映画に見る舞踊	狂った一頁／祇園小唄 絵日傘 舞ひの袖／祇園小唄 絵日傘 狸大尽／安城家の舞踏会／わが生涯のかゞやける日／カルメン故郷に帰る・モノクロ版／カルメン故郷に帰る／獅子の座／明治一代女／美女と怪竜／狂った果実／ひばり捕物帖 かんざし小判／初春狸御殿／中村鴈治郎 舞台のおもかげ／京舞・四世井上八千代／たそがれ酒場	27	54	1,683

4月：定員78名、1日2回上映。時短要請に伴い4月13日(火)より平日の夜の部の上映は17時から上映。緊急事態措置による休業要請の解除以降、段階的に以前の上映形態に戻していたが、3度目の緊急事態宣言の発出(京都府、4月23日)により4月25日(日)より臨時休館。【休業要請期間：4月25日～5月31日】

6月：宣言解除を受けて6月1日(火)より上映再開。定員78名、1日2回上映(20日のみ3回)。時短要請に伴ない平日の夜の部の上映は17時から上映。EUフィルムフェスティバル期間中の1日の上映回数は日によって異なる。

7月、8月：定員78名、1日2回上映(時短要請に伴ない平日の夜の部の上映は17時から上映)。4度目の緊急事態宣言の発出(京都府、8月17日)を受けて、8月20日(金)より休映。【休業要請期間：8月20日～9月30日】

10月：宣言解除を受けて10月1日(金)より上映再開。定員は78名、1日2回上映。10月21日の時短要請解除を受けて11月2日より平日夜の部の上映開始時刻を18時半に戻す。

11月以降、定員156名、1日2回上映、立見、途中入場可とする。ぴあフィルムフェスティバル、京都ヒストリカ国際映画祭、京都国際学生映画祭期間中の1日の上映回数は日によって異なる。

2) 特別企画・共催事業

① 2021年度外部共催上映等の実績

◆EUフィルムフェスティバル2021 映画で旅するヨーロッパ

期間：2021年6月17日～7月4日

共催：欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関

会場：本館3階フィルムシアター

内容：EU 代表部が加盟各国から集めた映画作品、『ことこの成り行き』『ナポリの隣人』『ブニュエルと亀甲のラビリンス』『パトリック』等28作品の上映と、ネヴィオ・マラソヴィッチ監督(クロアチア)、アンドレアス・ブチウマン監督とドミニク・ボヒス監

督(オーストリア)、クラウス・ハロ監督(フィンランド)、リタ・アゼヴェード・ゴメス監督(ポルトガル)のビデオメッセージと、ゲディミナス・バルブオリス大使(リトアニア駐日大使)によるビデオ解説また、マリアーン・トマーシク閣下(スロヴァキア共和国大使)のシアターでの挨拶を行った。

鑑賞者数：1,700人(106人／1日)

◆京都大学人文科学研究所「近代京都と文化」上映会

期間：2021年11月14日

共催：京都大学人文科学研究所「近代京都と文化」研究班

会場：本館3階フィルムシアター

内容：『太夫さんより 女体は哀しく』(1957年宝塚映画／稲垣浩監督)の上映と木下千花(京都大学教授)によるトーク。

鑑賞者数：169人(169人／1日)

◆日本映画テレビ技術協会京都支部第5回名作上映会 & トークイベント

期間：2021年11月20日

共催：日本映画テレビ技術協会京都支部

会場：本館3階フィルムシアター

内容：『たそがれ清兵衛』(2002年松竹／山田洋次監督)の上映と長沼六男(撮影監督)、大角正(株式会社松竹撮影所代表取締役会長)のトーク。

鑑賞者数：115人(115人／1日)

◆京都建築映像祭2021

期間：2021年11月27日～28日

共催：京都建築映像祭 2021 実行委員会(Echelle-1他)

協力：京都市京セラ美術館、アンスティチュ・フランセ日本

後援：日本建築設計学会

会場：本館3階フィルムシアター

内容：『軽蔑』『Tokyo Ride』『ミース・オン・シーン』『中立性のフィールド』『ヴァンダの部屋』上映とウスビ・サコ(京都精華大学学長)がモデレートでベカ&ルモワンヌ(映像作家)と西沢立衛(建築家)をゲストに迎えたオンライントークや、渋谷哲也(ドイツ映画研究／日本大学文理学部教授)のレクチャーを開催。

鑑賞者数：93人(47人／1日)

◆京まちなか映画祭 in 京都文化博物館

期間：2021年12月1日～3日

共催：京まちなか映画祭実行委員会

会場：本館3階フィルムシアター

内容：『悪名』『たそがれ酒場』『しいのみ学園』『893 愚連隊』『夢みるように眠りたい』『我が人生最悪の時』『二十世紀少年読本』(英字幕付)上映とバンヒロシ氏、林海象監督のアフタートーク。

鑑賞者数：275人(92人／1日)

◆文化庁障害者による文化芸術活動推進事業

CONNECT⇒アニメ映画を一緒に楽しもう ユニバーサル上映

期間：2021年12月4日～5日

主催：文化庁、京都国立近代美術館

共催：京都府、京都市、京都新聞

会場：本館3階フィルムシアター

内容：2020年からはじまったアートを通して多様性や共生社会について考えるプロジェクトで、今年には聴覚障害の子どもを持つ家族の苦闘と希望を描いた『どんぐりの家』(1997年／第1回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門優秀賞)と、『聲の形』(2016年京都アニメーション制作)を聴覚障害者と一緒に鑑賞できるユニバーサル形式(セリフや効果音の日本語字幕付き)で上映。

鑑賞者数：78人(39人／1日)

◆第43回びあフィルムフェスティバル in 京都

期間：2022年1月8日～16日

主催：一般社団法人 PFF(びあフィルムフェスティバル)

会場：本館3階フィルムシアター

内容：『ばちらぬん』『グッバイ』『愛ちゃん♡物語』などのコンペ受賞作と『裸足で鳴らしてみせろ』等スカラシップ作品、『ライブイン茅ヶ崎』などの森田芳光作品、『36のシーン』などのナワポン・タムロンラタナリット監督作、ミカ・カウリスマキ監督『ママ・アフリカ・ミリアム・マケバ』の上映および、三沢和子(プロデューサー)やコンペ作品の監督のアフタートーク。

鑑賞者数：685人(86人／1日)

◆第13回京都ヒストリカ国際映画祭

期間：2022年1月22日～30日

主催：京都ヒストリカ国際映画祭映画祭実行委員会(京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、

株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、
巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニ
ブ、立命館大学)

共催：KYOTO CMEX 実行委員会

会場：本館3階フィルムシアター

内容：『柳』『オシュラガ 魂の地』『すべての月の夜』
『水虎』『女帝 春日局』『インフェルノ』『放蕩息子』『華
の乱』『蒲田行進曲』『戦場のエルナ』『女渡世人 おた
の申します』『鬼龍院花子の生涯』『小さな聖女』『ひば
り・チエミのおしどり千両傘』『祇園祭』『お染久松
そよ風日傘』『おしどり駕籠』『冷飯とおさんとちゃ
ん』『AGANAI 地下鉄サリン事件と私』『Delicieux』
『るろうに剣心』『るろうに剣心 京都大火編』『るろ
うに剣心 伝説の最期編』『るろうに剣心 最終章 The
Final』『るろうに剣心 最終章 The Beginning』の上映
と大友啓史監督、アンドリアナ・ツベトコビッチ氏
らのトーク、『南国太平記』等のオンライン含め開催。
鑑賞者数：1,199人(150人／1日)＋オンライン
2,610人

◆第24回京都国際学生映画祭

期間：2022年2月11日～13日

主催：公益財団法人大学コンソーシアム京都

会場：本館3階フィルムシアター

内容：映画祭ノミネート等23作品の上映と入選監
督のトーク。

鑑賞者数：243人(81人／1日)

◆京都府×ケベック州(カナダ)友好提携5周年記念

ケベック映画会

期間：2022年2月26日

共催：京都府国際課

会場：本館3階フィルムシアター

内容：『やすらぎの森』『さよなら、退屈なレオニー』
の上映と久山友紀(ケベック州政府在日事務所文化
担当官)のアフタートーク。

鑑賞者数：168人(168人／1日)

②映画製作者・研究者・専門家向け育成・普及事業

◆第14回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2021-2022)

期間：2022年1月26日～29日

主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会(京都
府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株
式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖
本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、
立命館大学)

共催：第32回東京国際映画祭実行委員会、イタリア
文化会館 - 大阪、KYOTOCMEX 実行委員会

協力：京都クロスメディア推進戦略拠点

会場：東映京都撮影所、松竹撮影所、当館

内容：世界各国から若手映画作家を招き、東映、松
竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する
合宿形式のワークショップ(公用語：日本語)。今
年はコロナ対策のため、募集は国内在住者に限った。
web公募の結果、61名(アメリカ、スイス、日本、韓
国、フィリピン、スペイン、スイス、インド、イラン、
ロシア、シンガポール、イギリス、カザフスタン、台
湾、メキシコ、ネパール、バングラデシュ、タイ、カ
ナダ)の応募から時代劇製作に16名がマスターズ

セッションの現場参加が10名、オンライン参加が
33名となった。東映、松竹の京都撮影所で安藤清
人(照明監督／東映)、溝口豊(プロデューサー／松
竹)監修の時代劇製作ワークショップを開催。

参加人数：16名

◆京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション

期間：2022年1月29日～31日

主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会(京都
府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株
式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖
本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、
立命館大学)

共催：第32回東京国際映画祭実行委員会、イタリア
文化会館 - 大阪、KYOTOCMEX 実行委員会

協力：京都クロスメディア推進戦略拠点

会場：本館3階フィルムシアター、東映京都撮影所、
松竹撮影所、旧武徳殿

内容：京都フィルムメーカーズラボ参加者、さか
はらあつし監督(オンライン)、荒木啓子氏(PFF
director)、サヴィーネ・ネイロッティ氏(Program

Director of BCC/ オンライン) 東映剣会、結城崇史氏 (VFX Director)、フランソワ・ジラル監督 (オンライン)、大友啓史監督による講演。
鑑賞者数：473人(157人／1日)

と監督のトーク
鑑賞者数：43人(43人／1日)

◆文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト 2021
年度合評上映会

期間：2021年2月16日
共催：特定非営利活動法人映像産業振興機構
会場：本館3階フィルムシアター
内容：『少年と戦車』『遠くへいきたいわ』『LONG-TERM COFFEE BREAK』『なっちゃんの家族』の上映

◆京都デジタルリマスター人材育成事業上映会

期間：2022年2月19日
共催：京都府ものづくり振興課
会場：本館3階フィルムシアター
内容：『折鶴お千』(デジタルリマスター版)『京都府の茶業』『続・京都府の茶業』の上映とイマジカラボによるフィルム復元ブースの展示。
鑑賞者数：50人(50人／1日)

3) 映像ギャラリー常設展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等278

点の資料を随時展示替えしながら公開した。2021年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2021.4.1～4.24	軽い喜劇、重い喜劇—コメディ映画の地平
2021.6.1～6.16	【没後30年】今井正監督特集
2021.6.17～7.4	EUフィルムデーズ2021 映画で旅するヨーロッパ
2021.7.6～8.6	【没後30年】今井正監督特集 2
2021.7.16,17,24	祇園祭記念特別上映 祇園祭
2021.8.7～8.19	映画にのこる日本の精神風土
2021.10.1～10.17	【東映創立70年記念】東映京都撮影所初期作品特集
2021.10.19～10.31	映画にのこる日本の精神風土 2
2021.11.2～11.30	【東映創立70年記念】東映京都撮影所初期作品特集 2
2021.11.27,28	京都建築映像祭2021
2021.12.1～12.3	京まちなか映画祭 in 京都文化博物館
2021.12.7～12.26	ピュアな愛のかたち—純愛映画
2022.1.4～1.21	勅使河原宏監督特集
2022.1.8～1.16	第43回 ぴあフィルムフェスティバル in 京都
2022.1.22～1.30	第13回 京都ヒストリカ国際映画祭
2022.2.1～2.27	社会派サスペンス映画劇場
2022.2.11～2.13	第24回 京都国際学生映画祭
2022.2.26	京都府×ケベック州(カナダ)友好提携5周年記念 ケベック映画会
2021.3.1～3.31	銀幕に舞い踊る—映画に見る舞踊

映画事業担当者：森脇清隆、大矢敦子

Ⅲ - 4 京都市学・歴彩館における展示

① 魔よけとまじない展

会 期：2021年4月17日(土)～6月6日(日)
※緊急事態宣言発出のため
6月6日(日)～7月4日(日)
休館日：第2水曜日、祝日
会 場：京都府立京都学・歴彩館 展示室
入場料：無料
主 催：京都府、京都文化博物館、京都府立京都学・
歴彩館
担当者：橋本 章
入場者：1497人(1日平均36人)

【概要】

病気や災害など、降りかかる災厄から逃れたいという気持ちは、昔から変わらぬ人びとの願いであった。身の回りで良くないことが起こらないように、あるいは何か悪いモノがやってくるようにと、人びとは様々な呪法を編み出し、魔よけやおまじないとしてきた。

京都には、たくさんの魔よけやまじないの作法が伝わってきた。季節の移り変わりや人生のそれぞれの場面において、魔よけやまじないは効果を発揮してきた。今回の展示では、京都府に所蔵されている資料の中から、京都にゆかりのものを中心に、魔よけやまじないに関わる品々を選びすぐって公開した。また京都に今も息づく魔よけやまじないの伝統についても紹介した。

【主な出品資料】

横井金谷「鐘馗大臣」、原在中「白絵松鶴図屏風」、朧衣桶、鍾馗像、八坂神社の蘇民将来、伏見人形「布袋」、藁祭俑(朝鮮半島)、布老虎(中国)ほか
いずれも京都府蔵(京都文化博物館管理)



「魔よけとまじない展」チラシ

【出品作品数】 97点

【関連行事】

学芸員によるギャラリートーク
日時：14時～(30分程度)
場所：1階展示室内
担当：橋本 章
6月24日 参加者数16名
7月2日 参加者数15名

② リアルに甦る！吉川観方と風俗史考証の世界—コレクションの写真を中心に—

会 期：2021年9月14日(火)～11月7日(日)
※緊急事態宣言発出のため
10月2日(土)～11月27日(土)
休館日：第2水曜日、祝日
会 場：京都府立京都学・歴彩館 展示室

入場料：無料
主 催：京都府、京都文化博物館、京都府立京都学・
歴彩館
担当者：洲鎌佐智子
入場者：2,109人(1日平均39人)

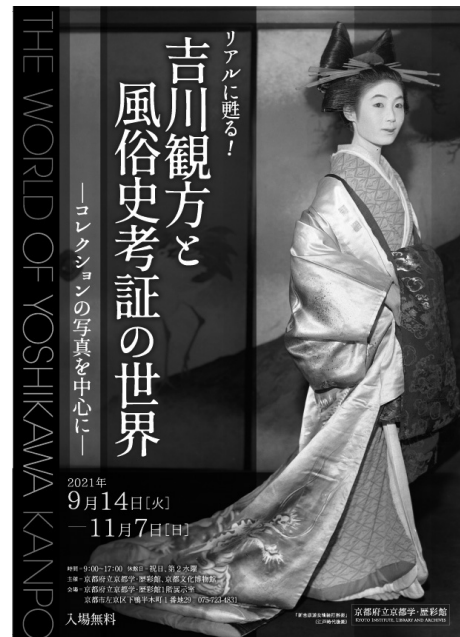
【概要】

京都に生まれ、日本画家、風俗史研究者として知られる吉川観方は、生涯にわたって膨大な風俗史資料を収集し、その成果を故実研究会や著書、展覧会、映画の時代考証、祭礼の考証などを通して発表し、後世に一大コレクションを残した。現在そのコレクションは、主に京都府、奈良県立美術館、福岡市博物館に分かれて収蔵されている。本展では、およそ16,000点が収められている京都府所蔵の観方コレクションの中から、ガラス乾板写真（実展示は紙焼を使用）を中心に、関連する現物資料を交えながら、吉川観方が追い求めたリアルに甦る風俗史考証の世界を紹介する。

【主な出品作品】

吉川観方画「円山の夜桜」（1925）、故実研究会例会案内（昭和6、10～14年度）故実研究会出席名簿（1936年6月10日～1938年6月10日）、風俗参考資料館設立趣意書（1925）、吉川観方蒐集名作風俗画絵葉書（第1輯～第5輯）、「七夕祭上方町家秋晴装」江戸時代後期、「島原若年遊女晴姿」嘉永・安政時代、「新吉原遊女晴装打掛姿」、祇園井特画「島原太夫図」江戸時代後期、江戸太夫髷、島原太夫髷（結髪模型）など

【出品作品数】 約200点



「リアルに甦る！吉川観方と風俗史考証の世界
—コレクションの写真を中心に—」ちらし

【関連行事】

〔1〕学芸員によるギャラリートーク

日時：2021年10月21日(木)、10月28日(木)、
11月18日(木)
14時半～(30分程度)

場所：1階展示室内

担当：洲鎌佐智子

参加者数：21名、18名、6名

Ⅳ 調査研究活動

Ⅳ-1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 橋本章 ・京都の口承伝承文化に関する研究①
村野正景 ・当館所蔵の考古資料にかかる基礎的研究
2
植田憲司 ・タイムベースト・メディア作品の保存と
修復に関する研究2
有賀茜 ・原家伝来資料の調査
畑智子 ・幕末・明治前期の京都における漢学者
サークルー三国幽眠を中心に

【外部研究費・共同研究費等による研究】

- 橋本章 ・京都府立京都学・歴彩館委託研究「伏見
の文化資源―意義の究明と活用方策―に係る調査研
究」
清水智世 ・小牧源太郎を中心とする京都の前衛画家
に関する研究（鹿島美術財団「美術に関する調査研
究助成」）
有賀茜 ・京都市近郊の寺社が有する原在中・在明
作例の研究―原家文書翻刻から判明する公家注文
作品の伝来について（鹿島美術財団「美術に関する調
査研究助成」）

2) 出講・委嘱

- 洲鎌佐智子 ・滋賀県文化財保護審議員
・京都国立近代美術館令和3年度第1回美術作品購入
評価員
・京都国立近代美術館令和3年度第2回美術作品購入
評価員
・京都国立博物館令和3年度総合評価審査員（2回）
・令和3年度京都市美術館美術品等評価会議委員
・滋賀県立陶芸の森陶芸作品収集審査会委員
・第41回京都工芸美術作家協会展審査員
・第21回福知山市佐藤大清賞公募美術展審査
森脇清隆 ・文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援
事業協力者会議委員（主査）
・文化庁アーカイブ中核拠点形成モデル事業検討委員
・京都府デジタルアミューズメントアワード審査委員
・京都ヒストリカ国際映画祭実行委員
・京都市コンテンツ産業振興に向けた有識者懇談会委
員
・京都国際学生映画祭企画検討委員
橋本章 ・京都民俗学会理事／企画委員長
・京都府祭り行事調査事業詳細調査専門調査員
・京都祇園祭の山鉾行事歴史資料調査事業委員
西山剛 ・東京大学史料編纂所 画像史料解析セン
ター 共同研究員

- ・世界人権問題研究センター 登録研究員
・北野天満宮 北野文化研究所 特別研究員
植田彩芳子 ・修士学位論文審査委員（京都工芸繊維
大学工芸科学研究科）
大矢敦子 ・芸術文化振興基金運営委員会映画祭等専
門委員会専門委員
・「文化庁映画週間」企画運営に関する技術提案書選
定委員
・立命館大学衣笠総合研究機構アート・リサーチセン
ター客員協力研究員
植田憲司 ・第68回桑名市民展審査員
・京都現代写真作家展 京都写真ビエンナーレ 実行委
員・審査員
・第24回文化庁メディア芸術祭 ワークショップ講師
・令和4年度文化庁メディア芸術祭地方展企画審査委
員
・きょうと障害者文化芸術推進機構 検討部会構成員
・日本記号学会 理事・編集委員
有賀茜 ・学術資料購入に係る評価（龍谷大学龍谷
ミュージアム、2021年10月6日）
畑智子 ・第74回姫路市美術展 審査員
・京都日本画新展2021 審査員

3) 業績

① 論文・著作

橋本章 ・「織田信長のイメージ」大石学・時代考証学会編『戦国時代劇メディアの見方・作り方』2021年9月30日 勉誠出版

・「“巨椋池”の喪失と発見―伏見からのまなざしを中心に―」『令和2年度京都府域の文化資源に関する共同研究報告書（伏見編）』2021年9月 京都府立京都学・歴史館／「巨椋池」についての物語が成立する過程について『京都を学ぶ【伏見編】―文化資源を発掘する―』2022年3月24日 ナカニシヤ出版（一部改訂し転載）

・「近江曳山祭」成安造形大学附属近江学研究所編『近江学』13号 2022年3月7日

・「京都の盆踊りの変遷について～「洛北三祭礼図」に見る灯笼踊りの様相を中心に～」『京都文化博物館研究紀要 朱雀』第34集 2022年3月31日 京都府京都文化博物館

林 智子 ・資料紹介「流水蔦文様帷子裂ほか」『京都文化博物館研究紀要 朱雀』第34集所収、2022年3月

西山 剛 ・『図録 花ひらく町衆文化 近世京都のすがた』編集（2021年）

・「北野祭礼神輿と禁裏駕輿丁」（『世界人権問題研究センター研究紀要』第26号、2021）

・「特別展「戦国時代展」の思考」（『戦国時代劇メディアの見方・作り方』、勉誠出版、2021）

・「京都府蔵「鴨川納涼図屏風」にみる納涼」（『京都文化博物館研究紀要 朱雀』第34集、2022年3月）

植田彩芳子 ・作品解説および論文「小早川秋聲 その画業と作品」（展覧会図録『小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌』所収、求龍堂、2021年8月）

・作品解説（展覧会図録『近代文化人ネットワーク 太田喜二郎の周辺』所収、京都大学人文科学研究所みやこの学術資源研究・活用プロジェクト発行、2021年11月）

・「展覧会解説「舞妓モダン」展」（『大正イマジユィ』16号、2021年11月）

・「小早川秋聲《國之楯》考―聖者として戦死者を描く」（『美術フォーラム21』44号、2021年12月）

・「小早川秋聲―《長崎へ航く》考―」（『藝術文化雑誌 紫明』50号、2022年3月）

村野正景 ・「コロナ禍での博物館活動の焦点は何か：京都文化博物館の努力と工夫」（『ICOM Japan ジャー

ナル』／2021年9月）

・「まちなかの博物館での学び～京都を深掘りする多様な切り口～」(『月刊教育旅行』788／2022年1月／共著)

・「学校内歴史資料室についての調査結果と所見―全京都市立小学校を対象としたアンケート調査―」（『京都市学校歴史博物館研究紀要』8／2021年6月／共著）

・「文化遺産を創造する「アートと考古学」」（『京都外大国際文化資料館紀要』13／2022年3月）

・「学校博物館の基礎的研究―学校資料の所在する場の理解に向けて―」（『国立歴史民俗博物館研究報告』234／2022年3月）

・「博物館とメソアメリカ」（『古代アメリカ学会主催第3回公開シンポジウム 講演録1 まなぶ、たのしむ 南北アメリカの古代文明―研究成果から学びの場へ―』／2022年3月）

植田憲司 ・「占領期カラー写真の可能性」『戦後京都の「色」はアメリカにあった！』2021年7月

・「色のある写真、占領期の京都の風景」『文化財レポート』第35号（公益財団法人京都文化財団編集・発行）、2022年3月

有賀 茜 ・作品解説および論文「絵画資料にみる記憶と記録―災害を伝えること」（展覧会図録『伝える―災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料』所収、京都文化博物館発行編集、NHKサービスセンター発行、2021年3月）

・作品解説および年表（展覧会図録『よみがえる承久の乱 後鳥羽上皇VS鎌倉北条氏』所収、京都文化博物館・読売新聞社発行、2021年4月）

・作品解説および研究ノート「岩佐又兵衛筆 誓願寺門前図屏風の修理」（展覧会図録『花ひらく町衆文化―近世京都のすがた』京都文化博物館発行、2021年6月）

・「天明の大火と円山応挙―金剛寺蔵《群仙図》をめぐって」（展覧会図録『亀岡の名宝』所収、亀岡市文化資料館編集・発行、2022年2月）

・翻刻「原在明『臥游集』（1）」（『京都文化博物館研究紀要 朱雀』第34集所収、京都文化博物館発行、2022年3月）

佐藤稜介 ・木下昌規、久水俊和編『足利将軍事典』戎光祥出版、2022年1月（分担執筆）

大矢敦子

- ・「まちなかの博物館での学び～京都を深掘りする多様な切り口～」(『月刊教育旅行』788/2022年1月/共著)

畑 智子 ・「中原哲泉—知られざる近代七宝の名工」

- 『京七宝協同組合15周年記念』発行2022年3月
- ・「フィンレイソン社についての覚書」『京都文化博物館研究紀要 朱雀』第34集所収、2022年3月

② 発表・講演

洲鎌佐智子 ・「五節句について」特定非営利活動法人五節句文化アカデミア (ネット配信)

森脇清隆 ・「ジャパン・コンテンツの悠久と先端～京都で学ぶ映画～」(講師、大学コンソーシアム京都、2021年11月24日)

- ・「ヒストリカ大喜利-夢を語れ これからの時代劇について討論会」(コーディネーター、京都文化博物館、2022年1月30日)

橋本 章 ・京都民俗学会第336回談話会「コロナ禍の中でのフィールド研究の方法について～巨椋池に関する調査活動を例に～」2021年9月26日 オンラインで実施

- ・アスニーセミナー「伝説化する信長の上洛について」2021年12月10日 於、京都アスニー

西山 剛 ・「町共同体と祇園会 —三条御倉町を中心に—」(「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置—〈史料と社会〉の視点から—」研究会、2022年3月21日、オンライン)

植田彩芳子 ・「あれこれトーク—櫻谷さんと衣笠絵描き村」(於：木島櫻谷旧邸(櫻谷文庫) 2021年10月31日)

- ・「小早川秋聲の画業と《國之楯》」於：鳥取県立博物館講堂(コロナ禍のため、講演者は当館会議室よりZoomにて参加、2022年3月19日)

村野正景 ・「現代社会に根ざした土器研究-中米におけるパブリック考古学の導入と展開に向けた実践-」(古代文明・文化資源学研究センター キックオフシンポジウム『古代文明の学際研究と文化資源学』/オンライン/2021年6月27日)

- ・「みち・まちづくりに資する博物館活動は創造可能か」(官民連携まちなか再生研究会/オンライン/2021年7月18日)
- ・「学校で資料に出会う、気づく：資源化の実際と今後の活動可能性」(文化資源学会 特別研究会「学校所在の文化資源」/オンライン/2021年10月9日)
- ・「當代社會中的價值創造：京都的博物館活動」(輔大博物館學研究所×文化部×2021-2022年人才培养計畫×系列講座/オンライン/2021年11月13日)

・「博物館とメソアメリカ」(古代アメリカ学会主催 第3回公開シンポジウム まなぶ、たのしむ南北アメリカの古代文明—研究成果から学びの場へ—/オンライン/2021年12月19日)

・「京都文化博物館の取組 重要文化財 旧日本銀行京都支店の保存と活用」(唐津藩英語学校「耐恒寮」開校150年企画 ウェブシンポジウム「明治近代建築の全国津々浦々～保存と活用を語る」/オンライン/2022年2月24日)

・「海外の学校博物館：メキシコの教育プログラムを中心に」(第18回学校資料研究会/オンライン/2022年3月26日)

植田憲司 ・「戦後京都の『色』はアメリカにあった！」(ぶんぱく京都講座/オンライン/2021年9月4日)

・「撮影された街角のいま」(京都文化博物館「戦後京都の『色』はアメリカにあった！」展関連イベント/オンライン/2021年9月3日)

・「写真展で得られたものは？」(京都文化博物館「戦後京都の『色』はアメリカにあった！」展関連イベント/オンライン/2021年9月16日)

・「戦後、京都岡崎の『色』」(京都文化博物館「戦後京都の『色』はアメリカにあった！」展関連イベント/オンライン/2021年10月30日)

清水智世 ・「転換期の京都の前衛画家たち」(YouTube 動画配信/板橋区立美術館/2021年5月)

・「東京・京都 戦時下の前衛画家たち」(板橋区立美術館・弘中智子氏と共同登壇/共同研究班「芸術と社会」第9回研究会/オンライン/2021年7月24日)

・「「前衛」画家たちにとっての「古典」とは」(福沢絵画研究所R 第3回研究会/オンライン/2022年2月20日)

有賀 茜 ・「円山応挙と四条派」(「亀岡の名宝展」関連イベント、於、亀岡市文化資料館、2022年2月20日)

・ぶんぱく京都講座「池大雅美術館コレクションのあゆみ」(総合展示「池大雅—書の世界」関連イベント、於、京都文化博物館、2021年10月31日)

V 普及活動

V-1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第34集】

発行：京都文化博物館

発行日：2022年3月31日

印刷：株式会社ITP

体裁：A4判、82ページ

編集担当：洲鎌 佐智子

所載記事：

[論考]

・村野 正景・島田 雄介

学校博物館の事例研究

—京都府立鴨沂高等学校における展覧会—

[研究ノート]

・橋本 章

京都の盆踊りの変遷について

—「洛北三祭礼図」に見る灯籠踊りの様相を中心に—

・畑 智子

フィンレイソン社についての覚書

・西山 剛

京都府蔵「鴨川納涼図屏風」にみる納涼

[資料紹介]

・林 智子

流水葛文様帷子裂ほか

・有賀 茜・松井 直人・山口奈々絵・吉野 健一

翻刻 原在明「臥游集」(一)

2) 年報

【京都文化博物館2020(令和2)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館

発行日：2021年9月30日

印刷：株式会社ITP

体裁：A4版、74ページ

編集担当：大矢 亜美

3) 展覧会図録

【さまよえる絵筆—東京・京都 戦時下の前衛画家たち】

編集・執筆：弘中智子(板橋区立美術館 学芸員)・

清水智世(当館学芸員)

編集協力：八島慎治(みすず書房)

執筆：山本新太郎・吉井爽子・雨宮幸明・伊藤佳之・

大串潤児・大谷省吾・河田明久・小林俊介・

谷口英理・村野正景(当館学芸員)・印田由貴

子

ブックデザイン：中野豪雄・林宏香・西垣由紀子

(中野デザイン事務所)

助成：公益財団法人ポーラ美術振興財団

発行所：株式会社みすず書房

発行日：2021年2月26日

印刷・製本：株式会社加藤文明社

【伝える—災害の記憶 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料】

編集：京都文化博物館

編集協力：小さ子社

執筆協力：反町光太郎、加納靖之、大邑順三、濱野未

来、山村紀香

発行：NHKサービスセンター

印刷：株式会社サンエムカラー

発行日：2021年3月20日

【よみがえる承久の乱—後鳥羽上皇VS鎌倉北条氏—】

企画・編集：京都文化博物館

発行：京都文化博物館、読売新聞社

制作：Shibunkaku Works

デザイン：上野かおる・尾崎閑也

(鷺草デザイン事務所)

体 裁：B 5 版、240ページ
発行日：2021年 4 月 5 日

【京都文化プロジェクト 誓願寺門前図屏風 修理完了記念 花ひらく町衆文化—近世京都のすがた】
編 集：京都文化博物館
発 行：京都文化博物館
印 刷：株式会社スイッチティブ
デザイン：谷 浩志（グラフィックデザイン）
発行日：2021年 6 月 5 日

【戦後京都の「色」はアメリカにあった！】
編 集：植田憲司、衣川太一、佐藤洋一
発行者：京都文化博物館長 山田啓二
発 行：京都文化博物館
発行元：一般社団法人日本電子書籍技術普及協会
体 裁：タテ25.0cm×ヨコ21.0cm、118ページ
発行日：2021年 7 月 24 日

【小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌】
監 修：京都府京都文化博物館、東京ステーションギャ

ラリー、鳥取県立博物館
編 集：清水恭子、細田航（求龍堂）
発行者：足立欣也
発行所：株式会社求龍堂
印刷・製本：岡村印刷工業株式会社
発行日：2021年 8 月 7 日

【近代文化人ネットワーク 太田喜二郎の周辺】
編 集：高階絵里加、福家崇洋（京都大学人文科学研究所）、植田彩芳子、村野正景（当館学芸員）
制 作：ニューカラー写真印刷株式会社
発 行：京都大学人文科学研究所みやこの学術資源研究・活用プロジェクト©2021
体 裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、28ページ
発行日：2021年11月

【Kyoto Art for Tomorrow 2022—京都府新鋭選抜展—】
編集・発行：京都府、京都文化博物館
体 裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、39ページ
発行日：2022年 2 月

V-2 音楽会

◆主催：京都文化博物館、会場：当館別館ホール

京都文化博物館 Summer Museum Concert 2021

日 時：2021年 8 月 17 日、19 日
主 催：京都文化博物館
会 場：当館 別館ホール

演奏者：
8 月 17 日（火）京都市立芸術大学 14時半開演
8 月 19 日（木）京都市立芸術大学 14時半開演
入場者：105名

V-3 京都アート・クラフトマーケット

京都アート・クラフトマーケットは、2008年秋に京都府が中心となって開催した京都アートフリーマーケットを母体とする。京都アートフリーマーケットは、若手作家および職人の創作活動支援と京都文化博物館が位置する三条通界隈に賑わいをつくりだすために始められたイベントであったが、2018年度をもって終了。2019年秋以降は、新たなスポンサーを

得て、当館自主事業に移行し、2020年春からは、アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校として開催している。2021年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言発出のため、9月に開催予定であった2021年秋は開催を中止し、2022年春のみ開催した。

【京都アート・クラフトマーケット】

名 称	開 催 日	入場者数
2021秋 京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	2021年 9 月 10 日（金）～9 月 12 日（日）	中止
2022春 京都アート・クラフトマーケット@京都文化博物館 presents by TASK 京都伝統工芸大学校	2022年 3 月 19 日（土）～3 月 21 日（月祝）	18,053

V-4 学習普及外部連携室

1) ボランティア

2022年3月31日現在（2021年度）、52名のボランティアスタッフが活動しており、2階総合展示室内における来館者案内や見回りを行った。通常ならば、必要に応じて音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントのサポートにも参加するが、コロナ禍でそうした活動は控えている。日本語26名、英語23名、その他の外国語3名が朝9時45分から夜7時30分までの間、3交代制で活動を行っている（計52名）。

ボランティアは、2階総合展示の開始にあわせて設定される研修会に参加し、展示内容および展示室運営

を含めた総合的なレクチャーを実施するのが通例だが、コロナ禍のため、2021年度はオンライン研修による対応とした。なお、来館者への案内業務ができない中、モチベーションが維持されるよう、ボランティア特別研修（ボランティアお楽しみ講座）を2021年12月23日、2022年1月20日、2月24日の計3回、オンライン（Zoom）開催し、橋本章学芸員がNHK大河ドラマと絡めた内容で2階で開催の「鎌倉武士の物語と京都」の展示内容を詳しく解説した。

2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

通常、学習普及連携室が軸となり、ボランティアスタッフと学芸員が協働して企画運営を行う「ぶんぱく子ども教室」を実施するが、2021年度もコロナ禍のため、開催できなかった。その代わりに、総合展示に来場

する生徒のための鑑賞のヒントや館内案内の手引きとして、「ぶんぱく手帳」を小学生向けに作成し、総合展示室入口に配置した。

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2021年度の来館件数は34件であった。このうち解説を行ったのは、10件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが

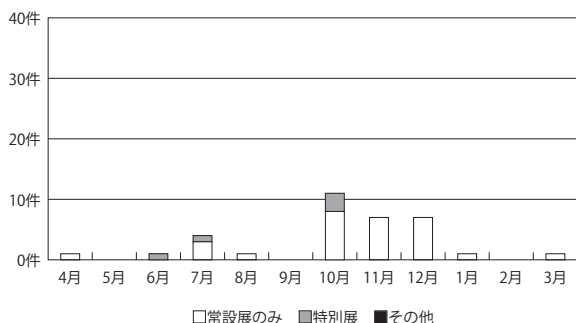
主体で、全体の半数をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では小学校が一番多く、大学、高校、中学校がつづく。

本年度は、7月、10月、11月、12月の団体申し込みが多かった。

【2021年度団体見学案内件数】

2021年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	13	0	19	264	28	0	423	314	262	5	0	20	1348
来館件数	1	0	1	4	1	0	11	7	7	1	0	1	34
解説件数	0	0	0	2	0	0	1	2	3	1	0	1	10

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	11
中学校	4
高校	6
専門学校	0
大学	9
支援学校	0
一般	4
合計	34

V-5 博物館実習

【実施期間】

2021年8月16日(月)～8月20日(金)までの5日間

【実習生】

同志社女子大学	1名
京都産業大学	1名
京都芸術大学	1名
八洲学園大学	2名
大谷大学	1名
同志社大学	1名
京都教育大学	1名
龍谷大学	1名
京都大学	1名 (計10名)

【実習内容／担当者】

- ・ ガイダンス・博物館の活動について (概説) / 植田憲司
- ・ 博物館の活動について (施設) 館内見学 / 植田憲司
- ・ 映像資料の取り扱いについて / 森脇清隆・大矢敦子
- ・ 美術工芸品の取り扱いについて / 洲鎌佐智子
- ・ 民俗資料の取り扱いについて / 橋本章
- ・ 染織資料の取り扱いについて / 林 智子
- ・ 美術資料の取り扱いについて / 植田彩芳子・清水智世・有賀 茜
- ・ 文献資料の取り扱いについて / 西山 剛・佐藤稜介
- ・ 考古資料の取り扱いについて / 村野正景
- ・ 写真資料の取り扱いについて / 植田憲司
- ・ 学習普及と地域連携について / 村野正景・大矢敦子・植田憲司

V-6 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本85,047冊、逐次刊行物3,222タイトル(84,412冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が35,674冊、展覧会図録が16,505冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの図書

資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は1587件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が64冊、展覧会図録が439冊、年報・紀要類が311冊であった。

2) ホームページによる広報とWEBコンテンツの提供

2021年度もコロナ感染症感染予防による緊急事態宣言の発令などで人々の活動制限はあったがアクセス数、ページビューはもとに戻りつつある。

HPの展覧会情報ページへのアクセスが増えており、SNSの浸透がうかがえる。

【ホームページの利用状況】

2021年度	総 数	一日平均
アクセス数	829,859	2,274
ページビュー	5,778,184	15,830

2021年度 配信等オンライン活用実績

【展覧会】

展覧会名	配信日	内容	配信数・参加者数
特別展 よみがえる承久の乱	5月12日～5月23日	【ニコニコ美術館】『よみがえる承久の乱—後鳥羽上皇 vs 鎌倉北条氏—』を巡ろう	約3万人

特別展 花ひらく町衆文化	6月5日～	誓願寺門前図屏風(修理ドキュメント)公開	
	8月26日～	誓願寺門前図屏風(シンポジウム)公開	
	7月21日～	誓願寺門前図屏風(対談編)公開	
特別展 小早川秋聲	8月28日	【講演会】「國之楯へと至る道 小早川秋聲の画業」	37人
特別展 フィンレイソン	10月16日	【講演会】「フィンランドのシンプルな暮らしとテキスタイルデザイン」	323人
総合展示 戦後京都の「色」はアメリカにあった！	7月24日	【オンライントーク配信①】「展覧会企画者による展示解説」	
	7月26日	【オンライントーク配信②】「戦後カラー写真に写された京都」	
	8月13日	【オンライントーク配信③】「戦後カラー写真 調査収集裏話」	
	8月20日	【オンライントーク配信④】「みなさんの反響+当時の想い出を聞く」	
	9月3日	【オンライントーク配信⑤】「撮影された街角のいま」	
	9月4日	【ぶんばく京都講座】「戦後京都の「色」はアメリカにあった！」	
総合展示 京の盆踊り	8月20日～	展示紹介動画をYouTubeで公開	
	8月20日～	バーチャル展示空間の公開	

【フィルムシアター】

事業名	配信日	内容	配信数・参加者数
第13回京都ヒストリカ国際映画祭	1月22日～30日	一部作品をオンライン上映	2,610人
第13回京都フィルムメーカーズラボ	1月26日～29日	参加者59名中33名がオンライン参加	33人
京都フィルムメーカーズラボ・マスタースセッション	1月29日～31日	一部講師がオンラインで参加	

【別館催事】

事業名	配信日	内容	配信数・参加者数
すばる祇園祭コンサート	7月18日	ライブ配信	
NaKaNaKa×NaKaYoshi vol.3 二組の連弾デュオによるジョイントリサイタル	7月25日	ライブ配信	
「本山秀毅コーラス・ワークショップ2021」 ～真夏の京都で「口短調」に挑む！	7月30日～8月1日	ライブ配信	
音楽のおもちゃ箱の仲間たち 「特別企画コンサートフェア」	8月11日	ライブ配信	
Joyful Bells 第14回ハンドベルコンサート	12月9日	ライブ配信	
天体と音楽をテーマとした科学・音楽コミュニケーション ～「地球を知ろう」～第3弾	12月26日	ライブ配信	
KIMONOの森コンサート	2月8日～9日	ライブ配信	
祈 無形文化芸術「書道」×有形重要文化財「京都文化博物館」	2月11日～12日	ライブ配信	

【ボランティア】

	配信日	内容	配信数・参加者数
ボランティア事業	4月21日～5月6日	オンライン研修①「京の端午の節句と尚武」	ボランティアスタッフ 約52名
	6月15日～6月29日	オンライン研修②「さまよえる絵筆」	
	6月18日～7月2日	オンライン研修③「祇園祭」	
	6月30日～7月14日	オンライン研修④「丸紅所蔵小袖名品展」	
	8月5日～8月19日	オンライン研修⑤「戦後京都の「色」はアメリカにあった！」	
	8月13日～8月31日	オンライン研修⑥「京の盆踊り」	
	10月5日～10月19日	オンライン研修⑦「陽明文庫の名宝11」	
	10月6日～10月20日	オンライン研修⑧「池大雅」	
	11月5日～11月19日	オンライン研修⑨「輝く京都の四季」	
	12月23日	特別講座①「鎌倉に幕府が開かれたのはなぜだろう？」	
	1月20日	特別講座②「攻めのぼって来た鎌倉武士たちと京都」	

ボランティア事業	2月9日～2月24日	オンライン研修⑩「工芸、ここが素敵！」	ボランティア スタッフ 約52名
	2月24日	特別講座③「内紛に揺れる鎌倉、そして北条義時が最後に生き残る！」	
	3月14日～3月29日	オンライン研修⑪「雛人形名品展」	

【その他】

事業名	配信日	内容	配信数・参加者数
新たなまちづくり資源創出プロジェクト 近代建築ウイーク2021	11月15日～	【シンポジウム配信】「三条通りの近代洋風建築群ーデジタル化時代を楽しむー」	

V-7 外部連携活動

1) 他館との連携

① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、当館の4館による連携協力および館運営にかかる情報交換を円滑にする目的で、京都市内4館連携協力協議会（「京都ミュージアムズ・フォー」）が2009年6月12日に発足した。2021年度は学芸部会を1回・事務部会を1回開催し、以下の連携事業を実施した。

- ・京都ミュージアムズ・フォー連携講座の実施（年間4回、うち1回はコロナのため中止）
- ・4館の合同年間スケジュールの作成
- ・各館友の会会員相互割引制度の実施
- ・スタンプラリーの実施（実施期間：10月1日～11月30日）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4館相互割引は中止した。

② 事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

（関西の美術館・博物館、約49施設が参加）

2021年度は関西文化の日（2021年11月13日・14日）を「総合展示入場無料」とした。当館の総合展示入場者は、919人であった。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2021」への参加】

今年度は、関西の2府4県（大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山）の美術館・博物館で構成する合計50施設が参加した。

当館は利用者に総合展示無料（1回）および特別展前売料金扱い（1回）の特典を付与し、併せて館内でぐるっとパスの冊子を販売した。

2) 京都府内の学校との連携事業

京都府立鴨沂高等学校と京都府立鳥羽高等学校と連携授業を実施した。学芸員の出前講座を通じて文化財に生徒が触れ、観察した。

3) 地域との連携

① 地域文化イノベーションのための博物館活動形成プログラム

令和3年度文化芸術振興費補助金（地域と協働した博物館創造活動支援事業）の補助を受け「地域文化イノベーションのための博物館活動形成プログラム」を展開し、姉小路界限を考える会、公益財団法人京都古文化保存協会、京都市学校歴史博物館、京都市考古資料館、京都市生涯学習総合センター、京都市歴史資料館、京の三条まちづくり協議会、京都府、一般社団法人千總文化研究所と連携して事業を行った。

【新たなまちづくり資源創出プロジェクト】

◇みちとまちワークショップ

- ・まちカフェ（2021年7月4日、7月18日、9月25日、11月6日、12月4日、2月27日、のべ参加人数214名）
- ・三条で遊んでみよし（2021年11月6日-7日、のべ参加人数1000名以上）

◇近代建築ウィーク

- ・シンポジウム（2021年11月15日、配信視聴回数のべ505回）
- ・ワークショップ（2021年11月14日、のべ参加人数30名）
- ・ツアー（2021年11月21日、11月23日、11月28日、のべ参加人数51名）

【新たな連携領域創出プロジェクト】

◇学校資料を活用した幼児等対象ワークショップ・実践講座

- ・講演会（2021年10月30日、11月6日、11月23日、12月11日、2022年1月22日、2月23日、計141名参加）
- ・ワークショップ（2021年11月7日、12月5日、

2022年2月19日、計26名参加）

- ・ブックレットの作成

◇伝統産業を活かした高等学校との連携活動

- ・教育プログラム開発（2021年9月～2022年1月（計11回）各回学生24名参加）
- ・ワークショップ（2022年1月17日、1月24日、学生24名参加）
- ・染織技術動画教材の作成

◇アートと考古学の連携展示ワークショップ

- ・展示ワークショップ（2021年12月14日～2022年1月16日、アーティスト・学生30名、参加人数：のべ1,487人）

◇京都非公開文化財を活用した市民研修（2022年3月9日、のべ参加人数12人）

【新たな活動空間創出プロジェクト】

◇III F方式による地域資源の公開アーカイブ・ワークショップ

- ・ワークショップ（2021年6月18日、7月8日、9月24日、11月18日、12月9日、2022年1月20日、2月25日 のべ参加人数40人）
- ・研修会（2022年2月26日、参加人数9人）

◇オンライン展示による地域文化資源の発信の実践

- ・研修会（2022年3月17日、参加人数11人）
- ・オンライン展示作成

【新たな多言語化サービス創出プロジェクト】

◇平安京模型を用いた多言語化音声ガイド作成ワークショップ

- ・ワークショップ（2021年10月25日、10月27日、のべ参加人数50名）
- ・音声ガイド作成

② 「きものの似合うまち・京都」推進事業（京都府共催）への協力

例年参加、協力してきた「京都きものパスポート」事業（きものを着てパスポートを提示した方への特典提供）だが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影

響を受け、休止となった。今後については、「きものの似合うまち：京都」実行委員会により新たな和装振興事業の検討が進められている。

V-8 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・会員証で特別展・総合展示(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞(B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金)
- ・会員同伴者5名様まで入場料20%割引(B会員は同伴者1名まで)
- ・当博物館発行の出版物の割引
- ・友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・催事案内や各種行事案内等の送付
- ・当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金の割引および京都府立堂本印象美術館の割引

【会 費】

- ・A会員 年会費6,000円
- ・グループ会員(2名以上) 年会費5,000円/1名
- ・B会員 年会費4,000円

【会員の概要】

会員は、個人会員をA会員、また総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員、2名以上で入会するグループ会員の三つの区分に分け運営を行っている。

①会員数(近年の推移)

	(単位:名)		
	2021年度	2020年度	2019年度
A会員	338	361	390
グループ会員	101	136	143
B会員	229	276	277
計	668	773	810

②新規加入

	(単位:名)	
A会員	53	
グループ会員	15	
B会員	73	
計	141	

③男女の構成

	(単位:名)	
	男性	女性
A会員	66.6%	33.4%
グループ会員	41.6%	58.4%
B会員	66.4%	33.6%
計	62.7%	37.3%

④年齢分布

	(単位:名)	
10代	2	
20代	5	
30代	20	
40代	37	
50代	95	
60代	170	
70代	238	
80代	92	
90代以上	9	
不明	0	
最高齢	94	
平均	67.26	

会員については、A会員、グループ会員、B会員のすべてに昨年より減少となっている。

要因の一つとしては、友の会運営は博物館事業と一本化しており、特別展・総合展や上映映画に対する会員の興味度・関心度によると考えられる。また今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言により、特別展の休止、フィルムシアター・総合展の休室があり、また外出の自粛等も影響したと考えられる。

B会員は比較的廉価なため、20~30代の方の新規加入を期待しているが昨年同様高齢者層の新加入が多くなっている。

今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろんのこと、今年度新たに入会した会員に対して次年度以降も継続して加入してもらえよう、友の会の内容の充実とサービスの向上を図りたい。

[備考]・2021年4月から2022年5月までに有効期限切れを迎える会員を対象に2ヶ月の期限延長の措置を取った。

・2021年9月から2022年9月までに有効期限切れを迎える会員を対象に1ヶ月の期限延長の措置を取った。

⑤職業

	(単位:名)
会社員	102
公務員	26
教員	23
自営業	50
自由業	8
学生	5
その他	49
無職	405

⑥住所分布

	(単位:名)
京都市内	459
京都府内	60
近畿圏内	129
その他の府県	20

⑥-2 近畿圏内の内訳

大阪府	77
兵庫県	27
滋賀県	17
奈良県	7
和歌山県	1
計	129

2) 事業概要

① その他

【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」

を発行。

V-9 文化財保護基金室

公益財団法人京都文化財団では、京都文化博物館内に文化財保護基金室をおき、文化財の保護、啓発に努

めている。

1) 貸付け事業

社寺建造物、美術品等文化財の保全に必要な修理事業などに長期、低利の文化財保護資金貸付事業を行っている。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少した社寺等の指定文化財所有者のために、さらに低利の文化財保護緊急資金の貸付事業を前年度に引き続き実施した。この緊急貸付は、2022年3月31

日をもって終了し、実施期間全体での実績は3件であった。

【2021(令和3)年度貸付状況】

区 分	件数	貸付金額(千円)	備 考
文化財保護資金	1	15,000	本殿屋根葺替修理
文化財保護緊急資金	1	5,000	
合 計	2	20,000	

2) 文化財保護に関する巡回よろず相談

文化財の保存修理等に関して所有者が抱える様々な問題に対処するため、文化財保護関係機関等が一堂に会するよろず相談を例年開催してきたが、昨年度に続

き、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受け、開催を見合わせた。

3) 文化財保護の啓発普及

①「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート」2,000部を発行

した。

V-10 「福寿園・お茶の文化賞」の創設

株式会社福寿園会長 故福井正典氏のご遺志を受け、21世紀に京都からお茶にまつわる文化芸術がより多彩により根強く、日本や世界に波及することを願って「お茶の文化」に著しい貢献が認められる個人・団体を顕彰するとともに、将来こうした貢献が期待できる

と認められる若い世代を奨励することを目的として、「福寿園・お茶の文化賞」を創設した。

また、本年は選考委員の選出、12月に「福寿園・お茶の文化賞」発足式を行い、第1回表彰にむけた準備を行った。

VI ギャラリー事業

VI-1 5・6階展示室

絵画、彫刻、工芸、書、デザイン、写真、華道の作家として活発な創作活動をしている方々の展覧の場としての利用や、府民をはじめ広く一般の方々の文化芸

術活動の発表の場としての利用、京物の紹介を目的とした展示会、見本市、内見会等、府民の文化芸術活動の展示公開の場を提供しています。

1) 美術・工芸作家の利用

開館以来5階展示室および6階展示室は（1997年7月より）美術・工芸作家が利用できる場を設けており、利用は府内に活動の本拠を持つ作家および府内にゆかりのある作家としている。展示作品は、絵画・彫刻・工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否につい

ては、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

今年度については、コロナ感染症拡大により中止・延期していた催事を開催したことにより、例年より増加した。

2021年度の利用件数は、38件であった。

【作家利用一覧】

会 期	展 覧 会 名	分 野
2021 4.9 ~ 4.11	岩崎たつお能面展	諸工芸（能面）
4.9 ~ 4.11	第33回 面風會展—能面・狂言面—	諸工芸（能面）
4.13 ~ 4.18	第47回 京都 春季創画展	日本画
4.21 ~ 4.24	第44回 日本画 春季光玄展	日本画
4.22 ~ 4.24	第14回 京都創造藝術協會展	美術工芸総合
4.23 ~ 4.24	第29回 祐門会京都能面展	諸工芸（能面）
6.22 ~ 6.27	第1回 NIHONGA O（えん）	日本画
6.30 ~ 7.4	2021 京都日本画家協会 第8期展	日本画
7.16 ~ 7.18	第40回辛酉会書展	書
7.28 ~ 8.1	神崎順一「鴨川・四季」写真展	写真
8.3 ~ 8.15	ファイバーアートの15人 Fiber Art By Fifteen	染織
8.18 ~ 8.22	第38回 六齋会篆刻作品展	書（篆刻）
8.18 ~ 8.22	第23回 ファインド・アイズ 現代・文人光画展	写真
8.18 ~ 8.22	筆精墨妙 劉銘義書画展	美術総合（日本画・書）
9.8 ~ 9.12	橋本豊子米寿記念展	洋画
9.8 ~ 9.12	徳田嘉孝作品展	洋画
9.22 ~ 9.26	光風工芸「明日へのかたち」展	工芸総合
9.22 ~ 9.26	第28回 光敷能面會展	諸工芸（能面）
10.1 ~ 10.8	山本万里書作展	書
10.15 ~ 10.17	絵更紗美術協會展	染織
10.20 ~ 10.24	京の名工展	工芸総合
10.26 ~ 10.31	山形一遊展	洋画
10.27 ~ 10.31	選抜 京都墨彩画壇展	日本画（水墨画・墨彩画）
10.28 ~ 10.31	第40回 聚英展	書
11.16 ~ 11.21	第2回 桜舞会展	洋画
11.25 ~ 11.29	第32回 創工会展	工芸総合
12.8 ~ 12.12	新日美巡回展	美術工芸総合
12.15 ~ 12.19	京都現代写真作家展	写真
12.22 ~ 12.26	第30回 帆の会展	洋画
2022 1.26 ~ 1.30	第54回 京都書作家協会 会員展	書

2.4 ~ 2.6	2021年度 京都橘大学 卒業制作展	書
2.10 ~ 2.13	水明書道会 第16回 墨聚展	書
2.24 ~ 2.27	第42回 京都現代書芸展	書
3.9 ~ 3.13	第一美術 サムホール展	洋画
3.17 ~ 3.21	第65回 あまがつ会人形展	諸工芸 (人形)
3.18 ~ 3.21	中川聖久の書展	書
3.23 ~ 3.27	奥宣憲の書展	書
3.30 ~ 3.31	和田光正金彩展	染織
計 38件(175日間) 31,088人		

【作家利用分野別件数・入場者数一覧】

	美術						工芸				美術工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	5	6	10	3	0	1	3	0	5	3	2	38
割合(%)	13%	16%	26%	8%	0%	3%	8%	0%	13%	8%	5%	100%
入場者数	7,216	2,563	6,660	4,671	0	372	2,086	0	2,236	4,512	772	31,088
1件平均入場者数	1,443	427	666	1,557	0	372	695	0	447	1,504	386	818

*諸工芸には、能面・人形を含む。

2) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室および京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・諸工芸各1名)、書2名(仮名・漢字各1名)、写真1名の計13名で、展示室の

使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2021年度の委員会は以下のとおり開催した。

【展示室運営委員会】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2021年7月9日	2021年12月~2022年3月	11
2021年11月9日	2022年4月~2022年7月	11
2022年3月8日	2022年8月~2022年11月	10

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用期間に準

ずる期間として、美術・工芸作家および技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

会期	展覧会名	分野	入場者数
5階 2021 4.8 ~ 4.11 6.18 ~ 6.20 7.6 7.22 ~ 7.25 8.25 ~ 8.29	第29回煌めくクラフト展 第17回素敵なニット展 (令和2年度延期分)	諸工芸	457
	第13回京都佳趣会書展	書	408
	丹羽幸 (日本きものシステム協同組合 会議)	その他	200
	第23回森小夜子人形教室展 キッズオリンピック (令和2年度再々延期分)	諸工芸	438
	第9回ハクビ和紙ちぎり絵学院 作品展	諸工芸	268

2022	9.15 ~ 9.19	第3回ドラード芸術祭	洋画	258
	9.17 ~ 9.19	有岡由利子パッチワークサークルキルト展 2021	諸工芸	758
	10.6 ~ 10.10	創部85年 京都大学写真部OB会 京都展	写真	290
	10.7 ~ 10.10	藤原彰子 歌謡を書く -古代歌謡から江戸小歌まで-	書	280
	10.8 ~ 10.10	第38回龍雲会書展	書	455
	11.2	京都工芸美術作家協会展 @東京 作品搬入・梱包	その他	0
	11.5 ~ 11.7	第58回仏教美術展	(美術) 総合	1,333
	11.11 ~ 11.14	第54回心象書展	書	1,416
	12.10 ~ 12.12	令和三年度 立命館大学書道部卒部展	書	218
	12.23 ~ 12.26	前田正志木版画展	その他	200
	1.7 ~ 1.10	J.Arts Bridge 2022 for SDGs	(美術) 総合	914
	1.14 ~ 1.23	第34回京都美術文化賞 受賞記念展〈17日休室〉	美術工芸総合	1,564
	2.3 ~ 2.6	和紙で包む日本の美 折形礼法展 (2/5 特別講演会)	その他	240
	2.17 ~ 2.20	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2022 デザイン・建築学課程	(美術) 総合	1,370
	3.2 ~ 3.6	'21 写人展	写真	475
	3.4 ~ 3.6	第35回全国シルバー書道展 京都展	書	679
	3.9 ~ 3.13	第21回福知山市佐藤太清賞公募美術展	(美術) 総合	336
計22件 使用日数：87日				12,557

	会期	展覧会名	分野	入場者数	
6階	2021	4.14	第37回チャリティー園遊会 (国際ゾンタ京都IIクラブ)	その他	500
		4.24	風楽和〈華〉コンサート Vol.9 地歌から現代邦楽 (令和2年度延期分)	その他	31
	6.25 ~ 6.27	6.20	京都文博 嘶の会Vol.17 玉川太福 独演会 (令和2年度延期分)	その他	63
		アルスシムラ 2020年度卒業制作展	染織・染色	356	
	7.11	花ひらく町衆文化・近世京都の姿「誓願寺門前図屏風修復完了記念」落語会 ～笑いと町衆文化～ 協賛 京笑いの会	その他	105	
	7.17	花ひらく町衆文化・近世京都の姿「誓願寺門前図屏風修復完了記念」落語会 ～笑いと町衆文化～ 協賛 京笑いの会	その他	74	
	7.18	花ひらく町衆文化・近世京都の姿「誓願寺門前図屏風修復完了記念」落語会 ～笑いと町衆文化～ 協賛 京笑いの会	その他	133	
	7.25 ~ 7.27	京都工芸美術作家協会 (作品撮影)	その他	0	
	9.19	京都文博 嘶の会 vol.18 笑福亭松喬 独演会	その他	150	
	9.25	第58回京の三条まちカフェ「まちづくり社会実験」へ向けて (京都歴史文化施設クラスター実行委員会)	その他	31	
	10.15 ~ 10.17	第9回ポジャギ工房koeグループ展 韓国の手仕事 ポジャギ 絹と麻・素材の美	染織・染色	767	
	10.20 ~ 10.21	京都工芸美術作家協会展 @東京 作品搬入・梱包	その他	0	
	10.23 ~ 10.24	第37回文化書道近畿連合会展	書	576	
	12.5	第7回京・笑いの会	その他	100	
	12.9	体験学習 (座禅体験)	その他	150	
	12.11	体験学習 (京都学習会)	その他	60	
	12.18	京都文博 嘶の会Vol.19 笑福亭たま 独演	その他	100	
	12.19	ステレン in 京都 (話芸)	その他	33	
	12.24	寿よいしょ一座と愉快的仲間	その他	50	
	12.26	寿よいしょ一座と愉快的仲間	その他	50	
	2022	1.9	令和四年 知ふみ書道 新春書初展	書	417
		1.30	京都クロスメディア戦略拠点 (HISTORIKA XR)	その他	100
		2.8 ~ 2.9	KIMONOの森展	染織/染色	150
		2.17 ~ 2.20	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2022 大学院 デザイン学専攻	(美術) 総合	921
		3.19 ~ 3.21	アルスシムラ 2021年度卒業制作展	染織/染色	545
	3.26	第8回京・笑いの会	その他	50	
	計26件 使用日数：40日				5,512

*4月25日(日)から5月31日(月)までの間、京都府に緊急事態宣言発出のため、全館臨時休館。
*8月20日(金)から9月30日(木)までの間、京都府に緊急事態宣言発出。

【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

		和装 呉服	美 術							工 芸					美術 工芸 総合	総計
			日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶芸・金 竹・漆	諸工芸	工芸総合	小計		
5階	件数	—	—	1	6	2	4	4	17	—	—	4	—	4	1	22
	日数	—	—	5	21	10	10	16	62	—	—	16	—	16	9	87
	人数	—	—	258	3,456	765	640	3,953	9,072	—	—	1,921	—	1,921	1,564	12,557
6階	件数	—	—	—	2	—	19	1	22	4	—	—	—	4	—	26
	日数	—	—	—	3	—	22	4	29	11	—	—	—	11	—	40
	人数	—	—	—	993	—	1,780	921	3,694	1,818	—	—	—	1,818	—	5,512

※6階「その他」は体験学習、落語会、邦楽演奏会、特別展「舞妓モダン展」関連イベント等。
 ※「(美術)総合」に絵画、華道含む。

3) 一般の利用

5階展示室および6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などのほか、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

【一般利用分野別件数・入場者数】

		和装呉服	染織	美術	工芸	その他	小計
5階	件数	1	—	—	—	1	2
	日数	4	—	—	—	2	6
	人数	200	—	—	—	100	300
6階	件数	10	—	—	—	1	11
	日数	20	—	—	—	3	23
	人数	1,900	—	—	—	350	2,250

※美術：日本画、洋画、書、写真、華道など

VI-2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、また展示即売会等の商業催事からファッションショーまで様々な催事の利用に供している。

近年は、KYOTOGRAPHIEやARTISTS' FAIR KYOTOなど、大型展覧会の開催により新たな客層の賑わいが生まれており、ホールの利用に合わせたサブイベントとして、講義室やウッドデッキの利用も増えている。

2020年秋に、コロナ禍を受けて別館ホールに整備したインターネット回線(光回線)は、オンラインイベントやコンサートなどに活用いただいております、好評を得ています。

【別館利用状況一覧】

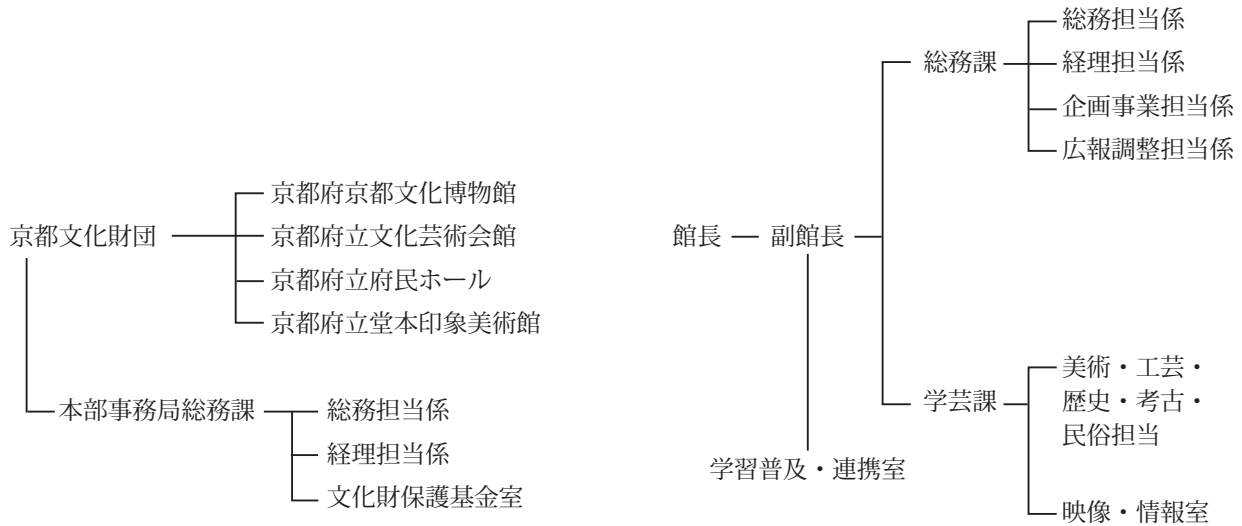
会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
4.2~4.4	第3回 きょうと椅子	6.16	通崎睦美コンサート 今、甦る!木琴デイズvol.14 「ようこそ懐かしのラジオデイズへ」
4.6	クラブツーリズム関西		6.18~6.20
4.9	ikedaya ayako concert 「haruni」(準備)	6.19	
4.10	ikedaya ayako concert 「haruni」(2回公演)	6.26~6.27	ぶんぱくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉
4.15~4.24	没後20年「河島英五展〜人生旅の途上〜」		6.27
4.24	ぶんぱくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉	7.3	古都三人音楽会 洛中から始まる七夕物語
6.6	Ring○&Chance! Concert ♪ vol.6	7.4	京都ミュージアムズ・フォー連携講座 「丸紅コレクション きものの美への情熱」
6.12	京都フィルハーモニー室内合奏団第235回定期公演B 「オーストリアの調べ、モーツァルト、ブルックナー」		7.4
6.13	music en famille ピアノ発表会		

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
7.10	ハッタサロンピアノ協奏曲コンサート	11.25	ピアノと弦楽アンサンブルの夕べ
7.11	リコのコンサート No.16	11.27	挙式
7.16～7.18	ぶんばくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉	11.28	フィンレイソン展ワークショップ
7.17	バレエとクラシック音楽によるコンサート『宮廷への誘い』		笹川美和 ワンマンコンサート「冬隣りの夜はなめらかな黒」@京都文化博物館
7.18	すばる祇園祭コンサート（2回公演）	11.28	池田綾子 ワンマンコンサート「白く透明な風音」@京都文化博物館
7.21	珠玉の声楽アンサンブルが新進演奏家、地域の合唱団と作る感動の演奏会～ホットココア～	11.30～12.6	貴久樹 天竺展
7.22	京都フランス歌曲協会「海之歌」	12.8	Amo Italia! 2021 名バリトン マエストロ ロールミとピアニスト サンドロと共に
7.23	The 7th Concert～PURE～	12.9	Joyful Bells 第14回ハンドベルコンサート（2回公演）
7.24	井上大聞×和田悠花デュオリサイタル2021	12.10～12.12	ろうじの古本市〈ろうじ通路〉
7.25	NaKaNaKa×NakaYoshi vol.3	12.11～12.12	京都伝統工芸協議会「みやこの粋・京の技」展
7.28～7.29	二組の連弾デュオによるジョイントリサイタル	12.16	京都フィルハーモニー室内合奏団第239回定期公演B「今年の暮れはシュベルト！」
7.30～8.1	羊をめぐる音楽会 VOL. III	12.17	西垣正信 クリスマス・ギターリサイタル
8.3	「本山秀毅コーラス・ワークショップ2021」～真夏の京都で「口短調」に挑む！	12.18～12.19	THE GIFT BOX 2021 アーティストが提案する特別なギフト。
8.7～8.8	室内楽発表会	12.21	「ブラジル伝統リズムと舞踏×フランス音響彫刻」～伝統的サンバとアフロブラジルの世界～
8.9	京都手書道具市	12.22	アンサンブル・プリンチビ・ヴェネツィアーニ 結成15周年記念コンサート
8.11	String Octet!!!	12.24	京都室内合奏団 第3回定期演奏会 2つの物語《マ・メルル・ロワと火の鳥》
8.13	音楽のおもちゃ箱の仲間たち「特別企画 コンサートフェア」	12.25	タノシムアート
8.14	京都フィルハーモニー室内合奏団第236回定期公演B「チェコ人作曲家の作品集」	12.25～12.26	ぶんばくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉
8.14	アンサンブルグループさいさい 打楽器アンサンブルコンサート vol.2	12.26	「天体と音楽」をテーマとした科学・音楽コミュニケーション～「地球を知ろう」～第3弾
8.15	トランペット発表会 vol.16	1.8	松峰綾音 月の庭 シャンソンと朗読のひととき vol.10「ひだまりの猫たち」
8.17～8.19	Summer Museum Concert【主催事業】	1.9	J.T.退職記念 JMコンサート
8.28	第22回 夏のひととき	1.10	お箏ソロの会と八竹会
8.29	CHONG AMI BIRTHDAY RECITAL VOL.3	1.16	～佐藤ひろゆき 古希を祝って～ 京の冬 ちょっとホットなコンサート
8.31	フォルトゥーナトランペットアンサンブル	1.22～1.23	ぶんばくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉
9.1	mama!milk 初秋の演奏会 Concert at The Museum of Kyoto	1.22～2.6	Kyoto Art for Tomorrow 2022 京都府新鋭選抜展【特別出品】人長果月「planktos」
9.17～10.17	KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2021	2.8～2.9	KIMONOの森コンサート
10.19	アーウィン・オラフ「アヌスミラピリスー驚異の年ー」	2.11～2.12	祈 無形文化芸術「書道」×有形重要文化財「京都文化博物館」
10.20	京都室内合奏団第2回定期演奏会 ～8 seasons～	2.17～2.20	京都工芸繊維大学 卒業・修了制作展2022 建築学専攻
10.21	第29回常磐津都立蔵研究会	2.22	京都市立芸術大学古典派音楽研究会 第5回定期演奏会
10.23～10.24	伊澤一葉「アリアドネの音階」	2.23	京都ファインアーツ・プラス 第23回演奏会
10.23～10.24	ぶんばくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉	2.26～2.27	ぶんばくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉
10.23～10.24	京の名工展〈匠会創立50周年記念展示〉	3.3～3.6	ARTISTS' FAIR KYOTO 2022
10.24	橘大学博物館実習	3.12～3.13	第18回「みやこの粋 京の技」展（展示・販売会）
10.26	第3回 日文研-京都アカデミック ブリッジ	3.19～3.21	京都アート・クラフトマーケット2022春 presents by TASK 京都伝統工芸大学校
10.27	コンサート・ツアー2021 平沼有梨 feat.古澤巖 光芒 Vol.4～舞の旋律～	3.19～3.21	ろうじの古本市 前祭〈ろうじ通路〉
10.29	日本工芸会近畿支部会議	3.19～3.21	tyso+yoso展〈ろうじ通路〉
10.29～10.31	KPA「メイキングワークショップ2022」	3.25	粟辻泰史（オカリナ）・紀子（ピアノ）ふたりのリサイタル2022
10.30	古代学協会 授賞式・講演会	3.25～3.27	ろうじの古本市 後祭〈ろうじ通路〉
10.31	ぶんばく京都講座	3.26	アンサンブルアカデミー京都 サロンコンサート
11.3	特別展開連イベント「フィンランドが生んだ名曲コンサート」	3.27	京都クラウディオ・モンテヴェルディ合唱団 第69回定期演奏会
11.9	京都フィルハーモニー室内合奏団第234回定期公演B・リハーサル	3.26～3.27	ぶんばくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉
11.10	京都フィルハーモニー室内合奏団第234回定期公演B「バロック音楽の楽しみ」		入場者数 計 133,578人
11.12～11.14	第23回佐々木真弓アトリエエンジェル ステンドグラスランプ展		
11.15	文化庁オンライン利用		
11.16	木村大 memory-go-round ギター・コンサート		
11.17	レトワールブランシェ管楽合奏団トリオ～生没100年の作曲家たち～		
11.19	11.21 Radiantアートフラワー展覧会「布花と絵画」		
11.20～11.21	ぶんばくアートマルシェ〈三条ウッドデッキ〉		
11.23	今、甦る！木琴デイズ vol.15「木琴で聴くクラシック」（2回公演）		

VII 管理・運営

VII - 1 組織と職員

1) 組織



※総務担当係および経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる

2) 京都文化財団

【京都文化財団役員名簿】

2022年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	西脇 隆俊 千 玄室	京都府知事 前京都文化財団副理事長、前茶道裏千家家元	理事	並木 誠士	京都工芸繊維大学特定教授、美術工芸資料館館長
理事長	山田 啓二	京都文化博物館館長、前京都府知事		平林 幸子	京都中央信用金庫非常勤相談役
常務理事	神山 俊昭	京都文化博物館副館長、京都文化財団事務局長		深尾 憲一	弁護士
理事	奥野美奈子	株式会社京都銀行執行役員	監事	吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長
	金田 章裕	京都府立京都学・歴史館館長、京都府公立大学法人理事長		光田 周史	公認会計士
	高階絵里加	京都大学人文科学研究所教授		中村 健児	一般社団法人京都銀行協会専務理事

【京都文化財団評議員名簿】

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	山極 壽一	前京都大学総長、総合地球環境学研究所所長	評議員	金剛 永謹	金剛流宗家
評議員	赤松 玉女	公立大学法人京都市立芸術大学理事長・学長		佐々木正子	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長、 学校法人大覚寺学園理事
	有馬 頼底	臨済宗相国寺派管長		潮江 宏三	美術評論家、京都市立芸術大学名誉教授
	池坊 雅史	華道家元池坊総務所事務総長		杉本 節子	公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会常務理事
	今井 政之	陶芸家		田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	上原 雅明	京都府教育委員会教育長職務代理者		名和 修	公益財団法人陽明文庫常務理事、文庫長
	上村 淳之	日本画家		古川 博規	京都府副知事
	梅原ひまり	ヴァイオリニスト		山内 康敬	京都新聞社相談役
	杭迫 柏樹	書家		山本 壯太	古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー
	兒島 宏尚	京都商工会議所専務理事		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2022年3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担 当 業 務
	名誉館長 館長 副館長	荒巻 禎一 山田 啓二 神山 俊昭	館総括 館業務総括
総務課	総務課長兼文化財保護基金担当課長 課長補佐兼企画事業・文化財保護基金担当係長 經理担当係長 調査役 担当係長 主任 副主査 主任 主事 主事 主事	田尻 篤子 森 雅樹 西村 尚久 磯野 真知子 海老名 和孝 高桑 鉄則 宮本 幸樹 新谷 婦美子 竹内 文香 岡田 友美 大矢 亜美	課総括 企画事業担当業務 經理担当業務 広報調整担当業務 企画事業担当業務 企画事業担当業務 総務担当業務 広報調整担当業務 広報調整担当業務 經理担当業務
学芸課	課長 参事 映像・情報室長 課長補佐 主任学芸員 調査役 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員 学芸員	洲鎌 佐智子 森脇 清隆 橋本 章 畑 智子 林 智子 植田 彩芳子 西山 剛 村野 正景 大矢 敦子 植田 憲司 清水 智世 有賀 茜 佐藤 稜介	課総括 映像・情報 民俗 工芸 染織 絵画 歴史・文献 歴史・考古 映像・情報 映像・情報 絵画 絵画 歴史・文献

VII-2 施設

1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1
 設計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所

施工期間：1986年10月～1988年9月
 2010年12月～2011年7月
 (リニューアル工事実施)

敷地面積：4,830.0㎡ (別館を含む)

建築面積：3,646.5㎡ (別館を含む)

延床面積：15,854.7㎡ (別館を含む)

本館床面積：13,591.8㎡

(内訳) 地階 2,242.4㎡ / 1階 2,251.7㎡
 2階 1,892.8㎡ / 3階 1,908.7㎡
 4階 1,442.1㎡ / 5階 1,442.1㎡
 6階 1,218.2㎡ / 7階 1,010.4㎡
 塔屋 182.8㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 / 一部鉄骨造

※2021年7月20日～2022年3月30日防水等改修工
 事を実施

2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル
 菱屋町48番地

設計：辰野金吾・長野宇平治

施工期間：1903(明治36)年9月
 ～1906(明治39)年6月

延床面積：2,249.3㎡

別館構造：建築面積……819.7㎡

煉瓦造、2階建一部地下1階

スレート・銅板葺、両翼塔屋付

旧金庫構造：建築面積……237.1㎡

煉瓦造、1階建、棧瓦葺

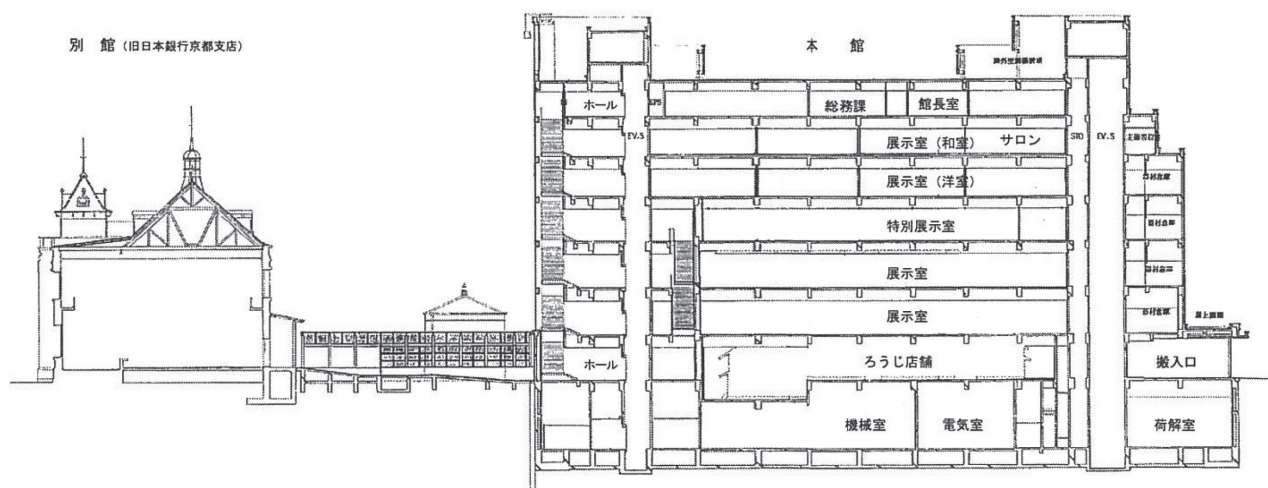
指定：重要文化財

指定名称 旧日本銀行京都支店

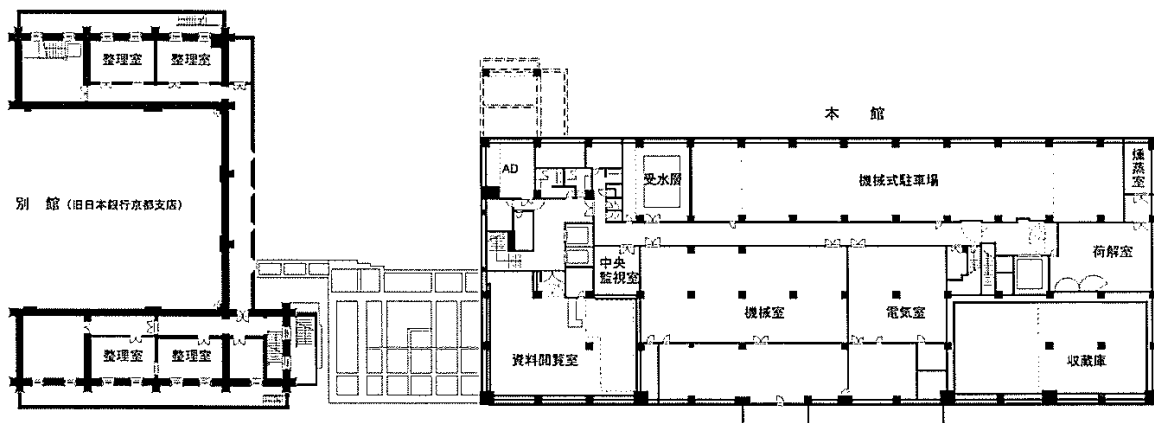
指定年月日 1969年3月12日

指定書番号 建第1,708号

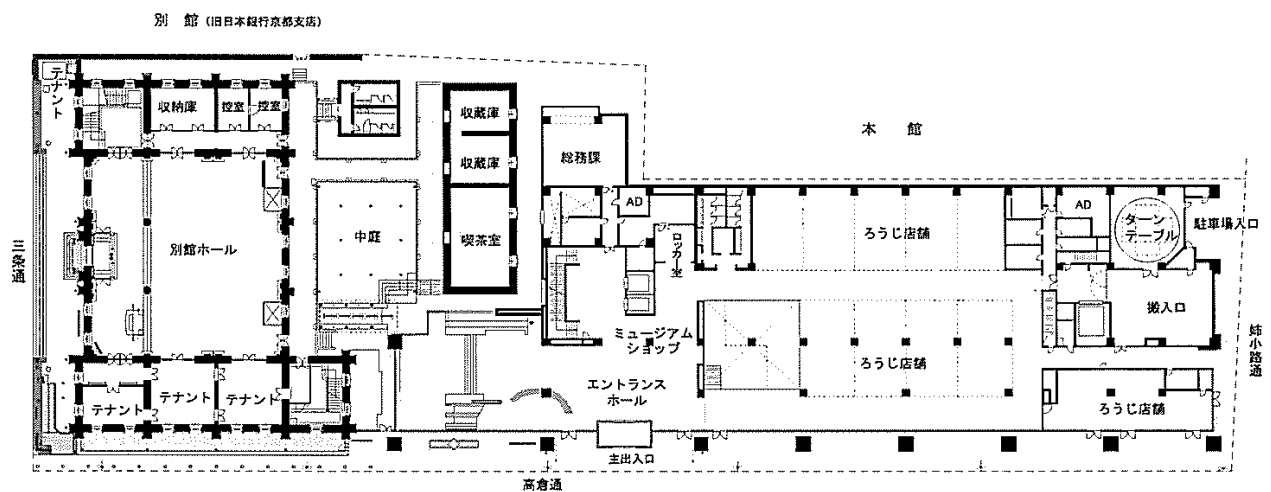
【京都文化博物館断面図】



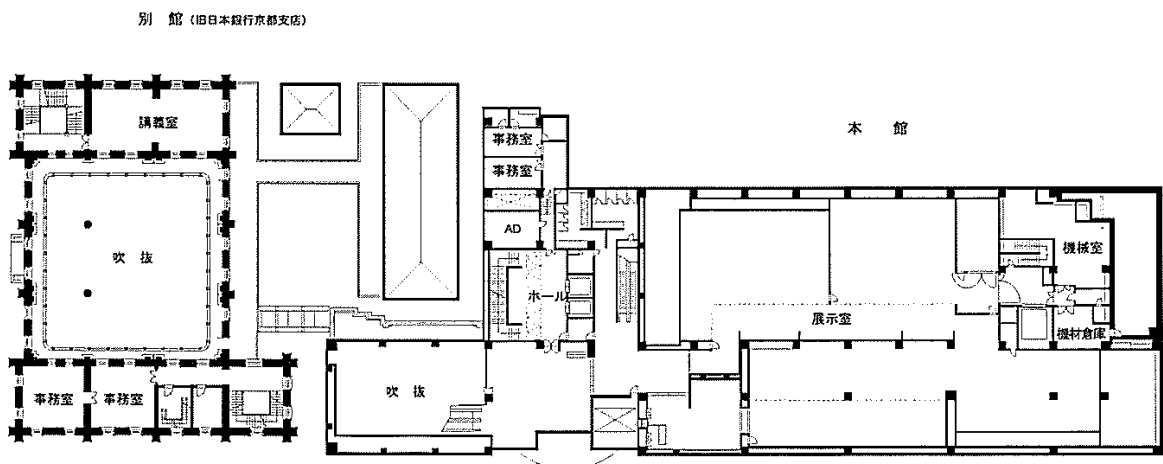
【京都文化博物館 地下1階平面図】



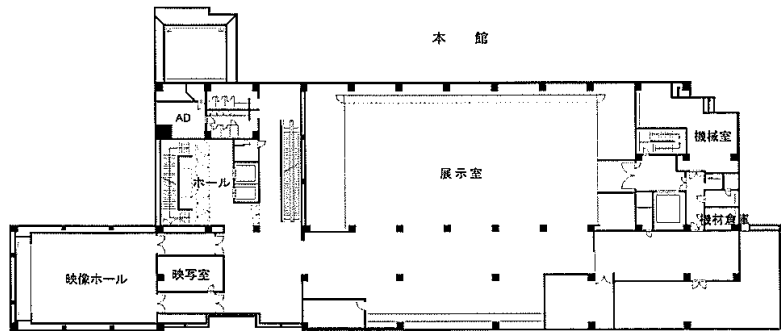
【京都文化博物館 1階平面図】



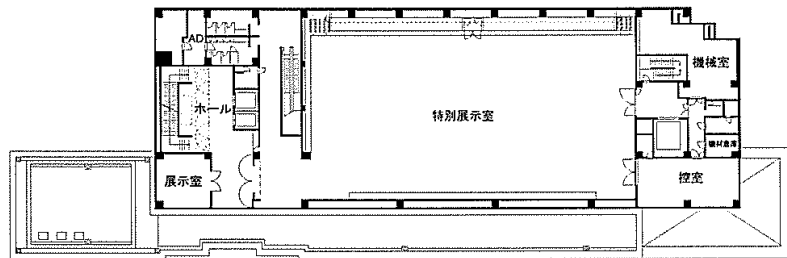
【京都文化博物館 2階平面図】



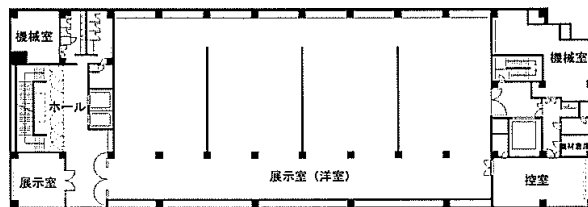
【京都文化博物館 3階平面図】



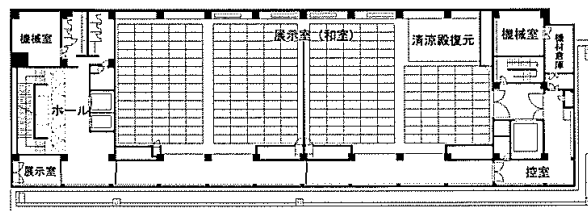
【京都文化博物館 4階平面図】



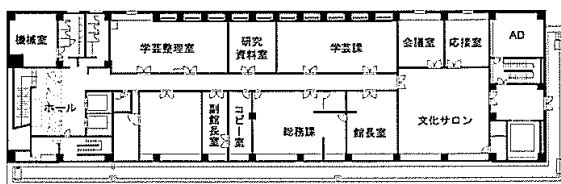
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



VII-3 館内店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の表構えを復元したものである。高倉通側には主に飲食店、西側の路地では物販店を営業している。別館には、明治の洋風建築をそのまま活用した物販店や、旧金庫室を改造した喫茶店があり、京町家の建築

美や近代日本の歴史に触れながら、営業している。また、店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は60,729名であった。

1) ろうじ店舗一覧

- ◇和紙と和紙小物の店—楽紙館
- ◇手打ちそば 蕎麦料理—有喜屋
2021年12月31日まで
- ◇とにまる

- ◇京都 なた万賓館
- ◇京・嵐山上流の蔵 京丹山
- ◇ミュージアムショップ 京都便利堂

2) 別館店舗一覧

- ◇前田珈琲文博店
- ◇Contemporary Art JARFO 京・文博

- ◇和雑貨—くろちく文博店

3) 博和会・ろうじ店舗行事

【博和会行事】

区 分	名 称	開催日	入場者
博和会イベント	特別展「花ひらく町衆文化」協賛落語会 お食事・お買い物券(1,000円)	2021年7月11日(日) 2021年7月17日(土) 2021年7月18日(日)	263
	『ろうじの古本まつり』 協力：京都古書研究会	2021年12月10日(金)～12日(日)	12,914
	『ろうじの古本まつり』 協力：京都古書研究会	2022年3月19日(土)～21日(月・祝)	20,641
	『ろうじの古本まつり』 協力：京都古書研究会	2022年3月25日(金)～27日(日)	14,346
博和会キャンペーン	特別展・総合展の半券でおトクキャンペーン	2021年2月16日(火)～	—

VIII 新型コロナウイルス感染症予防対策

VIII-1 新型コロナウイルス感染症予防対策による休止等の対応

	展示会開催状況	展示室	フィルムシアター	京都府を区域とした緊急事態宣言発出期間まん延防止等重点措置適用期間	
4	よみがえる 承久の乱 4/6~5/23 ※4/25~閉室	伝える -災害の記憶展 3/20~5/16 ※4/25~閉室	4/13~24 夜の部 17時繰り上げ	4/12~4/24 まん延防止等重点措置	4
5		京の端午の節句と尚武 4/10~5/30 ※4/25~閉室	4/25~5/31 全館休館	4/25~6/20 緊急事態宣言	5
6	花ひらく 町衆文化 6/5~7/25	丸紅所蔵 小袖名品展 5/22~7/18 ※6/1~開催		6/21~7/11 まん延防止等重点措置	6
7	さまよえる 絵筆 6/5~7/25	祇園祭展 6/5~8/1	6/1~8/19 ・定員を半数(78人)に制限 ・夜の部17時繰り上げ		7
8	小早川秋聲 8/7~9/26	戦後京都の「色」は アメリカに あった! 7/24~9/20 ※8/20~閉室		8/2~8/19 まん延防止等重点措置	8
9		京の盆踊り 8/7~9/26 ※8/20~閉室	8/20~9/30 総合展示室のみ閉室	8/20~9/30 緊急事態宣言	9
10	陽明文庫 の名宝11 9/25~11/21 ※10/1~開催	池大雅 9/25~11/21 ※10/1~開催		10/1~31 定員を半数(78人)に制限	10
11	フィンレイソン展 10/9~1/10	輝く京都の四季 10/2~11/28		10/1~31 夜の部 17時繰り上げ	11
12		近代文化人ネットワーク 11/27~1/23			12
1	Kyoto Art for Tomorrow2022 1/22~2/6	画家・井澤元一と京都1 12/4~2/6			1
2	挑む浮世絵 国芳から芳年へ 2/26~4/10	工芸、ここが素敵! 1/29~3/27		1/27~3/21 まん延防止等重点措置	2
3		雛人形名品展 2/12~4/3			3

●●●● 特別展 ●●●● 企画展 ●●●● 総合展

- ・サーモグラフィーカメラの設置による検温の実施
- ・受付カウンター等にアクリル板設置、フロアマーカ―設置
- ・抗菌・抗ウイルスコーティング剤の塗布
- ・マイナスイオン発生機を整備

- ・キャッシュレス決済の導入（電子マネー、クレジットカード）
- ・ホールでの動画配信を可能にするネットワーク環境を整備

VIII-2 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(第2次版)

京都市文化博物館

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(第2次版)
令和3年11月1日改定

I 共通事項(施設利用者、従業員(館内店舗、委託業者を含む))

- 来館前の検温実施の要請の他、来館自粛を促す条件を事前にホームページ等で周知するとともに、館内に明示する。従業員に対しては、必要に応じて医療機関等の受診を促すとともに、自宅待機させる。
 - 一平熱と比べて高い発熱(目安として37.5℃以上、以下同じ。)のある場合、咳・咽頭痛等感冒様の症状がある場合
 - 一新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - 一過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合 等
- サーモグラフィー等による来館者に対する検温を実施し、平熱と比べて高い発熱がある場合は、入館を制限する。
- 対人間の接触をできるだけ避け、最低限人と人とが接触しない程度の間隔を確保し、入口等の行列が生じる所は、必要に応じてフロアマーカ―等を設置し、十分な間隔(最低1m)を空けた整列等を促す。
- マスクの着用、咳エチケット、手洗い、配置された手指消毒剤による手指の消毒を徹底する。
- 対面での対応する場合、アクリル板等により来館者との間を遮蔽する。
- 従業員は現金等を扱う際は手袋を着用し、現金の取扱いを減らすためキャッシュレス決済を導入する。
- 施設内共有部分(エレベーターボタン、手すり等)の定期的な消毒、ペーパーカー、車椅子等の貸出物の消毒を行う。
- エレベーターの定員は、4人とする。
- 施設内が密になる時間帯の空調の換気を強化するなど適切な換気に努める。
- 大声を出さないよう注意喚起する。
- 従業員はユニフォーム等のこまめな洗濯を行う。
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、来館者(観覧会、フィルムシアター、貸館利用者)等の連絡先の把握に努める。
- 感染者が発生した場合は、保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。
- 従事者及び来館者に対し、差別防止の徹底について周知する。

II 観覧会での留意点

- 感染予防のため、チケット等のもきり等は原則来館者本人にしてもらう。
- 感染予防のための入場制限を実施する。
- 展示室内で入場者の滞留が発生しないための措置を講ずるとともに、会話を控えるよう求める。
- ハンズオン作品は原則展示しない、やむを得ない場合は職員が管理して消毒を徹底する。

1

- 感染者の発生等ともない、保健所等の指導による展示室等の消毒が行われる場合、露出展示されている展示物や展示ケースへの悪影響に備え、あらかじめ展示物や展示ケースと来館者の距離を長めに設定し、導線を検討する。

III 博物館における公演等の開催に際し、「I 共通事項」の他に講ずべき対策

施設において、講演会、コンサートや演劇等の公演等(以下「公演等」という。)が開催される場合には、以下の措置を講ずることとし、その際、措置を講ずるべき主体は、公演等の主催者であることに留意し、施設管理者との連携・協力の下で以下の対策を実施する。

1 公演前

- 主催者において、チケットシステム等により把握している範囲で当該公演等の来場者(以下「公演来場者」という。)の氏名及び緊急連絡先の把握に努める。また、公演来場者に対して、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知する。
- 公演等のスタッフ(以下「公演スタッフ」という。)の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成する。また、公演スタッフに対して、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知する。
- 本ガイドライン及び施設ごとの対応方針について、全員に周知徹底を図る。

2 公演当日

- 公演来場者の感染防止策は「I 共通事項」及び以下のとおりとする。
 - マスクを着用していない公演来場者に対して公演等の主催者により配布するなど、マスクの着用を徹底する。
 - 客席は、密が発生しない程度の間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)を確保する。この場合、マスクの着用状況が確認できるようにするとともに、着用していない場合、個別に注意等を行う。また、大声を出す者がいた場合、個別に注意、対応等ができるような体制を整備する。
 - 合奏等の演者が発声する公演等については、舞台から公演来場者の間隔を最低2m確保するとともに、演者間の感染リスクが低減される措置を講ずる。
 - 公演等中の公演来場者同士の接触は控えるよう周知する。
 - 公演来場者と接触するような演出(公演来場者をステージにあげる、ハイタッチをする等)は行わないこととする。
 - 場内における会話制限を実施する。
 - 公演スタッフの感染予防策として、催事の運営に必要な最小限の人数とする。
 - 会場内の換気を行う。
 - 人員の配置や導線の確保等により、休憩時間や待合場所等での密集を回避する。
 - 入り待ち・出待ちを控えるよう呼びかける。
 - 感染が疑われる者が公演等中に発生した場合は、VI(5)と同様に取り扱う。
 - 感染が疑われる者が公演等の終了後に発生したことが判明した場合、京都文化博物館に連絡を行うとともに、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。

2

IV フィルムシアターでの留意点

入退出時(入退出時の行列含む)や集合場所等において人と人との十分な間隔(できるだけ2m、最低1m)を確保し、入館前にフロアマーカ―を設置する。

V 貸館での留意点

主催者は、当ガイドラインに基づき事業を実施するとともに、施設管理者が通知する留意事項に従う。十分な感染対策等が講じられないと判断された場合は、当該主催者に対して開催の自粛を促す。

VI 施設の感染対策

(1) 飲食

- 飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食を制限する。
- 対面での飲食や会話を回避するよう促す。

(2) トイレ

- 清掃を徹底するとともに、不特定多数が接触する場所は、清拭消毒を行う。
- トイレの水を流す際は、トイレの蓋を開けて行うよう表示する。

(3) 清掃、消毒等

- 清掃従事者は、殺菌が認められる薬品等を利用して、不特定多数が触れる環境表面を清拭消毒する。
- 清掃従事者は、鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して捨てる。
- 清掃従事者は、必ずマスクや手袋を着用し、作業完了後手洗いを要する。
- 清掃従事者は、業務完了後にマスクや手袋を脱いだ後、必ず石鹸と流水で手を洗う。

(4) 店舗

テナント事業者等と連携の上、以下の措置を講ずる。

- 飲食物を提供する場合、家族等の一集団と他の集団との間隔が概ね1m以上となるよう座席を配置するよう、各店舗において席の位置を工夫する。
- 混雑時の入場制限を実施する。
- 施設内の換気を徹底する。
- 食器、テーブル、椅子等の消毒を徹底する。
- 飲食施設に関わる従業員は、体調管理、マスクの着用及び手指消毒を徹底し、飲食施設の利用者も手指消毒を行ってから入場する。
- 物販を行う場合は、多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わない。

(5) その他

館内において、感染が疑われる者が見つかった場合、以下のとおり対応する。

- 感染が疑われる者を速やかに待機場所へ隔離する。
- 対応する従事者は、マスク、防護服、手袋の着用等適切な防護対策を講ずる。
- 速やかに、保健所等へ連絡をとり指示を仰ぐ。
- 当該者が感染していた場合は、保健所等との連携の下に、速やかな情報公開等事後の対策を講ずる。
- 貸展示室利用者等において、感染が疑われる者が見つかった場合は、速やかに京都文化博物館総務課まで連絡をとること。

3

IX 2021(令和3)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月日	事項	
2021年		
3月20日	総合展「伝えるー災害の記憶」	～4月24日/2階
4月1日	常設上映「軽い喜劇、重い喜劇ーコメディ映画の地平」	～4月24日/FT
4月6日	特別展「よみがえる承久の乱」	～4月24日/3・4階
4月10日	総合展「京の端午の節句と尚武」	～4月24日/2階
4月25日	京都府 緊急事態宣言発出をうけ全館休館	～5月31日
6月1日	総合展「丸紅所蔵小袖名品展」	～7月18日/2階
6月1日	常設上映【没後30年】今井正監督特集」	～6月16日/FT
6月5日	特別展「花ひらく町衆文化」	～7月25日/4階
6月5日	総合展「祇園祭展」	～8月1日/2階
6月5日	企画展「さまよえる絵筆」	～7月25日/3階
6月6日	京都府立京都学・歴史館展覧会「魔よけとまじない展」	～7月4日/歴史館
6月17日	EUフィルムデーズ2021 映画で旅するヨーロッパ	～7月4日/FT
7月6日	常設上映【没後30年】今井正監督特集2」	～8月6日/FT
7月10日	常設上映「さまよえる絵筆展関連映画上映」	10日/FT
7月16日	祇園祭記念特別上映『祇園祭』	～7月17日、24日/FT
7月20日	防水等改修工事	～3月30日
7月24日	総合展「戦後京都の「色」はアメリカにあった！」	～8月19日/2階
8月7日	特別展「小早川秋聲」	～9月26日/3・4階
8月7日	総合展「京の盆踊り」	～8月19日/2階
8月7日	常設上映「映画にのこる日本の精神風土」	～9月2日/FT
8月20日	京都府 緊急事態宣言発出をうけ総合展示室およびフィルムシアター 閉室	～9月30日
10月1日	総合展「陽明文庫の名宝11」	～11月21日/2階
10月1日	総合展「池大雅 書の世界」	～11月21日/2階
10月1日	常設上映【東映創立70年記念】東映京都撮影所初期作品特集」	～10月17日/FT
10月2日	総合展「輝く京都の四季」	～11月28日/2階
10月2日	京都府立京都学・歴史館展覧会「リアルに甦る！吉川観方と風俗史考証の世界」	～11月27日/歴史館
10月9日	特別展「フィンレイソン展」	～1月10日/3・4階
10月9日	常設上映「輝く京都の四季」展記念上映 京都の染織工芸のわざ」	9日、11日/FT
10月19日	常設上映「映画にのこる日本の精神風土2」	～10月31日/FT
11月2日	常設上映【東映創立70年記念】東映京都撮影所初期作品特集2」	～11月30日/FT
11月14日	京都大学人文科学研究所「近代京都と文化」上映会	14日/FT
11月20日	日本映画テレビ技術協会京都支部第5回名作上映会&トークイベント	20日/FT
11月27日	総合展「近代文化人ネットワーク」	～1月23日/2階
11月27日	京都建築映像祭2021	～11月28日/FT
12月1日	京まちなか映画祭 in 京都文化博物館	～12月3日/FT
12月4日	総合展「画家・井澤元一と京都1」	～2月6日/2階
12月4日	文化庁障害者による文化芸術活動推進事業CONNECT⇨アニメ映画と一緒に楽しもうーユニバーサル上映	～12月5日/FT
12月7日	常設上映「ピュアな愛のかたちー純愛映画」	～12月26日/FT
12月11日	フィンレイソン展特別上映会「かもめ食堂」	11日/FT
2022年		
1月4日	常設上映「勅使河原宏監督特集」	～1月21日/FT
1月8日	第43回びあフィルムフェスティバル in 京都	～1月16日/FT
1月22日	「Kyoto Art for Tomorrow 2022ー京都府新鋭選抜展」	～2月6日/3階
1月22日	第13回 京都ヒストリカ国際映画祭	～1月30日/FT
1月29日	総合展「工芸、ここが素敵！」	～3月27日/2階
2月1日	常設上映「社会派サスペンス映画劇場」	～2月28日/FT
2月11日	第24回京都国際学生映画祭	～2月13日/FT
2月12日	総合展「雛人形名品展」	～4月3日/2階
2月16日	文化庁ndjc若手映画作家育成プロジェクト 2021年度合評上映会	16日/FT
2月19日	京都デジタルリマスター人材育成事業上映会	19日/FT
2月26日	京都府×ケベック州(カナダ)友好提携5周年記念 ケベック映画会	26日/FT
2月26日	特別展「挑む浮世絵 国芳から芳年へ」	～4月10日/3・4階
3月1日	常設上映「銀幕に舞い踊るー映画に見る舞踊」	～3月31日/FT

京都文化博物館 2021(令和3)年度年報

発行日 2022年9月30日
編集・発行 京都府京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL：075-222-0888
FAX：075-222-0889
印刷 株式会社 ITP